

# 北海道議会時報

第33卷第7号

昭和56年第3回定例道議会



北海道議会事務局

北海道議会時報第33巻第7号(昭和56年第3回定例会)

(表紙写真)

落 葉

北海道議会時報第巻33第7号(昭和56年第3回定例会)

### 第3回定例会

概 要	1
本 会 議	3
提 出 案 件	17
決 議 案 ・ 意 見 案	20
請 願 ・ 陳 情	24

### 委員会の動き

議会運営委員会	28
常 任 委 員 会	35
特 別 委 員 会	45
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
公害対策特別委員会	
災害対策特別委員会	
冷害・災害対策特別委員会	
予算特別委員会	
決算特別委員会	

### 会 合

全国都道府県議会議長会	72
都道府県議会議員共済会	73
10都道府県議会議長会	73

### 北海道議会開設80年記念式典

### 資 料

第3回定例会において議決を経た条例 の公布調	81
---------------------------	----

### 10月・11月のメモ

# 議 会 日 誌

## ▶ 9 月

- 25日(金) 議会運営、各常任、総合開発調査特別、公害対策特別各委員会
- 26日(土) (第3回定例会閉会)  
議会運営委員会  
**本会議**(会期決定〈24日間〉、提案説明、決算及び企業会計決算認定、意見案1件可決、陳情付託)

## ▶ 10 月

- 2日(金) 議会運営、総務各委員会  
**本会議**(請願付託、追加提案説明、代表質問1人)
- 3日(土) 議会運営委員会  
**本会議**(日程延期)
- 6日(火) 議会運営委員会  
**本会議**(代表質問)
- 7日(水) 議会運営委員会  
**本会議**(日程延期)
- 8日(木) 議会運営委員会  
**本会議**(日程延期)
- 9日(金) 議会運営委員会  
**本会議**(代表質問1人)
- 12日(月) 議会運営委員会  
**本会議**(代表質問2人、一般質問3人)
- 13日(火) 議会運営委員会  
**本会議**(一般質問3人)
- 14日(水) 議会運営委員会  
**本会議**(一般質問2人)
- 15日(木) 議会運営委員会  
**本会議**(一般質問3人)
- 16日(金) 議会運営委員会  
**本会議**(一般質問2人、予算特別委員会設置)  
予算特別委員会(正副委員長の互

選、予算第1・第2各分科会設置)、  
予算第1・第2各分科会(正副委員長の互選)

- 17日(土) 議会運営 石炭対策特別、災害対策特別、予算特別各委員会、予算第1・第2各分科会(審査日程決定)  
**本会議**(北炭災害報告、補正予算可決、会期延長)

19日(月)

20日(火)

21日(水)

22日(木)

23日(金)

予算第1・第2各分科会(各部所管審査)

議会運営、各常任、石炭対策特別、公害対策特別、冷害・災害対策特別各委員会、予算特別委員会(総括質疑、意見調整)  
**本会議**(各委員長報告、修正案否決、補正予算等可決、追加提案説明、教育委員会委員等選任同意、冷害・災害対策特別委員会設置決議案可決〈災害対策特別委員会廃止〉、意見案5件可決、請願・陳情審査)

(第3回定例会閉会)

24日(土)

各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別、公害対策特別各委員会

## ▶ 11 月

- 2日(月) 商工労働、公害対策特別各委員会
- 4日(水) 議会運営、総務、厚生、農務、建設、農地開発、冷害・災害対策特別各委員会
- 9日(月) 文教林務、石炭対策特別各委員会
- 24日(火) 水産委員会
- 27日(金) 文教林務委員会

# 第3回定例会

## 北炭夕張炭鉱災害等に関する要望意見案可決

### ▶冷害・災害対策特別委員会設置◀

#### 概 要

- ① 昭和56年度補正予算等を審議する第3回定例会は、9月26日招集され、会期を10月19日までの24日間と決定の後、総額67億6,700万円余の補正予算並びにこれに関連する議案が上程され、知事から提案説明。次に、前会より継続審査中の昭和54年度各会計歳入歳出決算並びに昭和55年度企業会計決算について、各委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも認定議決又は意見を付し認定議決。次に、昭和56年産畑作物価格等に関する要望意見案を可決し、陳情の特別委員会付託を行って、議案調査のため9月28日から10月1日までの4日間休会した。
- ② 休会明けの10月2日、請願の特別委員会付託を行った後、総額37億円余の大雨災害対策関係補正予算について提案説明があり、次いで、代表質問に入ったが、南の里団地の用地取得等の問題で審議が中断、翌3日（4日は休日）に至っても実質審議に入れず、議案調査のため5日1日間の休会を決定して日程を延期し延会、6日に至り審議を再開したが、同団地の質問に係わる議事進行発言に関する取り扱いをめぐって再び審議中断、調整は難航したが、9日に至りようやく審議を再開、12日に代表質問を終え、同日、一般質問に入り、16日に一般質問を終結して、31人からなる予算特別委員会を設置の上、議案の各委員会付託を行った。次いで、翌17日、16日に発生した北炭夕張新炭鉱災害に関する報告の後、大雨災害対策関係補正予算について、委員長報告のとおり原案可決し、会期を10月23日まで4日間延長することを決定して、各委員会付託議案審査のため19日から22日まで4日間休会した。
- ③ 予算特別委員会は、10月16日、正副委員長の互選を行い、2分科会を設置し、翌17日、審査日程を決定して、19日から昭和56年度補正予算等に対する各部所管審査に入り、22日に各分科会における質疑を終結し、翌23日、各分科委員長報告の後、知事に対する総括質疑を行い、直ちに意見調整に入ったが、意見の一致をみるに至らず、社会、公明及び共産3党共同による昭和56年度一般会計補正予算に対する修正案が提出され、採決の結果、これを否決し、知事提案をいずれも原案のとおり可決した。
- ④ 会期最終日の23日は、昭和56年度補正予算等に対する予算特別委員長報告及び各付託議案に対する各委員長報告の後、社会、公明及び共産3党共同提出に係る昭和56年度一般会計補正予算に対する修正案の趣旨説明があつて、討論、採決の結果、これを否決し、いずれも委員長報告のとおり原案可決。次いで、教育委員会委員の選任同意案件等の人事案件等について、討論、採決の結果、いずれも原案のとおり同意議決又は原案可決。次いで、冷害・災害対策特別委員会を設置（災害対策特別委員会は廃止）の後、北炭夕張炭鉱災害等に関する要望意見案ほか4件の意見案を可決し、請願・陳情5件について、委員会決定のとおり4件を採択、1件を不採択と決定。次いで、閉会申請願、陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定して、今期定例会に付議された案件は、すべて議了。議長から閉会のあいさつがあつて、開会以来28日目の10月23日午後5時26分閉会した。

⑤ 提出案件の処理状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	処 理 の 状 況						計
		原案可決	否 決	同意議決	意見を付し 認定議決	認定議決	報告のみ	
知 事	33	29	0	3	(6)	(2)	1	33(8)
議 員	8	7	1	0	0	0	0	8
計	41	36	1	3	(6)	(2)	1	41(8)

注 かっこ内は、継続審査案件に係る議決件数を示し、外数である。

# 本 会 議

## 決算特別委員長報告

○9月26日(土) 午前10時6分開議、松浦義信議長、昭和56年第3回定例会の開会を宣し、引き続き、

**日程第1 会議録署名議員の指定**を行い、諸般の報告の後、

**日程第2 会期決定の件**を議題とし、今期定例会の会期を、本日から10月19日までの24日間と決定。次に、

**日程第3 議案第1号ないし第27号**を議題とし、知事から、提出案件に関する説明。次に、

**日程第4 前会より継続審査の報告第2号並びに**

**日程第5 前会より継続審査の報告第49号ないし第55号**を一括議題とし、笹浪幸男決算特別委員長(自民)及び藤井猛企業会計決算特別委員長(自民)から、それぞれ委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、本間喜代人議員(共産)から、報告第2号及び報告第52号ないし第55号に関する反対討論があって討論終結。次いで、採決に入り、まず、日程第4の報告第2号を問題とし、起立による採決の結果、起立多数(共産反対)をもって委員長報告のとおり意見を付し認定議決。次に、日程第5のうち報告第52号ないし第55号を問題とし、起立による採決の結果、起立多数(共産反対)をもって委員長報告のとおり認定議決又は意見を付し認定議決。次に、日程第5のうち報告第49号ないし第51号を問題とし、異議なく委員長報告のとおり意見を付し認定議決。次に、

**日程第6 意見案第1号**を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、異議なく原案のとおり可決。次に

**日程第7 陳情第69号**を議題とし、異議なく災害対策特別委員会に付託することに決定。

次いで、議案調査のため9月28日から10月1日まで4日間休会、10月2日再開することに決定して、午前10時57分散会。

私は、ただいま議題となりました昭和55年第4回定例会から継続審査中の報告第2号昭和54年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件につきまして、その審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、昨年12月17日設置され、直ちに正・副委員長の互選を行い、同月21日には、その後の審査方法を決定するとともに、理事者から決算概要について、監査委員から決算審査意見について、それぞれ説明を聴取し、その後、決算内容の調査に入った次第であります。

この間、審査の必要上、35項目の資料要求を行い、理事者から資料の提出を受け、本年4月14日から総体質疑及び各部所管の審査を行い、7月28日をもって一切の質疑を終結した次第であります。

以下、総体質疑及び各部所管ごとの質疑を通じ論議の対象となりました主たる事項を申し上げますと、

まず、総体質疑におきましては、

道民の道政への参加と自治意識向上についての考え方及び道政執行の基本姿勢、各種審議会等諮問機関の実態と改善状況、道財政の現状と行財政効率等自主財政確立に対する考え方、行政事務再配分の基本的考え方、道行政の統一的、総合的チェック機能の強化と予算執行の適正化、行政効果測定の必要性、監査制度の問題点と機能強化の考え方、予算執行後の事後対策と問題点、多額の不用額発生の要因、超過負担の現状と解消策、苫小牧市土地開発公社と日本電建の土地交換契機にかかわる問題、建設業者倒産多発の原因及び地元中小企業育成対策など決算にかかわる基本的問題。

労働部所管におきましては、

勤労青少年福祉法及び勤労青少年福祉事業計画に対する考え方、心身障害者の雇用促進と今後の取り組み、労働福祉施設の強化策、財団法人労働協会の事業内容と指導監督に対する考え方、建設業労働組合の低組織率の原因と組織化対策、ハイヤー、タクシー業におけ

る労働組合未組織の原因と不当労働行為の有無、職業病対策に関し、道立病院における研究成果及び今後の取り組み方、失業対策事業における知事贈与金についての考え方、特定不況地域における離職者再就職対策と公共事業への就労促進、パートタイマー等婦人労働者の就労実態と労働条件改善などに関する諸問題。

林務部所管におきましては、

カラマツ造林事業に関し、民有林の指導と間伐材利用促進対策、振動障害の実態と予防対策、林産協会、木材協会の建議の効果と不況倒産の関連性、道森連に係る監査指摘事項についての指導、森林組合の経営改善動向と経営体質の強化策、林業労働者退職共済制度の内容と加入状況及び国の新制度等との関連性、林地開発許可に係る申請内容と実態把握、倶知安町における造林地分譲に関し、分譲後の農地の実態にかかわる諸問題と対応策などに関する諸問題。

水産部におきましては、

漁業用燃油の高騰に伴う漁業経営対策及び遠洋漁業の今後の方策、漁業形態の転換に伴う漁港整備計画の一体化と今後の事業推進の考え方、水産関係試験研究機関の整備に対する検討状況、共和・泊原発立地に関し、岩内湾海象調査、海域調査の内容等及び環境影響評価並びに敦賀原発事故に関連しての見解、さけ・ます資源増大計画の現状と今後の対策、漁船海難事故の発生状況と海難防止の基本的考え方、美国町漁協におけるホタテガイ等区画漁業権に関し、漁業法違反の有無と措置対策などに関する諸問題。

住宅都市部所管におきましては、

琴似24軒団地の集会所管理にかかわる現状認識と指導の考え方、住宅供給公社発注工事における随意契約の実態と見解、同公社保有の南の里、南幌、厚真各団地の買収、処分の状況及び赤字解消策、特定不況地域に対する予算の重点配分と成果についての見解、住宅費を減額補正した理由と当初予算編成の基本的考え方、地元中小企業建設業の受注機会に対する配慮及び雇用促進の考え方、低所得者向け道営住宅に係る繰越明許の考え方とその理

由、道営住宅が長期間空き家となっている理由と今後の入居促進対策、室蘭、苫小牧及び函館市における公営住宅の減少認識と今後の取り組み、湖沼の水質汚濁防止対策に関し、下水道整備計画の促進と対処方策、星置養護学校工事に係る監理委託の実態と監理監督の方法などに関する諸問題。

土木部におきましては、

道路、河川等に係る未処理用地の現況と発生原因及び保有未処理用地の処理計画と今後の方策、土木部保有車両の実態と効率の運用、車両運転業務従事職員の適性検査、交通違反履歴チェックの有無と今後の方策、丸瀬布町に対する土地払い下げの経緯と町の土地転売に対する考え方などに関する諸問題。

生活環境部所管におきましては、

新生活運動に関し、支庁地区委員会の組織、構成及び新生活運動の効果、省資源、省エネルギー推進についての考え方、公害監視委員の活動状況、水質に係る立入検査体制の強化及び湖沼の汚濁防止対策、地熱開発の基本的考え方と環境保全対策などに関する諸問題。

商工観光部所管におきましては、

大型店進出の実態と地元商工業者への影響、商業近代化計画策定後の事業進捗状況と大型店対策の基本的考え方、道内卸売業界の経営実態の把握と業界振興策、大型店進出対策特別資金制度の基本的な考え方とその運用に対する見解、英会話教材等訪問販売の実態把握と苦情処理対策及び今後の指導方針、工鉦業開発促進条例に基づく助成実績と制度存続の見通し、企業誘致専門員等に対する報酬のあり方、道内機械工業界の技術水準に関する認識と本州企業に対するPR方法及び道内企業紹介誌作成の考え方、地場製品開発促進事業の実績と事後指導のあり方及び補助条件を単年度とした理由、工業技術修得事業の廃止理由と技術アドバイザー制度についての認識、工業開発に対する基本的考え方などに関する諸問題。

農務部所管におきましては、

農畜産物の輸入外圧に対する対処方針、酪農振興対策事業費に不用額を生じた理由、FPRサイロ倒壊事故のその後の状況と指導のあ

り方、肉用牛の販路拡大の考え方と食肉センターの広域化及び検査員のあり方、薬用作物の栽培試験研究の現状と今後の方針及び名寄市所在の生薬公社の実態、道産米の食味づくり試験研究の内容と整備強化及び流通のあり方、人体に影響を及ぼす残留農薬に関する試験研究の強化、農村地域工業導入の実態と、優良事例及び農業者雇用についての考え方、農業改良普及所の広域化と活動方式及び普及所運営費等についての考え方、バレイシヨシスト線虫の発生原因と対策、農林水産省原種農場移転に対する考え方、八雲町における酪農近代化団地育成事業等の施設設置経過と実態及び農協経費負担増の考え方、大野町木地挽地区国営草地開発事業の当初計画と変更の内容、地元負担の増加に伴う措置及び事業内容変更についての考え方、共和・泊原発予定跡地に関し、後志支庁の北電に対する指導文書の内容と農地法違反の有無、農業振興地域との関連、土地利用状況及び北電への指導方針などに関する諸問題。

農地開発部所管におきましては、

今後の農地開発行政の進め方、農業基盤整備事業受益者負担の軽減策、農地開発事業の進捗状況と事業促進対策、国営土地改良事業温根別地区の現状と受益者負担軽減策、第2次構造改善事業森中地区の境界紛争に係る解決策などに関する諸問題。

民生部所管におきましては、

特別生活資金貸付事業の実績と福祉灯油制度との関連、身体障害者用設備の実態把握と関係機関に対する設置要請の有無及び今後の対策、老人医療費等の不用額の内容と原因、精神障害者の社会復帰対策に対する考え方、ボランティア育成事業の対象校が少ないことに対する見解、慰霊墓参地域拡大についての考え方、盲導犬訓練協会に対する補助金増額に対する見解と盲導犬についてのPRのあり方、生活保護世帯に関し、人工透析に対する医療扶助適用の有無、腎臓提供者に対する医療費等の取り扱い及び市町村職員に対する指導などに関する諸問題。

衛生部所管におきましては、

無医地区巡回診療に関し、本道医療の特徴と

問題点、医療の地域格差についての見解及び受診率向上の具体的施策、医学、歯学修学資金の成果についての見解及び今後における医師定着対策、保健婦、助産婦修学資金に関し、道内における保健婦、助産婦の実態及び地域格差是正についての考え方、道立診療所に関し、専任所長欠員の状況、医師及び医療機器の現状と医療確保に対する見解、道立保健所における身体障害者用設備についての考え方、結核医療費等に多額の不用額が生じた理由と見解、精神衛生対策に関し、精神病院における超過収容解消策、アルコール中毒患者への対応策、精神衛生センターの機能拡大についての考え方、精神障害者の社会復帰の実態と取り組み、エヒノコックス症対策に関し、汚染地域の飲料水対策の実態、現行対策についての認識と媒介動物検査拡大の考え方などに関する諸問題。

開発調整部所管におきましては、

所管事業に係る行政効果についての評価と認識、発展計画の実施内容把握の方策と総合調整機能についての見解、総合交通体系の基本的考え方及び地方交通線廃止との関連、北方圏交流の基本的考え方及び北方圏センターの運営実績並びに交流基金の実態と運用についての考え方、サハリン天然ガス導入計画に係る今後のあり方などに関する諸問題。

公安委員会所管におきましては、

職員公宅の実態と転勤に伴う持ち家充足率低下との関連性、少年非行の実態とたまり場対策の現況と成果及び覚せい剤違反増加の要因、警察職員の健康診断に関し、定期検診及び成人病検診の実態把握、重要未解決事件に関し、他府県の捜査状況との比較、捜査本部解散後の捜査体制と道警庁舎及び旭川署安置所爆破事件の現況、遺失物法による遺失金保管の取り扱いと見解、パトカー等をオートマチック車とすることについての考え方、札幌運転免許試験場移転の進捗状況と周辺業者への対応策、道警本部庁舎、警察署等における身体障害者用施設設備の現況と改善についての考え方、サラ金問題に関し、道警の指導解決方策、貸し金取り立てと犯罪形成の範囲及び利息制限法を超える貸し付けに対する見解

などに関する諸問題。

教育委員会所管におきましては、

教職員住宅の現況と木造老朽住宅改築の考え方、教材教具購入の実態把握と道産品愛用の促進、学校図書を整備に関し、整備基準と実績及び今後の整備計画の考え方、北海道学校給食会の設立経過とその役割り及び道教委との関係並びに同会が供給する給食用物資と地場産業の関連、市町村立高等学校の道立移管に関し、移管基準と現状及び市町村の財政負担の考え方、児童生徒の健康保持に関し、脊柱側彎症及び骨折の現況と対策、公立高等学校入学者選抜改善案の経過と基本的な考え方、学校プールの普及状況と教職員採用試験との関係、旧釧路第一高等学校の取得に関し、道立高校として設置した理由及び買収に至った経過と買収価格、高等学校授業料の減免状況と緩和措置の考え方、学校安全会掛金の負担に関し、特殊学校児童生徒の公費負担の考え方などに関する諸問題。

総務部所管におきましては、

山菜取り行方不明事故に関し、救助活動に要する経費助成と事故防止広報活動の必要性、有珠山の現状と事務局の体制、職員の勤務時間に関し、病気休暇と年次休暇の状況、私立専修学校の生徒の収容状況と就職状況、道職員の不祥事件に関し、前日高支庁長等に係る不祥事件の事実経過と処分内容及び処分公表と綱紀保持等の諸問題、道有不動産の登記に関し、未登記物件存在理由及び登記妥当物件の登記の見通し、道広報誌に道議会の広報欄掲載に対する考え方、移転補償金を歳入歳出外現金として保管することの是非などに関する諸問題。

総括質疑におきましては、

北海道経済自立論についての見解、第2次産業の拡充強化に対する道の役割りと限界、工業開発振興費増額に対する見解及び地場製品開発促進事業補助金が単年度に限定されている理由と制度改善に対する考え方、企業誘致関係予算の増額についての見解など各般にわたり活発な論議が交わされた次第であります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして意見の調整を図りましたが、意見の一致を見るに至ら

ず、7月31日の委員会におきまして、採決の結果、賛成者多数をもって、次に申し上げる意見、すなわち、

1. 決算において多額の不用額が生じているが、多様化する行政需要に適切に対処するため、的確な予算見積もりを行うとともに、財源の有効活用について一層配慮すべきである。
2. 多額の財源不足を地方債に依存する財政運営のもとで国庫補助事業等において多額の超過負担が生じているが、この解消について今後一層努力すべきである。
3. 道の付属機関等のあり方と運営について改善を要するものがあるので、検討すべきである。
4. 道の行う行政施策の効果測定の方法について検討を行うべきである。
5. 林業労働者職業病未然防止のため、事業主等に対する指導を強化すべきである。
6. 住宅供給公社の行う業務の執行について、より適切を期するよう健全な運営についてさらに指導の徹底を図るべきである。
7. 英会話教材等訪問販売に係る苦情が多発している現状にかんがみ、消費者保護の観点から関係業者の指導徹底を図るべきである。
8. 地域医療の充実強化を図るため、医大等医療関係機関と密接な連携を図り、医師の充足に努めるべきである。
9. 職員の綱紀の厳正な保持については、今後とも万全を期するよう特段の努力を払うべきである。

以上の意見を付し、昭和54年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件は、これを認定すべきものと決定いたしました次第であります。

この間、委員各位におかれましては、終始、慎重かつ御熱心に審議を尽くされた次第でありまして、その御労苦に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

以上をもって、私の報告を終わります。

## 企業会計決算特別委員長報告

私は、ただいま議題となりました前会より継続審査の昭和55年度北海道各事業会計決算にかかわ

る報告第49号ないし第55号の7件につき、その審査経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、去る7月11日に設置され、直ちに正副委員長の互選を行うとともに、委員会運営の方法などを決定し、その後、7月16日の委員会において理事者から決算概要について、監査委員から決算審査意見について、それぞれ説明を聴取するとともに、8月11日、12日の両日には、関係事業について現地視察を行い、さらにまた、審査に必要な40項目の資料の提出を受け、決算内容等の調査を行ったところであります。

次いで、8月21日から関係各部局所管の審査に入り、8月17日をもって一切の質疑を終結した次第であります。

以下、関係部局所管ごとの質疑を通じ論議の対象となりました主な事項を申し上げますと、

林務部所管においては、

道有林野事業に関し、道有林基本計画の具体的な事業の実施状況とその効果、育林事業の現状と今後の取り組み方、振動障害の実態把握と今後の対策、委託事業の内容と基本的な考え方、道有林経営に関し、企業債償還の見通しと未処理欠損金の発生理由、財産の管理状況と貸付基準、基金運用の実態、林産物販売における契約方法と販売状況及び林道協会、治山協会、森林開発公団等の業務内容と同協会への負担金に対する考え方などに関する問題。

企業局所管においては、

工業団地開発事業に関し、苫小牧東部住宅用地、工業団地用地の買収実績と今後の見通し及びその効率的利用促進に対する見解、公共緑地の造成計画と管理主体、売却原価の計算方法とその推移及び今後の売却見通し、有料道路事業に関し、台風15号による被害状況と復旧の見通し及び昭和60年における無料開放の見通し、電気事業に関し、道営発電事業の意義及び北電に対する売電状況と売電契約に対する考え方、電気事業における今後の経営方針と公営企業経営の基本的方針などに関する問題。

衛生部所管においては、

道立病院の経営に関し、医療問題に対する現状認識と今後の課題、累積赤字の原因とその

対策、道立病院の設置目的と再編計画に対する考え方、各病院の空床利用対策、医師等医療技術者の配置状況と今後の充足対策。

住宅都市部所管においては、

北広島団地開発事業に関し、宅地処分遅延の原因とその対策、新住宅市街地開発法と分譲処分との法的関係、交通網改善の状況、宅地購入資金貸付制度の実績と貸付期間延長の理由及び住宅供給公社の年次別分譲実績と権利の制限及び買い戻し権の行使状況などに関する諸問題について、各般にわたり活発な論議が交わされた次第であります。

質疑終結後、各派代表者間において意見の調整を図りました結果、8月28日の委員会において、全会一致、報告第53号及び第54号は、認定議決、報告第49号ないし第52号及び第55号については、次に申し上げる意見、すなわち、

報告第49号については

1. 道立病院の運営に当たっては、地域の医療需要を的確に把握し、診療科目の設置及び医師、医療技術者の確保と適正配置を図る等経営の健全化に努力すべきである。

報告第50号については、

1. 森林資源の充実を図るとともに、道有林の持つ公益的機能を強化するよう努めるべきである。
2. 林業労働者の振動障害未然防止のための指導と労働安全施策をさらに推進すべきである。

報告第51号については、

1. 宅地分譲に当たっては、処分方法に検討を加えるとともに、計画達成を図る上で支障となるべき諸課題と取り組み、早期処分に努めるべきである。

報告第52号については、

1. 電力受給契約方式及び売電単価について改善を要する点があるので、早急に検討すべきである。

報告第55号については、

1. 苫小牧東部地区住宅用地については、開発事業主体を決定し、早期処分について一層努力すべきである。

以上の意見を付し認定すべきものと決定した次第であります。

この間、委員各位には、終始、慎重かつ御熱心に審議を尽くされた次第でありまして、その御労苦に対し、衷心より敬意を表する次第であります。これをもって、私の報告を終わります。

○10月2日（金） 午前10時10分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 請願第132号及び第133号**を議題とし、異議なく災害対策特別委員会に付託することに決定。次に、

**日程第2 議案第28号**を議題とし、知事から追加提案説明の後、日程第2にあわせ、

**日程第3 議案第1号ないし第27号**を一括議題とし、**代表質問**に入り、

**櫻林 巖議員（社会）**から、

- ① 行政改革をめぐる諸問題に関し、国の行政改革の特徴と知事の考え方、行政水準の維持・向上への努力、最近の本道の景気動向についての認識と明年度の本道経済の見通し、明年度道予算編成に当たっての基本方針の提示方、北海道特例引き下げについての考え方、国民健康保険療養給付費と児童扶養手当等の一部を都道府県が負担することについての見解、福祉・医療等道単独事業の継続についての考え、明年度の地方財政計画に関連しての地方単独事業の扱いについての見解、明年度における道の財政規模の見通し
- ② 領土並びに日ソ友好問題に関し、道新が行った北方領土に関する世論調査結果についての所見と行政への反映方、領土の返還方式についての見解、返還要求運動と友好親善関係の確立についての考え方、日ソ間の国際交流の評価並びに道の対応経過と今後の民間交流についての見解、ソ連との友好関係の進展についての見解
- ③ 道民生活にかかわる経済及び住宅問題に関し、本年度下半期以降の本道経済の見通し、素材型産業の不況対策、個人消費の拡大方策、道営田地等の地価凍結に対する所見、南の里田地の開発の経過と将来計画
- ④ 身障者雇用に関し、身体障害者雇用審議会の答申内容についての所見及び道の雇用拡大策、雇用率未達成企業に対する実効策、道の

指定業者の雇用状況、雇用率未達成市の公表方

- ⑤ 福祉灯油に関し、福祉灯油実施についての考え
- ⑥ 物価対策に関し、家庭用灯油の値上げ理由及び価格抑制策と供給の見通し、暖房用エネルギー懇話会の構想に係る灯油の共同購入の普及促進についての考え、今冬期間の野菜需給の見通しと価格抑制対策、北電の電気料金改定の妥当性と道民生活に及ぼす影響、福祉料金の対象範囲の拡大と期間延長の検討方
- ⑦ 医療問題に関し、道立病院の移管計画の見直し、元道立増毛病院における医師の報酬問題発生背景と根本的な解決策、医師確保と札幌医大の役割
- ⑧ 季節労働者対策に関し、季節労働者に対する基本的姿勢及び季節労働者白書の受けとめ方、積寒給付金制度の代替対策の必要性、通年雇用対策と冬期職業講習の適正運用についての指導の必要性、道独自の就労事業実施の早期検討方
- ⑨ 国鉄問題に関し、国鉄地方交通線に対する知事意見を無視した形での廃止承認についての受けとめ方、特定地方交通線対策協議会への対応姿勢、沿線市町村の動きと道としての今後の対応、関係法案に対する参議院の附帯決議の受けとめ方、石勝線の開通に伴う根室本線沿線地域への影響と振興対策の経過及び今後の対応、青函トンネルの完成に伴う連絡船減船の見通しと地域経済への影響及び対処策
- ⑩ 農業問題に関し、農業振興に関する基本的見解、臨調第1次答申の農業基盤整備事業及び生活環境整備事業見直しについての見解、米の売買逆ざや解消と転作奨励金削減等についての見解、農林漁業の助成措置についての見解、農作物の被害対策、転作等の目標面積の軽減措置についての国への働きかけ方
- ⑪ 教育問題に関し、中卒者の増減期における高校適正配置への取り組み、学科の統合と教育内容、間口減による公私立高校間の分担調整、57年度の私学助成措置、臨調第1次答申のいわゆる40人学級の凍結案に対する見解、高校及び札幌医大の検定料・入学金の増額改

定の理由

- ⑫ 警察問題に関し、警察官の言動等に対する批判の受けとめ方、人間教育の現状と今後の充実策、道民協力に際しての現場警察官の対応の在り方について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。議事進行の都合により、午後零時25分休憩、午後1時45分再開。次いで、榎林巖議員（社会）から再質問、知事から答弁調整に時間を要する旨発言があって、議事進行の都合により、午後2時25分休憩、午後4時46分再開し直ちに延会。

- 10月3日（土） 午後3時18分開議、諸般の報告の後、議案調査のため10月5日は休会することに決定。次いで、本日の本会議は、日程を延期し、延会することに決定して直ちに延会。

- 10月6日（火） 午後1時9分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第28号を議題とし、質疑並びに代表質問を継続、知事から10月2日の本会議における榎林巖議員（社会）の再質問に対する答弁の後、榎林議員から再再質問、和田勝之議員（自民）から質問中、不穏当な字句が考えられるので、議事録精査のため、休憩を求める旨の議事進行発言があって、午後1時45分休憩、午後4時47分再開し直ちに延会。

- 10月7日（水） 午後4時44分開議、諸般の報告の後、本日の本会議は、日程を延期し、延会することに決定して直ちに延会。

- 10月8日（木） 午後4時45分開議、諸般の報告の後、本日の本会議は、日程を延期し、延会することに決定して直ちに延会。

- 10月9日（金） 午後2時5分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第28号を議題とし、質疑並びに代表質問を継続、議長から、10月6日の本会議における和田勝之議員（自民）の議事進行発言について取り下げの申し出があり、これを了承することとした旨報告の後、知事から10月6日の本会議における榎林巖議員

（社会）の再再質問に対する答弁。次いで、

石山 直行議員（自民）から、

- ① 本道経済の動向と道政の対応に関し、本道経済の現状認識と打開策、不況打開についての国への働きかけと道単事業の取り組み、本道独自の景気情報の把握提供について検討方
- ② 行革問題に関し、北海道特例削減と開発理念、地域特例の一律カットによる道財政への影響、国庫補助金等の削減に伴う道及び市町村財政への影響等
- ③ 農業問題に関し、酪農家の負債整理対策、経営改善計画に見込む乳量の調整指導の考え、本年産畑作物の適正価格実現に向けての取り組み
- ④ 中小企業の不況対策に関し、金融対策、倒産防止特別相談室及び広域指導センターの拡充、商工調停士の増員の考え、中小工業の技術開発のための異業種間交流の検討方
- ⑤ 国際障害者年の長期行動計画に関し、内容の独自性及び策定時期
- ⑥ 製材業の不況対策に関し、林産業の現状認識、年末の需要減少期に向けての対策、構造改善事業の具体策
- ⑦ 秋サケ資源の適正配分についての具体策
- ⑧ 道職員の争議行為と服務規律についての所見
- ⑨ 地域医療の確保に関し、元道立増毛病院における報酬問題の受けとめ方、地域センター病院の指定整備の促進、医師確保に対する札幌医科大学等の協力体制の確立、地域医療確保についての所見
- ⑩ 教育問題に関し、57年度高校進学者激減に伴う私学への影響、私学振興の考え方、中卒者増減期における高校間口対策及び公私立間の分担、学区改正に伴う学区間の収容率の調整方針、本道における主任の制度化の実情及び機能発揮の充分性、主任手当支給範囲の拡大についての検討方
- ⑪ 交通事故対策に関し、交通機動隊の事故多発地域への重点配置及び覆面パトカーの有機的運用の検討、右側はみ出し禁止規制見直しの必要性、各種交通安全会議への若年層の参加促進
- ⑫ 北方領土問題に関し、領土復帰運動に取り

組む知事の姿勢と決意について  
質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁が  
あって、午後3時39分延会。

○10月12日（月） 午前10時37分開議、諸般の報  
告の後、

日程第1 議案第1号ないし第28号を議題と  
し、質疑並びに代表質問を継続、

工藤 啓二議員（公明）から、

- ① 行政改革問題に関し、道政執行に及ぼす影  
響と今後の公共事業の在り方についての考  
え、公共事業抑制のもとでの景気浮揚策、道  
発展計画の見直しの考え、知事公約の達成見  
通し、厚生年金保険等の国庫負担の減額及び  
各種年金の物価スライドの実施時期の繰り下  
げ等についての見解と対応策、国民健康保険  
の国庫負担の地方転嫁等福祉政策後退につ  
いての所見と国への働きかけ、第5次学級編制  
及び教職員定数改善計画の今後の見通し
- ② 企業誘致対策に関し、工業団地の分譲状況  
及び本年上期の立地動向、今後の企業誘致の  
方策、いすゞ自動車関連企業誘致対策の経過  
と見通し、トヨタ自動車の試験場建設に伴う  
地域振興策と道の対応
- ③ 中小企業金融対策に関し、年末に向けての  
金融対策、倒産関連資金の融資枠の充分性、  
信用保証協会の保証業務の取り扱いについて  
の考え
- ④ 灯油対策に関し、今冬における灯油の供給  
対策、灯油価格の安定及び離島の備蓄対策
- ⑤ 福祉対策に関し、国際障害者年関連事業の  
継続実施の必要性、心身障害者総合相談所の  
機能充実と早期完成方、重度身障者の低雇用  
率の原因と職域開発の進め方、身障者の道職  
員への採用についての見解
- ⑥ 国鉄ローカル線廃止問題に関し、国鉄の態  
度及び関係市町の動きについての認識と対応
- ⑦ 北方領土問題に関し、北方領土復帰促進北  
海道使節団等の拡充による国際世論喚起の必  
要性、元島民の援護対策強化について

質問があり、知事及び教育長から答弁。工藤啓二議員  
（公明）から再質問、知事から答弁。次いで、

木下 一見議員（道政）から、

- ① 経済問題に関し、素材型産業の不況に伴う

国への働きかけと道の方策、税収面からみた  
景気停滞の影響業種、本年度の税収確保の見  
通し、住宅建設業及び建設資材関連産業の現  
状認識と対応策、不況下における中小企業対  
策

- ② 行政改革問題に関し、北海道特例の引き下  
げと本道開発事業の推進についての見解、産  
炭地域等の振興方策、地方公務員の給与実態  
の公表等についての所見
- ③ 福祉問題に関し、障害者の住みよい地域社  
会づくりへの取り組み、社会福祉施設関係職  
員の研修の充実強化
- ④ エネルギー問題に関し、共和・泊原発の運  
転開始までの日程、安全協定・防災計画等の  
適期策定、家庭用プロパンガスの北海道価格  
解消への取り組み、プロパンガス輸入基地設  
置についての検討経過
- ⑤ 北方領土問題に関し、返還運動の国際世論  
喚起への取り組み、北方領土隣接地域振興の  
ための基金設置等への取り組み
- ⑥ 教育問題に関し、学校における安全教育の  
実態及び充実への取り組み、児童生徒の体力  
づくりについての指導の実態及び充実への取  
り組み、道民体力づくりのための道立スキ  
ー学校の設置検討方、校長の学校管理能力及び  
指導力向上についての取り組みについて  
質問があり、知事及び教育長から答弁。議事進行の都  
合により、午後零時44分休憩、午後2時31分再開。次  
いで、一般質問に入り、

高橋 康之議員（自民）から、

- ① 福祉問題に関し、第2期社会福祉長期計画  
の実績及び最終年次に向けての取り組み、新  
長期計画策定の必要性と策定に当たっての基  
本理念
- ② 臓器移植問題に関し、角膜及び腎臓移植の  
実態と提供者の確保に対する取り組み
- ③ 精神障害者対策に関し、精神障害者の福祉  
についての問題点と道としての取り組み、北  
海道精神障害者家族連合会への支援検討方  
について

質問があり、知事から答弁。次いで、

輪島 幸雄議員（社会）から、

- ① 大型店問題に関し、大型店進出に対応した  
施策の効果、大型店進出対策の基本姿勢、都

市づくりとの係り合いを考慮した国への働きかけ、第2種大型店の調整に係る審査方法の検討状況、審査方法作成の基本的な考え方と時期、大型店の初売り繰り上げに伴う労働過重に対する認識と対応

- ② 国際障害者年関連施策に関し、精神障害者社会復帰施設の整備遅滞の理由、自閉症児の実態及び療育訓練上の連携の状況、自閉症児施設整備を福祉型とした理由及び今後における医療型整備への取り組み、小児精神医療の実態と問題点及び今後の取り組み方、心身障害者の雇用促進のための施策とその成果及び今後の取り組み方針、道の仕事を受注する企業等の身障者雇用促進の検討方

- ③ テクノポリスに関し、建設地域指定に向けての道の取り組み、指定に向けての推進体制について

質問があり、知事から答弁。輪島幸雄議員（社会）から再質問、知事から答弁。次いで、

**中川 義雄議員（自民）**から、

酪農振興に関し、本道酪農の現状認識と位置づけ、先進諸国と対比した本道酪農の水準、今後の酪農振興方策、自給飼料の生産性向上に対する取り組み、総合的情報機能のシステム化の必要性について

質問があり、知事から答弁があつて、午後4時16分延会。

○10月13日（火） 午前10時19分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第28号**を議題とし、質疑並びに**一般質問**を継続、

**小田原 要四蔵議員（社会）**から、

- ① 国際関係に係わる諸問題に関し、道新が行った北方領土に関する世論調査に係わる世論の統一についての見解、領土要求と友好促進との関係、領土要求と貝殻島コンプ協定との整合性、国際問題に関する国と地方の役割り、領対本部設置の目的と意義、領土問題の解決促進についての見解、対ソ関係の重要性と交流の十分性、ソ連要人の表敬訪問に対する道の姿勢、本道とソ連との定期航路の開設と経済交流についての所見、貝殻島コンプ交渉及び根室水域における洋上交流に対する派遣大

使からの助言内容、英文の北方領土に関する道の資料発行の意図、固有の領土についての国際的理解、資料発行に際しての派遣大使との協議の有無、大使派遣再検討の必要性

- ② 経済問題に関し、景気動向調査結果の公表と施策への活用状況、経済予測を行うことについての所見、経済調査室の拡充強化の必要性

- ③ 心身障害者問題に関し、身障者の道職員への計画的採用の必要性、障害者の就職実態の把握と雇用環境改善への取り組み、障害者の求職動向把握による施策への反映方、北海道心身障害者雇用促進協会の機能充実についての考え、障害者雇用に係る助成金事務処理の効率化について

質問があり、知事から答弁。小田原要四蔵議員（社会）から再質問、知事から答弁。小田原議員から再再質問、知事から答弁。次いで、

**吉川 貴盛議員（自民）**から、

- ① 国体に向けての選手強化策に関し、競技力向上推進本部設置に係る進捗状況、推進本部による強化計画

- ② 青少年の健全育成に関し、非行の低年齢化・暴力非行激増傾向に対する認識と今後の対応、環境浄化に対する取り組み、学校における社会的モラル、しつけの指導についての認識、心の触れ合いを大事にする教育についての見解、青少年リーダー育成についての取り組み、家庭・学校・地域社会の役割りと連携強化策、生涯教育の観点に立った青少年育成に対する認識と条件整備の進め方について

質問があり、知事及び教育長から答弁。議事進行の都合により、午後零時11分休憩、午後1時35分再開。次いで、

**渋谷 澄夫議員（社会）**から、

- ① 交通体系整備に関し、利用圏域と空港を結ぶ交通網の整備についての考え、地方交通線への特別運賃導入に対する見解、過疎地域等における自家用車の共同利用検討に対する所見、北海道運輸交通審議会及び札幌地方陸上交通審議会における検討状況

- ② 原発問題に関し、共和・泊原発に係る岩内郡漁協の方針変更に至る経過、現地説明会の目的と内容、評価書受理に伴う電調審の時期

等今後の日程、地元の不安の解消策、北電の環境影響評価書に係る海生生物調査方法の可否と総合評価の的確性、小樽商大による住民意識調査結果に対する見解、原子力発電所における防災計画の必要性、原発立地計画の運転目標下方修正報道に対する所見、敦賀発電所事故に係る補償についての見解、立地点の試掘横坑の公開における道職員の立会の有無及び専門学者入坑の必要性、和光大学教授の入坑拒否の理由、下川鉱山の初年度試験結果についての評価及び年度調査内容等

- ③ 教育問題に関し、学校常備薬の実態と今後の指導についての考え、57年度高校適正配置計画の目標と確定に至る日程、間口減に関する地元意向への対応、教職員の定数改善について道独自による実施方、公立文教施設の整備についての見通し、危険建物耐力度点数引き上げが認められなかった場合の影響について

質問があり、知事及び教育長から答弁。渋谷澄夫議員（社会）から再質問、知事から答弁調整に時間を要する旨発言があって、議事進行の都合により、午後2時41分休憩、午後4時25分再開、あらかじめ会議時間を延長の上、知事及び教育長から、渋谷議員の再質問に対する答弁。渋谷議員から再再質問、知事から答弁。小田原要四蔵議員（社会）から、議事録精査を求める旨の議事進行発言があって、午後4時46分休憩、午後6時8分再開し直ちに延会。

○10月14日（水） 午後1時19分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議員第1号ないし第28号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、知事から昨日の本会議における渋谷澄夫議員（社会）の再再質問に対する補足答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、渋谷議員から発言。次いで、

湯田 倉治議員（道政）から、

- ① 機構改革に関し、本庁機構の現状認識と見直しに対する所見、局制の導入と地方自治法の改正に対する国への働きかけ
- ② 苫東開発に関し、苫東開発会社の役員人事についての考え方、苫小牧港管理組合専任副管理者の人事のあり方、東港整備事業の費用

負担の見通しと地元への影響及び要求額の確保方、中防波堤事業の実施方法と完成目途、東防波堤の完成見通し、東水路地区の整備と東・中両防波堤の整備との併行実施、いすゞ自動車の操業に係る東港の整備見通し、東水路の計画内容、フィーダー港としての指定に対する努力方

- ③ 岩沢事件に関し、本人の所在、捜査の管轄権、犯罪行為として捜査する考え、政治家への資金の流れと調査の有無、捜査の必要上道警の指定医師による本人の健康診断をすることについての見解
- ④ 暴走族対策に関し、札幌大通公園における暴走族グループ対立事案に対する警察措置とその十分性、取り締まりの強化徹底について質問があり、知事及び警察本部長から答弁。湯田倉治議員（道政）から再質問、知事及び警察本部長から答弁。湯田議員から再再質問、警察本部長から答弁。次いで、

関根 建二議員（社会）から、

- ① 日高山脈襟裳国定公園の自然環境保全対策に関し、静内中札内線の建設に係る環境調査の実施状況、道と開発局の調査結果の公表の考え、公園管理者としての調査結果の活用方法と自然公園法に基づく審査との係わり、調査結果による計画路線の修正についての対応、特別保護地区等の特別地域の自然環境保全対策
- ② 宅地行政のあり方に関し、宅地行政の基本、開発許可制度の趣旨とそのあり方、北見市美山団地の開発についての事実経過、市の係わりと役割、開発許可の妥当性、相互不動産の開発許可の地位の継承を承認した理由と審査の適否、国土法に基づく宅地売買の事前確認の実態と相互不動産の売買行為の違法性、許可外の工事施行を放置している理由、同社と役員のための社会的責任、二重売り等による被害者の救済対策の経過と今後の対処策、宅地行政の今後の改善策について

質問があり、知事から答弁。関根建二議員（社会）から再質問、知事から事実確認に時間を要する旨発言があって、議事進行の都合により、あらかじめ会議時間を延長し、午後4時12分休憩、午後5時45分再開。知

から休憩前の関根議員の再質問に対する答弁があって直ちに延会。

○10月15日(木) 午前10時19分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第28号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、

吉野 之雄議員(社会)から、

- ① 日本海沿岸漁業の振興に関し、日本海海域の漁業資源の状況と増大等の対策、沿岸漁場整備開発事業の実績とその成果、省エネ対策としてのイカつり漁業の光力規制の必要性、海面埋立てによる影響と漁場環境保全対策、公共用水域における水質環境の保全対策、沖合い底びき網漁業の再編整備と操業規制等による資源保護対策の推進、漁業後継者の確保策、マスはえなわ切断事件に伴う漁業被害補償の解決に対する国との折衝経過と今後の見通し、補償までのつなぎ措置

- ② 災害対策に関し、今次災害に対する認識、河川の維持管理の状況と被害との関連性及び今後の対応、災害防止のための災害復旧事業の在り方、道内森林資源の国土保全機能の实情と向上対策、農地開発と災害との因果関係及び今後の進め方、災害に伴う建築規制等住宅行政の在り方、治水ダムの建設の推進について

質問があり、寺田副知事から答弁。吉野之雄議員(社会)から再質問及び再再質問、副知事から答弁。次いで、

岡本 栄太郎議員(社会)から、

- ① 農業問題に関し、今回の重複災害に伴う被害の的確な把握と冷湿害対策の進め方、畑作物価格対策の実態、砂糖をめぐる情勢とてん菜の安定対策、食管法改正による道産米に及ぼす影響と法令の運用に対する道の対処方針、酪農近代化計画推進下における酪農経営の悪化に対する見解、第4次酪近計画策定に当たっての考え方、飼料基盤の整備、計画推進の施策と国への働きかけ方、新酪農村入植農家の経営実態と事業完了後の農家負担額及び償還条件の緩和措置、酪農負債整理の考え方と具体的対策
- ② 国立公園の環境対策に関し、阿寒湖の汚泥

調査の時期と対策、湖畔の下水道整備の見通し

- ③ 空缶対策に関し、デポジット制度を含む条例制定に対する所見

- ④ 後進地域開発事業の補助金に関し、特例措置の趣旨と制度適用の経過、道営圃場整備事業等に係る道と地元との負担割合、特例補助のかさ上げ額と全額を道の一般財源とする理由、受益者負担の軽減に対する見解等について

質問があり、寺田副知事から答弁。議事進行の都合により、午後零時36分休憩、午後2時再開。岡本栄太郎議員(社会)から再質問及び再再質問、副知事から答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、岡本議員から質疑があって、副知事から答弁。次いで、

熊谷 克治議員(社会)から、

- ① 国の行政改革と知事公約に関し、公約達成についての予測と国の行革等との関係、達成不可能な公約と道民の理解を求める措置の必要性

- ② 青少年の健全育成に関し、道青少年保護育成条例の今日的意義、条例の運用の状況とその効果、有害図書指定等に係わる児童審議会の対応状況、関係業界の自主規制についての道の対応、条例第17条に基づく申し出の件数と処理状況、同規定の周知状況、事務担当職員の配置実態、立入調査員の指定方法、市町村職員兼職の理由と法的根拠及び経費の負担区分、条例の所管を青少年婦人事務局に移管する考え

- ③ 情報公開に関し、情報公開問題準備検討会の概要と今後のスケジュール、秘密文書等取扱規程の制定方法と事前公開による意見聴取の考え、文書館についての検討経緯と開館の見通し、行政資料課の情報提供業務との関係、他府県における行政情報の公表に対する見解と情報管理体制の改善

- ④ 教育行政に関し、北海道護国神社祭全道献書展の開催状況と宗教活動との関係、知事の実行委員会の顧問就任及び授賞の当否、憲法第20条の規定趣旨との関連、同献書展についての道教委の対処姿勢、障害者の教育職員採用に対する配慮と具体案について

質問があり、寺田副知事及び教育長から答弁。熊谷克治議員（社会）から再質問、あらかじめ会議時間を延長の上、寺田副知事及び教育長から答弁の後、小田原要四蔵議員（社会）から議事録精査の上、的確な答弁を求める旨の議事進行発言があって、午後5時7分休憩、午後5時9分再開し、直ちに延会。

○10月16日（金） 午後1時6分開議、諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第28号を議題とし、質疑並びに一般質問を継続、知事から昨日の熊谷克治議員（社会）の再質問に対する補足答弁。熊谷議員から再再質問があり、知事から答弁。次いで、**

**柳谷 正一議員（公明）から、**

- ① 医療行政に関し、肺ガン検診の現状と今後の見通し、脳卒中による在宅患者の後遺症対策の現状と今後の取り組み、リハビリテーション施設の整備と理学療法士・作業療法士の充足対策、いわゆる痴呆性老人の実態把握と対策の必要性
- ② 農地開発行政に関し、土地改良区の運営動向の実態認識と今後の対処策、土地改良技術員の育成確保に対する考えと今後の対策、土地改良長期計画の進捗状況並びに次期長期計画策定に当たっての見解
- ③ 開発行政と雇用問題に関し、青函トンネル完成に伴う地元への影響と対処策、トンネル先進導坑工事完成に伴う工事従事者の再就職対策
- ④ 教育行政に関し、旭川美術館の開館見通しと運営についての考え、道立地方美術館の2号館の設置個所について

質問があり、知事及び教育長から答弁。柳谷正一議員（公明）から再質問、知事から答弁。次いで、

**川崎 守議員（共産）から、**

- ① 行政改革に関し、行革の性格に対する認識、行革に対する知事の基本的姿勢、行革の道民に対する具体的影響、老人医療の単独事業についての考え、北海道特例についての復元の見通し、道の行革に係るビルド面の具体的整備計画
- ② 原発問題に関し、原発の安全性確保についての所見、共和・泊原発に係る岩内郡漁協の

漁業補償等についての考え方と今後の漁業振興策、漁業関係者以外の地域住民の合意を得ることの必要性、寿都漁協の反対決議への対応、北電の漁業振興資金の法的根拠

- ③ 季節労働者対策の確立についての国への働きかけ
- ④ 青函連絡船問題に関し、青函トンネル完成に伴う連絡船廃止の可能性と地元経済への影響及び対応
- ⑤ 砂利採取現場における事故問題に関し、瀬棚町の日光産業の砂利採取場における死亡事故の発生状況、現場管理体制の実態と業者への措置、瀬棚石材工業に対する砂利採取計画認可の根拠について

質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。川崎守議員（共産）から再質問、知事及び教育長から答弁。川崎議員から再再質問、知事から答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、川崎議員から意見があって、質疑並びに一般質問を終結。次いで、

木下一見議員（道政）から、予算に関する案件について、31人の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、議案第1号ないし第4号、第9号ないし第11号を付託されたいとの動議を提出、賛成があって動議成立、動議に係る各案件は、予算特別委員会に付託の上、次の委員（配付名簿のとおり）を議長指名により選任。次いで、議案第28号については、災害対策特別委員会に付託することを異議なく決定。次いで、残余の案件については議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託した。

#### ○予算特別委員（31人）

小田原要四蔵（社会）	渋谷 澄夫（社会）
樫林 巖（社会）	石崎喜太郎（自民）
伊藤 弘（自民）	石山 直行（自民）
高橋 康之（自民）	宇川 源吉（自民）
木下 一見（道政）	高木 繁光（自民）
橋 浪蔵（道政）	寺崎 政朝（自民）
土屋 良三（自民）	中崎 昭一（自民）
中川 義雄（自民）	伊藤 豪（道政）
久田 恭弘（自民）	野村 權作（自民）
山口 真人（自民）	小笠原 孝（自民）
吉川 貴盛（自民）	工藤万砂美（自民）
長岡 寅雄（社会）	鈴木 誠二（社会）

吉野 之雄（社会） 本間喜代人（共産）  
工藤 啓二（公明） 山家 勇（社会）  
柳谷 正一（公明） 佐藤 幹夫（自民）  
輪島 幸雄（社会）

○10月17日（土） 午後4時43分開議、諸般の報告の後、北炭夕張新炭鉱災害犠牲者に対し、弔意を表し全員起立の上、黙とう。次に、寺田副知事から、北炭夕張新炭鉱災害発生に関し報告の後、

**日程第1 議案第28号**を議題とし、東典俊災害対策特別委員長（自民）から委員会における審査の経過と結果について報告の後、委員長報告のとおり原案可決。次いで、

**日程第2 会期延長の件**を議題とし、会期を10月23日まで4日間延長することに異議なく決定。次に、各委員会付託議案審査のため10月19日から10月22日まで休会することに決定して午後4時55分散会。

○10月23日（金） 午後4時41分開議、あらかじめ会議時間を延長し諸般の報告の後、

**日程第1 議案第1号ないし第27号**を議題とし、工藤万砂美予算特別委員長（自民）から議案第1号ないし第4号及び第9号ないし第11号について、青山正男総務委員長（自民）から議案第6号及び第12号について、笹浪幸男建設委員長（自民）から議案第7号、第13号、第14号及び第18号ないし第20号について、中田繁夫文教林務委員長（社会）から議案第8号、第17号及び第21号ないし第27号について、新沼浩水産委員長（自民）から議案第15号及び第16号について、それぞれ委員会における審査の経過と結果について報告の後、吉野之雄議員（社会）ほか34人提出の議案第1号に関する修正案の趣旨説明を行い、討論に入り、川崎守議員（共産）から議案第1号の修正案に係る部分を除く残余の部分、議案第4号及び第8号、第12号ないし第17号について反対討論があって、討論終結。次いで、採決に入り、吉野之雄議員ほか34人提出の修正案を問題とし、起立採決の結果、起立少数（自民、道政反対）をもってこれを否決。

次に、議案第1号のうち、修正案に係る原案部分を問題とし、起立採決の結果、起立多数

（社会、公明、共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、議案第1号のうち、すでに決定した部分を除く残余の部分を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、議案第5号、第8号及び第12号ないし第17号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、公明、共産反対）をもって委員長報告のとおり原案可決。次に、議案第2号ないし第4号、第6号、第7号、第9号ないし第11号及び第18号ないし第27号を問題とし、異議なくいずれも委員長報告のとおり原案可決。次に、

**日程第2 議案第29号ないし第32号**を議題とし、知事から追加提出議案に関する説明を行い、討論に入り、本間喜代人議員（共産）から議案第32号について反対討論があって、討論終結。次いで、議案第29号、第30号及び第32号を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案のとおり同意議決または原案可決。次に、議案第31号を問題とし、異議なく原案のとおり同意議決。次いで、

**日程第3 決議案第1号**を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、異議なく原案のとおり可決。次いで、

**日程第4 意見案第4号**を議題とし、宇川源吉議員（自民）から提案説明があり、委員会付託を省略の上、異議なく原案のとおり可決。次いで、

**日程第5 意見案第2号、第3号、第5号及び第6号**を議題とし、提出者の説明及び委員会付託を省略の上、いずれも異議なく原案のとおり可決。次いで、

**日程第6 請願・陳情審査の件**を議題とし、委員長報告を省略の上、いずれも異議なく委員会決定（採択4件、不採択1件）のとおり決定。次いで、

閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件を議題とし、各常任委員長並びに関係特別委員長から申し出のとおり、閉会中継続審査または調査に付することに決定して、今期定例会に付議された案件は、すべて議了。松浦義信議長から閉会に当たってのあいさつがあって、午後5時26分閉会。

## 予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果につきまして御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、去る10月16日設置され、議案第1号ないし第4号及び第9号ないし第11号の7件が付託されたのでありますが、委員会といたしましては、同日、直ちに正副委員長の互選を行いますとともに、議案審査の方法等につきまして協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに2分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、正副委員長の互選を行った結果、第1分科会は、委員長に野村権作君、副委員長に吉野之雄君、第2分科会は委員長に樫林巖君、副委員長に土屋良三君を選出するとともに、審査の方法等についても協議を行い、19日から各部所管質疑に入り、22日をもって各分科会の一切の質疑を終了し、本日の委員会において各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

今回付託されました案件は、国庫補助事業などの見通しを得たことに伴う経費及び当面措置を要する経費についての所要の措置を講じようとするものでありまして、その総額は、一般会計及び特別会計を合わせ、67億6,700万円余に及ぶ補正予算並びにこれに関連する議案でありまして、これらの案件を中心に道政各般にわたり熱心な質疑が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会におきましては、引き続き各分科会において質疑保留となった事項につきまして総括質疑を行い、付託案件に対する一切の質疑を終結した次第であります。その総括質疑の主なものを申し上げますと、福祉施設の移転、統合について、環境影響評価書の提出時期及び縦覧、告示の取り消しについて、理事者の議会対応について、原子力基本法3原則について、北炭夕張新炭鉱の災害に関する道の対応と今後の対策についてなど

であります。

質疑終結後、各派代表者間におきまして、各案件について意見の調整を図ってまいりましたが、議案第1号につきましては、意見の一致を見るに至らず、本日の委員会において、吉野之雄君外10人から修正案が提出され、採決の結果、賛成者少数をもって否決せられ、したがって、議案第1号は、原案可決、その他の案件、議案第2号ないし第4号及び第9号ないし第11号は、全会一致、原案可決と決定した次第であります。

なお、議案第1号につきましては、少数意見が留保されておりますことを申し添えます。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経過と結果を申し上げたのでありますが、委員各位におかれましては、連日、慎重かつ御熱心に審議を尽くされた次第でありまして、その御労苦に対し、衷心より敬意を表する次第であります。

これをもって、私の報告を終わります。

### 第3回定例会において知事から提出のあった案件

#### 議 案

提出月日	番号	件 名	付 託 委 員 会	議決月日	議事結果
9. 26	1	昭和56年度北海道一般会計補正予算（第3号）	予算特別	10. 23	原案可決
同	2	昭和56年度北海道中小企業近代化資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	3	昭和56年度北海道有林野事業会計補正予算（第2号）	同	同	同
同	4	昭和56年度北海道工業用水道事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	5	札幌医科大学条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	6	北海道税条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	7	北海道公営住宅条例の一部を改正する条例案	建 設	同	同
同	8	北海道立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例案	文教林務	同	同
同	9	石狩東部広域水道企業団に対する出資の件	予算特別	同	同
同	10	北海道農業信用基金協会に対する出資の件	同	同	同
同	11	財団法人北海道勤労者信用基金協会（仮称）に対する出資の件	同	同	同
同	12	空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	総 務	同	同
同	13	街路事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建 設	同	同
同	14	流域下水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	15	沿岸漁場整備開発事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	水 産	同	同
同	16	漁港修築事業等に伴う地方公共団体の負担金に関する件	同	同	同
同	17	林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	文教林務	同	同
同	18	北海道道の路線の認定及び廃止に関する件	建 設	同	同
同	19	工事請負契約の締結（石狩川流域下水道奈江浄化センター管理棟躯体工事）に関する件	同	同	同
同	20	工事請負契約の締結（函館市道営高層公営住宅新築工事）に関する件	同	同	同
同	21	財産の取得（北海道旭川地区高等学校建設用地）に関する件	文教林務	同	同
同	22	財産の取得（北海道札幌東区高等学校建設用地）に関する件	同	同	同
同	23	財産の取得（北海道札幌西区第2高等学校建設用地）に関する件	同	同	同
同	24	財産の取得（北海道札幌西区第1高等学校建設用地）に関する件	同	同	同
同	25	財産の取得（北海道広島地区高等学校建設用地）に関する件	同	同	同
同	26	財産の取得（北海道名寄高等学校用地）に関する件	同	同	同
同	27	損害賠償の額の決定に関する件	同	同	同
10. 2	28	昭和56年度北海道一般会計補正予算（第4号）	災害対策特別	10. 17	同
10. 23	29	北海道教育委員会委員の選任につき同意を求める件		10. 23	同意議決
同	30	北海道人事委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
10. 23	31	北海道収用委員会委員及び北海道収用委員会予備委員の選任につき同意を求める件		10. 23	同意議決
同	32	特別職職員の退職手当の額を定める件		同	原案可決

## 報 告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
9. 26	1	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定、9月17日1件、9月18日1件専決処分）			報告のみ

## 第3回定例会において議員から提出のあった案件

### 決 議 案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
10. 23	1	冷害・災害対策特別委員会設置に関する決議	水沼徳一郎議員ほか 13人	10. 23	原案可決

### 意 見 案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
9. 26	1	昭和56年産畑作物価格等に関する要望意見書	若狭靖議員ほか 12人	9. 26	原案可決
10. 23	2	「中小企業の事業活動の機会の確保のための大企業者の事業活動の調整に関する法律」における調整権限の知事への委任に関する要望意見書	藤井虎雄議員ほか 11人	10. 23	同
同	3	聴覚言語障害者対策の推進に関する要望意見書	石山直行議員ほか 12人	同	同
同	4	北炭夕張炭鉱災害等に関する要望意見書	宇川源吉議員ほか 14人	同	同
同	5	地域の公共交通確保に関する要望意見書	青山正男議員ほか 12人	同	同
同	6	行政改革に関する要望意見書	同	同	同

### 修 正 動 議

提出月日	件名	提出者	議決月日	議事結果
10. 23	議案第1号 昭56年度北海道一般会計補正予算（第3号）に対する修正動議	吉野之雄議員ほか 34人	10. 23	否 決

前会から継続審査中の案件

報 告

提出月日	番号	件 名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
55.12.9	2	昭和54年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	56.9.26	意見を付し認定議決
56. 7.7	49	昭和55年度北海道病院事業会計決算に関する件	企業会計 決算特別	同	同
同	50	昭和55年度北海道有林野事業会計決算に関する件	同	同	同
同	51	昭和55年度北海道北広島団地開発事業会計決算に関する件	同	同	同
同	52	昭和55年度北海道電気事業会計決算に関する件	同	同	同
同	53	昭和55年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	同	同	認定議決
同	54	昭和55年度北海道有料道路事業会計決算に関する件	同	同	同
同	55	昭和55年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件	同	同	意見を付し認定議決

# 決 議 案

## 決議案第1号

(水沼徳一郎議員ほか13人提出)  
10月23日 原案可決

### 冷害・災害対策特別委員会設置に関する決議

1. 災害対策特別委員会（昭和56年9月12日設置）を廃止し、新たに、本議会に27人の委員をもって構成する冷害・災害対策特別委員会を設置する。
2. 本委員会は、
  - (1) 昭和56年における異常気象による冷湿害対策の推進を図る。
  - (2) 昭和56年7月における日高地方を中心とした大雨、8月における前線、台風第12号及び台風第15号、9月3日から4日にかけての台風第18号から変わった低気圧と前線による渡島、松山地方を中心とした大雨に関する災害対策の推進を図る。
  - (3) 各常任委員会所管の前各号関係事務について連絡調整を行う。
3. 本委員会は、閉会中も調査を行うことができることとし、議会において調査終了を議決するまで継続存置する。
4. 経過措置
  - (1) 本委員会は、旧災害対策特別委員会の調査経過を継承することとする。
  - (2) 旧災害対策特別委員会の委員は、冷害・災害対策特別委員会の委員に選任されたものとみなす。
  - (3) 旧災害対策特別委員会に付託審査中の請願第127号、第132号、第133号及び陳情第69号は、冷害・災害対策特別委員会に付託替えしたものとみなす。

# 意 見 案

## 意見案第1号

(若狭 靖議員ほか12人提出)  
9月26日 原案可決

### 昭和56年産畑作物価格等に関する要望意見書

北海道の畑作は、稲作、酪農、畜産とともに本道農業の基幹部門であり、我が国における食糧供給の重責を担っております。

しかしながら、本道の畑作経営は、厳しい自然条件のもとにあって、土地基盤整備の遅れ、海外農産物との競合などの課題を抱えており、加えて、本年は、8月の豪雨災害などによって大きな打撃を受けております。

つきましては、昭和56年産畑作物の生産者価格の決定に当たっては、畑作経営の安定が期せられるよう適正な価格に引き上げるとともに、生産流通対策、海外農産物に対する輸入規制等について適切な措置を講ずるよう、強く要望致します。

#### 記

1. てん菜の最低生産者価格について  
てん菜の最低生産者価格については、農家所得と再生産の確保が期せられるよう、奨励金を価格に織り込み適正な価格に引き上げるとともに、原料処理対策、砂糖の価格安定対策、異性化糖対策等についても適切な措置を講ずること。
2. 馬鈴しょでん粉の政府買入価格及び原料基準価格について

馬鈴しょでん粉の政府買入価格及び原料基準価格については、農家所得と再生産の確保が期せられるよう適正な価格に引き上げるとともに、コーンスターチ用とうもろこしに係る関税割当制度を延長し、適切な抱き合わせ販売制度を継続すること。

3. 大豆の基準価格について

大豆の基準価格については、農家所得と再生産の確保が期せられるよう適正な価格に引き上げること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松浦義信

内閣総理大臣、大蔵大臣、  
農林水産大臣 } 各通

意見案第2号

(藤井虎雄議員ほか11人提出)  
10月23日 原案可決

「中小企業の事業活動の機会の確保のための大企業者の事業活動の調整  
に関する法律」における調整権限の知事への委任に関する要望意見書

「中小企業の事業活動の機会の確保のための大企業者の事業活動の調整に関する法律」が一部改正され、本年9月11日から施行されたが、この改正により、一都道府県の地域内における大企業と中小企業との事業分野の調整に関し、中小企業団体が主務大臣に申し出をする場合、都道府県知事を経由することとなり、また、その際知事は主務大臣に対し意見を申し出ることができることとなるなど、分野調整に係る体制の強化が図られたところである。

しかし、この法律では、調査及び調整の権限が、依然としてすべて主務大臣に属していることから、一都道府県内で発生した事案であっても、迅速な対応が困難な現状にある。

地域中小企業の実情を最もよく承知しているのは地方自治体であり、特に、地域に密着して事業活動を行っている中小企業の事業分野を確保し、その振興を図ることは、地方自治体の責務である。

よって、政府においては、一都道府県の地域内に係るこの法律に基づく調査及び調整の権限を知事に委任するよう要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松浦義信

内閣総理大臣、通商産業大臣、  
自治大臣 } 各通

意見案第3号

(石山直行議員ほか12人提出)  
10月23日 原案可決

聴覚言語障害者対策の推進に関する要望意見書

聴覚言語障害者が、社会生活上必要な情報、文化等を等しく享受し、社会の一員として各方面において活躍しうる環境をつくることは、極めて重要な課題である。

しかしながら、文字と手話にたよる以外、日常生活の中で情報を得、文化を享受することができない聴覚言語障害者に対する配慮は不十分といわざるを得ない現状にある。

よって、政府においては、聴覚言語障害者福祉の一層の増進を図るため、速やかに次の事項を実現されるよう強く要望する。

記

1. 国家試験による手話通訳資格認定と有資格者の関係公共機関への配置を制度化すること。
2. テレビ番組に字幕・手話を挿入するとともに、文字多重放送の実用化検討の中で、聴覚言語障害者向けの活用を最優先とすること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松浦 義信

内閣総理大臣、厚生大臣、郵政大臣 各通

#### 意見案第4号

(宇川源吉議員ほか14人提出)  
10月23日 原案可決

#### 北炭夕張炭鉱災害等に関する要望意見書

去る10月16日、北炭夕張炭鉱株式会社新炭鉱においてガス突出事故が発生し、死者、行方不明93人と多数の重軽傷者を出す大惨事に至ったことは、まことに遺憾である。

今次災害による人的、物的の甚大なる損害は、国家的にみても重大な損失であるばかりでなく、炭鉱従業員の生命と、その家族の生活に大きな不安を与え、ひいては、本道の石炭鉱業の振興をはかる上にも、重大なる影響をもたらすものと思料される。

かかる事態が生じたことは、保安の確保を十分に履行し得なかった会社の責務に起因するものと思料され、まことに憂慮にたえないところである。

よって、政府においては、人命尊重と炭鉱保安の重要性に鑑み、本道における石炭企業に対し、鉱山保安法の趣旨に則り、保安施設の完備及び保安教育を徹底せしめる等、炭鉱保安行政上の指導に遺憾なきよう対処し、今後この種災害の絶無を期するとともに、行方不明者の早期救出及び今次災害によって殉職された従業員等の遺家族の救済、補償並びに北炭夕張新炭鉱の速やかなる復旧と再建について、万全の措置を講ぜられるよう強く要望する。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松浦 義信

内閣総理大臣、通商産業大臣、労働 } 各通  
大臣、北海道開発庁長官 }

#### 意見案第5号

(青山正男議員ほか12人提出)  
10月23日 原案可決

#### 地域の公共交通確保に関する要望意見書

近年、地方における公共交通事業は、モータリゼーションの急速な進展等社会的、経済的変動により、輸送需要が低下し、陸上交通事業の経営が困難となっている。これら地域における輸送の確保を図るため、地域の陸上交通事業の維持整備に努めることが緊急な課題である。

よって、政府は、第85回国会の地方陸上公共交通維持整備に関する決議の主旨について、速やかに所要の措置を講ぜられたい。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松浦 義信

内閣総理大臣、大蔵大臣、運輸大臣、  
自治大臣、北海道開発庁長官 } 各通

### 意見案第6号

(青山正男議員ほか12人提出)  
10月23日 原案可決

#### 行政改革に関する要望意見書

国と地方を通ずる行財政改革は国民的課題であるが、この推進に当たっては、国の財政を削減する立場からばかりではなく、地方自治を高めるとともに、時代に即応する行財政を確立する観点から十分な検討を行い、これを進める必要がある。

よって、政府においては、次の事項について十分配慮されるよう要望する。

#### 記

1. 国、地方を通ずる事務事業の見直しを行い、これに伴う財源の再配分を行うとともに、事務の整理、国の出先機関の整理、地方事務官制度の廃止、直轄事業負担金の廃止、国の法令等による地方団体の職員配置の義務づけの廃止等抜本的改革を推進すること。
2. 国庫補助金の整理合理化に当たっては、事務事業の廃止や縮減を伴わない単なる補助率の引き下げや、補助対象範囲の縮小等地方へ負担を転嫁するような措置は行わないこと。  
零細補助金については、地方の一般財源への振り替え措置を講ずるなど国、地方を通ずる行財政の改善合理化を推進する見地からこれを行うこと。
3. 国民健康保険、児童扶養手当など地方公共団体へ負担を転嫁させるような制度改正は、行財政改革の趣旨に反するものであり、これは行わないこと。
4. 特定地域に係る国の負担特例の引き下げに当たっては、対象地方公共団体に対し、事業の執行や財政運営に支障が生じないよう財政金融上の十分な措置を講じること。
5. 地方単独事業については、地方の自主的判断を尊重すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

昭和 年 月 日

北海道議会議長 松浦 義信

内閣総理大臣、大蔵大臣、文部大臣、厚生大臣、農林水産大臣、通商産業大臣、運輸大臣、労働大臣、建設大臣、自治大臣、内閣官房長官、総理府総務長官、行政管理庁長官、経済企画庁長官、環境庁長官、国土庁長官、北海道開発庁長官 } 各通

# 請 願 ・ 陳 情

① 第3回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

## 請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委員会	審 査 の 結 果
128	「中小企業の事業活動の機会の確保のための大企業者の事業活動の調整に関する法律」における調整権限の知事への委任に関する件	中小企業事業分野確保協議会 北海道支部 支部長 宮崎 省二	商工労働	採 択
129	手話通訳の制度化に関する件	社団法人 北海道ろうあ連盟 連盟長 田中 駿一	厚 生	同
130	一般テレビ番組への字幕・手話通訳挿入に関する件	同	同	同
131	文字多重放送(テレビ)のろうあ者向け利用に関する件	同	同	同
132	昭和56年8月集中豪雨災害に関する件	豊幌地区災害建設期成会 会長 阿部 吾市	災害対策 特 別	継続審査
133	8月集中豪雨による治水対策及び災害復旧等に関する件	江別市豊幌自治会 会長 望月 住夫	同	同
134	難病検診と道立江差病院診療充実に関する件	桧山郡江差町橋本町142の7 田畑 和子	厚 生	同
135	学校の主任制度・手当支給の撤廃を求める件	教育・教科書の反動化を阻止 する道民会議 代表 川村 琢	文教林務	同
136	40人学級の早期実現・教科書無償制度の維持・私学助成の拡大等・教育予算大幅増額を求める件	同	同	同

## 陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委員会	審 査 の 結 果
68	恩給・共済年金の改善に関する件	社団法人 北海道道友会 会長 那須 正信	総 務	継続審査
69	昭和56年8月豪雨災害に関する件	丘珠連合町内会 会長 三沢 清治	災害対策 特 別	同
70	郵便貯金問題に関する件	社団法人 札幌銀行協会 会長 五味 彰ほか8人	総 務	同
71	札幌盲学校の名称変更の件	江別市大麻扇町15番地の5 和泉 徹	文教林務	同
72	道立高等看護学院を専修学校又は各種学校として設置・管理すること等に関する件	同	同	同
73	「婦人に対するあらゆる形態の差別撤廃条約」の早期批准に関する件	国際婦人年北海道実行委員会 事務局長 橋本富美子 ほか10人	総 務	同
74	江別市選出の道議会議員の定数増員に関する件	江別市大麻扇町15番地の5 和泉 徹	同	同

② 継続審査中のものであって、第3回定例会において採否の決定があったもの。

## 陳 情

文書表 番 号	件 名	付 託 委員会	審 査 の 結 果
59	砂利採取法違反に係る処分に関する件	商工労働	不 採 択

③ 更に継続審査されるもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会
15	道内における学生生活の条件改善等に関する件	総 務
24	登別市における警察署設置の件	同
72	「モーテル類似旅館」の建築規制等に関する件	同
100	指名競争入札の執行に関する件	同
115	樺太会館建設に関する件	同
116	「核兵器の製造、保持、持込み等の禁止に関する法律（非核三原則法）」の制定促進に関する件	同
125	国民生活に必要な制度と地方財政への補助金・交付金削減・一括改悪をやめ、民主的な行政改革によって福祉・教育・地方財政などの充実をもとめる件	同
126	憲法改変・新憲法制定決議に反対の件	同
2	保育所の大量増設と産休あけ保育の実施及び無認可保育所への助成に関する件	厚 生
5	家庭用灯油の大幅値上げをやめさせ量の確保を求める件	同
8	道立病院の拡充強化を求める件	同
40	道立もなみ学園の廃止案撤回と拡充強化を求める件	同
41	道立身体障害者更生指導所と重度身体障害者更生指導所の縮小統合案撤回と拡充強化を求める件	同
44	道立精神薄弱者施設和光学園の廃止案撤回並びに現在地での拡充を求める件	同
47	薬害スモン恒久対策に関する件	同
51	道立もなみ学園の廃止案の撤回と拡充強化を求める件	同
53	道立精神薄弱者施設和光学園の廃止案の撤回並びに現在地での拡充を求める件	同
54	道立寿都病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充・強化を求める件	同
55	道立松前病院の町移管案の撤回並びに道立病院の拡充・強化を求める件	同
57	道立夕張療養所の廃止案の撤回並びに道立病院の拡充・強化を求める件	同
60	道立中央乳児院の移転・縮小案の撤回並びに道立病院の拡充・強化を求める件	同
61	道立内部障害者更生指導所の美瑛市への移転・縮小・統合に反対し、現在地での存続、拡充を求める件	同
75	国民健康保険に傷病手当・出産手当の実施を求める件	同
94	灯油の価格安定と福祉灯油の実施に関する件	同
96	家庭用灯油の政府指導価格の設定及び福祉灯油の実現に関する件	同
107	特別養護老人ホーム増設の件	同
117	老人医療無料制度の充実を求める決議に関する件	同
118	老人保健法（案）の制定に関する件	同
119	医療法の一部改正に関する件	同
120	医業税制の確立及び新医療法人の立法化に関する件	同
121	療養担当手当の引上げに関する件	同
108	季節労働者の冬期間の仕事の確保と積寒給付金制度の改善に関する件	商 工 労 働
113	季節労働者の雇用確保と生活保障等に関する件	同
69	道営住宅の敷金還付に関する件	建 設

文書表 番 号	件 名	付託委員会
74	小樽市最上町線道路拡幅に関する件	建 設
10	厚別地域の公立普通高校新設に関する件	文 教 林 務
12	豊頃町に道立普通科高等学校新設に関する件	同
13	月寒、精神川保健保全林整備に関する件	同
14	道立普通高校の設置に関する件	同
17	道内における学生生活の条件改善に関する件	同
25	肢体不自由児のための後期中等教育の場を旭川市内に設置する件	同
27	学費値上げをおさえ、父母負担の軽減をはかり、私学教育の充実のために大幅な公費助成を求める件	同
28	美唄養護学校の機能充実の件	同
30	道立全日制普通科高等学校設置の件	同
31	養護学校設置に関する件	同
32	公立高校の増設、小学区制の回復（都市部での総合選抜制）、私学生徒への大幅な公費助成の実現を求める件	同
36	教職員定数改善、40人学級の早期実現を求める件	同
37	美瑛高等学校校舎改築に関する件	同
42	障害児学校寄宿舎教職員（寮母）の勤務条件改善に関する件	同
43	全日制普通課程公立学校新設に関する件	同
76	上士幌高等学校校舎改築に関する件	同
98	宿日直員の待遇改善に関する件	同
102	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、教育条件を改善するための大幅公費助成を求める件	同
103	留萌南部地区（留萌市・増毛町・小平町）高等学校普通科間口増設に関する件	同
105	私学の学費値上げをおさえ、父母負担を軽減し、教育条件の改善と、56年・57年「ヒノエウマ」の生徒減に対して大幅な公費助成を求める件	同
106	ゆきとどいた教育の実現をはかるための教職員加配、教育予算の増額を求める件	同
68	合成洗剤追放に関する件	公 害 対 策 特 別
127	8月豪雨並びに台風15号による大雨に関する件	冷 害 ・ 災 害 対 策 特 別

## 陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会
26	靖国神社公式参拝に反対の件	総 務
64	郵便貯金の現行制度存続に関する件	同
65	「郵貯懇を見守ること」に関する件	同
66	郵便貯金の現行制度存続に関する件	同
5	有害な合成洗剤の使用取り止めと環境汚染対策に関する件	厚 生
19	道立和光学園の廃止反対の件	同
28	身体障害者使用自動車のガソリン税の道費補助等に関する件	同
54	老人・母子・年金生活世帯等への「福祉灯油」の実施等に関する件	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
29	道立中央農業試験場江部乙りんご試験地存続の件	農 務
3	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	建 設
8	道道小樽港線改良工事の早期完成に関する件	同
9	道道小樽定山溪線の通年開通に関する件	同
13	同	同
20	道道臨港線計画の抜本的再検討を求める件	同
1	小樽運河とその周辺の伝統的・石造建築物群の保存等に関する件	文教林務
2	小樽運河とその周辺の歴史的建造物の保存等に関する件	同
11	札幌市北区篠路町付近に公立高校の新設を求める件	同

# 委員会の動き

## 議会運営委員会

○9月25日（金） 午後3時10分、議会運営委員会室において開議、午後3時18分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 総務部長から、第3回定例会提出予定案件並びに災害関係補正予算の先議について説明の後、先議の件は後日協議することを了承。
- ② 代表質問の通告は、9月30日正午までとすることを了承。
- ③ 一般質問について、順位は従来の例により取り進めること、通告は10月3日正午までとすることを了承。
- ④ 予算特別委員会について、(1)構成は31人（自民17人、社会8人、道政3人、公明2人、共産1人）、(2)分科会は2分科会各15人、各派別委員数は各派間の調整によること、(3)正副委員長の配分は、本委員会及び第1分科会の委員長は自民、副委員長は社会、第2分科会の委員長は社会、副委員長は自民とすることを了承。
- ⑤ 陳情第69号について、明日の本会議において災害対策特別委員会に付託することに異議なく決定。
- ⑥ 農務委員会において発議予定の意見案について、提出された場合、明日の本会議において議決する扱いとすることに異議なく決定。
- ⑦ 議案調査のため、9月28日から10月1日まで休会し、10月2日再開することに異議なく決定。
- ⑧ 9月26日の本会議議事順序について、明日協議することを了承。

○9月26日（土） 午前9時35分、議会運営委員会室において開議、午前9時38分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 意見案第1号について、本日の本会議にお

いて議決することを了承。

- ② 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに異議なく決定。

### ▽ 議事順序

（開会）

日程第1 会議録署名議員の指定  
諸般の報告

日程第2 会期決定の件（9月26日から10月19日まで24日間）

日程第3 議案第1号ないし第27号  
提出議案に関する知事の説明

日程第4 前会より継続審査の報告第2号

日程第5 前会より継続審査の報告第49号ないし第55号

（日程第4並びに日程第5を一括議題）

決算特別及び企業会計決算特別各委員長報告

（討論）

1. 本間喜代人議員の報告第2号及び報告第52号ないし第55号に関する反対討論

（討論終結宣告）

（採決）

1. 日程第4の報告第2号を問題とし、委員長報告（意見を付し認定議決）のとおり決することについて起立により採決（共産反対）
2. 日程第5のうち報告第52号ないし第55号を問題とし、委員長報告（報告第52号及び第55号は意見を付し認定議決、報告第53号及び第54号は認定議決）のとおり決することについて起立により採決（共産反対）
3. 日程第5のうち報告第49号ないし第51号を問題とし、委員長報告（すべて意見を付し認定議決）のとおり決することについて簡易採決

日程第6 意見案第1号

意見案第1号 昭和56年産畑作物価格等に関する要望意見書

（説明及び委員会付託省略）

（採決）

1. 本件を原案のとおり決することについて簡易採決

日程第7 陳情第69号

陳情第69号 昭和56年8月豪雨  
災害に関する件

1. 本件を災害対策特別委員会に付託することについて簡易採決  
議案調査のための休会日の決定  
(9月28日から10月1日まで)

○10月2日(金) 午前9時43分、議会運営委員会室において開議、午後4時39分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 総務部長から、追加提出議案に関する説明並びに先議方要請があり、本日の本会議において提案説明を行うことに決定。なお、追加提出議案は先議する扱いとし、その方法及び日程等は後日協議することを了承。
- ② 議案第14号の印刷内容の訂正について了承。
- ③ 代表質問の通告(4人)について報告、本日2人行うことに決定。
- ④ 請願第132号及び第133号について、本日の本会議において災害対策特別委員会に付託することに決定。
- ⑤ 予算特別委員会について、委員名簿の提出は10月7日正午まで、設置動議の提出は道政クラブとすることを了承。
- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時48分休憩、午後4時37分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 請願第132号及び第133号

請願第132号 昭和56年8月集中豪雨災害に関する件

請願第133号 8月集中豪雨による治水対策及び災害復旧等に関する件

1. 本件をいずれも災害対策特別委員会に付託することについて簡易採決

日程第2 議案第28号

追加提出議案に関する知事の説明

日程第2の議案第28号にあわせ

日程第3 議案第1号ないし第27号

質疑並びに一般質問(代表質問2人)

- ⑦ 総務部長から榎林巖議員(社会)の再質問に対する答弁準備の状況について、事実確認に時間を要する旨発言の後、水岡薫委員(自民)から、所要時間の目途について質疑があり、総務部長から応答があって、本日の本会議はこの程度にとどめ延会することに決定。

○10月3日(土) 午前9時39分、議会運営委員会室において開議、午後2時55分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 総務部長から、昨日の本会議における榎林巖議員(社会)の再質問に対する答弁準備の状況について、答弁調整のため、ある程度時間を要する旨発言があって、午前9時39分休憩、午後2時54分再開。総務部長から、その後の状況について、調査検討にお時間を要する旨発言。
- ② 本日の本会議は、10月5日(月)の休会を決定の後、日程を延期し延会することに決定。

○10月6日(火) 午前9時42分、議会運営委員会室において開議、午後4時43分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 総務部長から、10月2日の本会議における榎林巖議員(社会)の再質問に対する答弁準備の状況について、なお時間を要する旨発言があって、午前9時43分休憩、午後零時9分再開。総務部長から、答弁準備できた旨発言があって、本日の本会議は知事の答弁から入ることを了承。
- ② 本日の代表質問(4人)について、何名行うかは進行状況により協議することを了承。
- ③ 一般質問の通告(15人)について報告。順位は従来例により取り進めることとし、個人別順位を議事課長説明のとおりとすることに異議なく決定。なお、進め方について、本日代表質問終了の場合、7日5人、8日5人、9日5人を予定とし、進行状況により改めて協議することを了承。

- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午後零時13分休憩、午後4時37分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第28号

質疑並びに一般質問(代表質問4人)

- ⑤ 休憩前の本会議における和田勝之議員(自民)の議事進行発言の取り扱いについて、和田勝之委員(自民)から、議事録精査になお時間を要する旨発言の後、各委員から意見交換があって、本日の本会議は、この程度にとどめ延会することに異議なく決定。

○10月7日(水) 午前10時4分、議会運営委員会室において開議、午後4時39分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 昨日の本会議における和田勝之議員(自民)の議事進行発言の取り扱いについて、水岡薫委員(自民)から、櫻林巖議員(社会)の発言のうち南の里団地に係わる部分について取り消し又は訂正を求める旨発言があり、各委員から意見交換の後、今後の議会運営の方向について各委員から発言、委員長から各派において更に検討願いたい旨発言があり、午前10時19分休憩、午後4時35分再開。
- ② 委員長から、自民党から要求のあった発言の取り消し又は訂正の取り扱いについて、議長より全会派の申し入れを受けて正副議長のもとで打開の方途を講ずる旨の説明があったことを報告し、その推移により対処することを了承。
- ③ 本日の本会議は、日程を延期し延会することをはかり、異議なく決定。

○10月8日(木) 午前9時45分、議会運営委員会室において開議、午後4時40分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 委員長から、自民党から要求のあった発言の取り消し又は訂正の取り扱いについて、正副議長のもとで検討中である旨報告があっ

て、午前9時45分休憩、午後4時37分再開。委員長から、なお時間を要する状況である旨報告。

- ② 本日の本会議は、日程を延期し延会とすることをはかり、異議なく決定。

○10月9日(金) 午前10時、議会運営委員会室において開議、午後1時43分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 委員長から、自民党から要求のあった発言の取り消し又は訂正の取り扱いについて、正副議長のもとで調整中である旨報告があって、午前10時1分休憩、午後1時37分再開。
- ② 和田勝之委員(自民)から、10月6日の本会議における和田議員の議事進行発言並びに10月7日の委員会における自民党から要求した発言の取り消し又は訂正の件について、いずれも取り下げる旨申し出があり、異議なく了承。なお、議事進行発言の取り下げについて、本会議において議長から報告する扱いとすることに異議なく決定。
- ③ 本日の本会議について、代表質問2番石山直行議員(自民)まで行うことに決定。
- ④ 一般質問の順位について、委員長から、6日の委員会決定により別紙一覧表のとおり整理したので確認願う旨発言。
- ⑤ 一般質問の進め方について、日程的な関係から10月12日の月曜日は休会せず本会議を開会し、12日から14日までの3日間、一般質問を行うこととし、12日代表質問2人行った後3人、13日及び14日各6人の日程で取り進めることに決定。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第28号

質疑並びに一般質問(代表質問2人)

○10月12日(月) 午前9時43分、議会運営委員会室において開議、午前9時48分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 一般質問の通告内容の変更及び取り下げについて了承。
- ② 本日の本会議について、代表質問2人、一般質問3人の5人行うことに決定。
- ③ 中央折衝のため、農務委員5人の上京について了承。
- ④ 総務部長から、永澤副知事の明13日の本会議欠席について説明、異議なく了承。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第28号

質疑並びに一般質問（代表質問2人、一般質問3人）

○10月13日（火） 午前9時37分、議会運営委員会室において開議、午後5時59分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 一般質問の通告内容の変更について了承。
- ② 議案第15号の印刷内容の訂正について了承。
- ③ 本日の本会議について、一般質問5人行うことに決定。
- ④ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時40分休憩、午後5時58分再開。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第28号

質疑並びに一般質問（5人）

- ⑤ 休憩前の本会議における小田原要四蔵議員（社会）の議事進行発言の取り扱いについて、委員長から議事録反訳の見通し、総務部長から対応の見通しについて説明があり、本日の本会議は、この程度にとどめ延会することに決定。

○10月14日（水） 午後零時15分、議会運営委員会室において開議、午後零時35分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 昨日の本会議における小田原要四蔵議員（社会）の議事進行発言の取り扱いについて、総務部長から、知事の補足答弁を行いたい旨発言があり、本日の本会議は、渋谷澄夫議員（社会）の再質問に対する知事の補足答弁から入ることに決定。

- ② 一般質問の進め方について、進行状況の関係から明15日まで行うこととし、本日5人、15日5人の予定で取り進めることに決定。

- ③ 寺田副知事から、日米知事会議出席のための知事の上京並びに上京中の本会議の対応について発言があり、委員長及び議長から、本件に関する各派会長会議の開催及び協議経過等について説明の後、

小田原要四蔵委員（社会）から、一般質問における知事の本会議欠席及び副知事対応の事例、上京直前における議会提示の経過等について

質疑があり、議事課長及び寺田副知事から応答。小田原委員から、本事例についての今後の差し控え方、了承した場合の質問留保の取り扱い等について発言の後、各委員から意見の交換があつて、本件について副知事発言のとおり了承すること及び副知事対応で不十分な場合は知事帰道後において質問できる扱いとすることに異議なく決定。

- ④ 一般質問の通告内容の変更について了承。
- ⑤ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

（諸般の報告）

日程第1 議案第1号ないし第28号

質疑並びに一般質問（5人）

○10月15日（木） 午前9時34分、議会運営委員会室において開議、午後3時24分散会

委員長 水沼徳一郎（自民）

- ① 一般質問の通告内容の変更について了承。
- ② 本日一般質問（6人）終了の場合、予算特別委員会の設置、議案の各委員会付託、議案第28号の先議方法及び先議の日程等について、進行状況により本会議休憩中に改めて協議することを了承。

- ③ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。午前9時36分休憩、午後3時21分再開。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第28号

質疑並びに一般質問(6人)

- ④ 一般質問の通告の取り下げ及び変更について了承。
- ⑤ 一般質問の進め方について、明日も行うこととし、本日は12番熊谷克治議員(社会)までを目途に取り進めることを了承。
- ⑥ 予算特別委員会の設置、議案の付託、先議方法等について、明日協議することを了承。

○10月16日(金) 午前9時40分、議会運営委員会室において開議、午後零時10分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 昨日の本会議における小田原要四蔵議員(社会)の議事進行発言の取り扱いについて、総務部長から、議事録精査中であり、準備になお時間を要する旨発言があって、午前9時42分休憩、午後零時5分再開。総務部長から、本件について知事の補足答弁を行いたい旨並びに答弁準備になお時間を要する旨発言があり、本日の本会議は、熊谷克治議員(社会)の再質問に対する知事の補足答弁から入ることとし、一般質問は3人行うことに決定。
- ② 議案第28号の先議について、災害対策特別委員会に付託し、明17日審査終了後、本会議を開会し議決する扱いとすることに決定。
- ③ 予算特別委員会各分科委員の配分について、調整の結果、配付のとおり決定した旨報告。
- ④ 予算特別委員会について、委員の選任は配付の提出名簿のとおり選任すること、設置動議の提出は木下一見議員(道政)とすることを了承。
- ⑤ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることに決定。
- ⑥ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第28号

質疑並びに一般質問(3人)

(質疑終結宣告)

○予算特別委員会の設置

○予算特別委員の選任

○議案の特別委員会付託

議案第28号を災害対策特別委員会に付託することについて簡易採決

○残余の議案の委員会付託

○10月17日(土) 午後1時40分、議会運営委員会室において開議、午後4時32分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 委員長から、理事会において理事者から、昨日発生した北炭夕張炭鉱災害に対する通産大臣の現地入りに伴い、知事が同行し、本日の本会議を副知事が対応したい旨発言があり、これを了承した旨報告。
- ② 北炭夕張新炭鉱の災害について、本日の本会議において議長から災害発生の報告後、甲意を表し黙とうを行うこと並びに副知事から災害報告を行うことを了承。
- ③ 会期について、10月23日まで4日間延長することに異議なく決定。
- ④ 各委員会付託議案審査のため、19日から22日まで休会し、23日再開することに決定。
- ⑤ 委員長から、議案第28号の災害対策特別委員会における審議状況について報告。午後1時43分休憩、午後4時27分再開し、委員長から、本件について議した旨報告。
- ⑥ 川崎守オプザーバー(共産)から、北炭夕張新炭鉱災害に関する緊急質問の必要性と実施時期について発言があり、委員長から応答の後、川崎オプザーバー及び渋谷澄夫委員(社会)から発言があって、後日理事会において協議することを了承。
- ⑦ 本日の本会議の議事は、次の順序により取り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

○議長の報告

○北炭夕張新炭鉱災害犠牲者に対する黙  
とう

○北炭夕張新炭鉱の災害に関する副知事  
の報告

日程第1 議案第28号

災害対策特別委員長の報告

(採決)

1. 本件を委員長報告(可決)のとおり  
決することについて簡易採決

日程第2 会期延長の件

各委員会付託議案審査のため休会の決定  
(10月19日から10月22日まで)

○10月23日(金) 午後4時19分、議会運営委員  
会室において開議、午後4時  
27分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

① 委員長から、各委員会付託議案の審議状況  
について、すべて議了した旨報告。

② 吉野之雄議員(社会)ほか34人提出の議案  
第1号に対する修正動議について、本日の本  
会議において議決することに異議なく決定。

③ 総務部長から、追加提出予定案件について  
説明の後、本日の本会議において議決するこ  
とに異議なく決定。

④ 総務部長から、本年の冷害対策に関する道  
対策本部の設置変え等について報告。

⑤ 冷害対策に関し、災害対策特別委員会を廃  
止し、別紙配付の決議案により新たに「冷害  
・災害対策特別委員会」を設置すること、決  
議案の提出者は議会運営委員及びオブザーバ  
ーとし、本日の本会議において議決する扱い  
とすることに異議なく決定。

⑥ 意見案第2号ないし第6号について、本日  
の本会議において議決することに決定。

⑦ 本日の本会議の議事は、次の順序により取  
り進めることに決定。

▽ 議事順序

(諸般の報告)

日程第1 議案第1号ないし第27号

予算特別、総務、建設、文教林  
務、水産各委員長の報告

吉野之雄議員の議案第1号の修  
正案に関する説明

(討論)

1. 川崎守議員の議案第1号の修正案に  
かかわる部分を除く残余の部分並びに  
議案第5号、第8号及び第12号ないし  
第17号に関する反対討論

(討論終結宣告)

(採決)

1. 吉野之雄議員ほか34人提出の議案第  
1号に関する修正案を問題とし、起立  
により採決 (自民、道政反対)
2. 議案第1号の予算特別委員長の報告  
中、修正案にかかわる部分を問題とし、  
委員長報告(可決)のとおり決するこ  
とについて起立により採決

(社会、公明、共産反対)

3. 議案第1号の予算特別委員長報告  
中、すでに決定した部分を除く残余の  
部分を問題とし、委員長報告(可決)  
のとおり決することについて起立によ  
り採決 (共産反対)

4. 議案第5号、第8号及び第12号ない  
し第17号を問題とし、委員長報告(す  
べて可決)のとおり決することについ  
て起立により採決

(社会、公明、共産反対)

5. 議案第2号ないし第4号、第6号、  
第7号、第9号ないし第11号及び第18  
号ないし第27号を問題とし、委員長報  
告のとおり決することについて簡易採  
決

日程第2 議案第29号ないし第32号

追加提出議案に関する知事の説  
明

(委員会付託省略)

(討論)

1. 本間喜代人議員の議案第32号に関す  
る反対討論

(討論終結宣告)

(採決)

1. 議案第29号、第30号及び第32号を問  
題とし、議案第29号及び第30号を原案  
のとおり同意、議案第32号を原案のと  
おり決することについて起立により採  
決 (共産反対)

2. 議案第31号を問題とし、本件を原案のとおり同意することについて簡易採決

日程第3 決議案第1号  
決議案第1号 冷害・災害対策特別委員会設置に関する決議  
(説明及び委員会付託省略)  
(採決)

1. 本件を原案のとおり決することについて簡易採決

日程第4 意見案第4号  
意見案第4号 北炭夕張炭鉱災害に関する要望意見書  
宇川源吉議員の意見案第4号に関する説明  
(委員会付託省略)  
(採決)

1. 本件を原案のとおり決することについて簡易採決

日程第5 意見案第2号、第3号、第5号及び第6号  
意見案第2号 「中小企業の事業活動の機会の確保のための大企業者の事業活動の調整に関する法律」における調整権限の知事への委任に関する要望意見書  
意見案第3号 聴覚言語障害者対策の推進に関する要望意見書  
意見案第5号 地域の公共交通確保に関する要望意見書  
意見案第6号 行政改革に関する要望意見書

(説明及び委員会付託省略)  
(採決)

1. 本件をいずれも原案のとおり決することについて簡易採決

日程第6 請願・陳情審査の件  
(採択4件、不採択1件)  
(委員長報告省略)  
(採決)

1. 本件をいずれも請願・陳情審査報告書のとおり決することについて簡易採

決

○閉会中請願、陳情継続審査及び事務調査の件  
各常任委員長並びに関係特別委員長から申し出のとおり閉会中継続審査または調査に付することについて簡易採決  
○議長の閉会あいさつ

○11月4日(水) 午前11時13分、議会運営委員会室において開議、午後零時散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

① 総務部長から、景気対策関係補正予算並びに専決処分について発言の後、

岩崎守男委員(社会)から、財源の内訳、事業の内容、議会の権能と行政執行についての基本的考え方、臨時会招集の意思の有無、景気対策としての評価と議会に対する手続きの適否

小田原要四蔵委員(社会)から、道の主体性の有無、景気浮揚の効果、議会対応の姿勢と昭和52年の同種案件の取り扱いとの関連、3定において対応できなかった理由

工藤啓二委員(公明)から、今後における慎重な対処方

本間喜代人オブザーバー(共産)から、議会に対する基本的認識、季節労働者の吸収効果、今後の対応等について

質疑及び意見があり、総務部長から答弁の後、岩崎委員から本件に対する議会としての態度表明について発言があり、議長及び副議長から応答があって、当該補正予算に係る専決処分について了承。

② 特別委員の辞任許可及び補欠選任について、委員長から星野健三議員(社会)、関根建二議員(社会)及び柳谷正一議員(公明)からの冷害・災害対策特別委員辞任の願い出に対し、議長は10月24日付をもって辞任を許可し、同日付をもって渋谷澄夫議員(社会)、吉野之雄議員(社会)及び工藤啓二議員(公明)を補欠選任した旨報告。

## 常任委員会

### 総務委員会

○9月25日(金) 午前10時50分、第5委員会室  
において開議、午後1時44分  
散会  
委員長 青山 正男(自民)

#### 一般議事

- ① 総務部長から、台風第15号と前線及び台風第18号から変わった低気圧による災害状況について報告。
- ② 総務部長、開発調整部長、生活環境部長及び警察本部総務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 保格博夫委員(社会)から、ストレッチ・フィルム可塑済DOAに関し、愛知県における研究の内容、米国におけるDOAの発がん性問題に対する厚生省の現状認識と対応策についての把握状況、対応策の法的根拠、道民生活安定条例に基づく業者への対応、国への要請等早急な対処について  
質疑及び要望があり、生活環境部長から答弁。
- ④ 保格博夫委員(社会)から、釧路商工会議所の活動と政治資金規正法上の問題に関し、選挙活動の合法性、鰯漁後援会の54年度収支決算書についての見解、選挙管理委員会の政治資金規正法の運用に対する関与、臨時的寄附・借入金の政治資金規正法上の取扱いと収支報告がない場合の罰則規定及び義務違反の存否、道、市から補助を受けている団体の寄附の禁止規定、釧路商工会議所への道の補助内容、道警の政治資金規正法適用に対する見解について  
質疑及び意見があり、選挙管理委員会事務局長、総務部長及び警察本部刑事部長から答弁。

○10月2日(金) 午前9時35分、第5委員会室  
において開議、午前9時38分  
散会  
委員長 青山 正男(自民)

#### 一般議事

- ① 総務部長から、第3回定例会追加提出予定案件について説明。
- ② 生活環境部長から、日高山脈襟裳国定公園の指定について報告。

○10月23日(金) 午後2時32分、第5委員会室  
において開議、午後2時38分  
散会  
委員長 青山 正男(自民)

#### 付託案件の審査

- ① 議案第5号(札幌医科大学条例の一部を改正する条例案)及び議案第12号(空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件)を順次議題とし、総務部長及び開発調整部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数(社会、公明反対)をもって原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第6号(北海道税条例の一部を改正する条例案)を議題とし、総務部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については委員長に一任することとした。

#### 一般議事

- ① 委員長から、付託の請願・陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、行政改革に関する要望意見案及び地域の公共交通確保に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。

○10月24日(土) 午前11時7分、第5委員会室  
において開議、午前11時44分  
散会  
委員長 青山 正男(自民)

#### 一般議事

- ① 委員長から、離島空港及び公園の整備状況等に関する道外調査の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

- ② 開発調整部長から、国家石油備蓄に係る災害及び公害防止協定の締結について報告。
- ③ 人事委員会事務局長から、昭和56年職員の給与に関する報告及び給与改定に関する勧告について報告の後、  
保格博夫委員（社会）から、特別給に対する勧告がない理由、寒冷地手当について追加勧告する考え、完全実施に対する見解について  
質疑があり、人事委員会事務局長から答弁。
- ④ 保格博夫委員（社会）から、警察による全道庁労組大会出席者の年休調査に関し、道警の指導の有無と調査行為に対する見解、労働運動への不当介入の懸念と法の見解、具体的事実関係の把握方について  
（関連して、岩崎守男委員（社会）から、従来からの調査実施の有無、事前調査による労働運動に対する影響について）  
質疑及び意見があり、警察本部長から答弁。

○11月4日（水） 午後零時25分、第5委員会室において開議、午後1時30分散会  
委員長 青山 正男（自民）

#### 請願・陳情の審査

##### 陳情

第68号 恩給・共済年金の改善に関する件（採択）

#### 一般議事

- ① 総務部長から、景気対策関係補正予算を専決処分とする旨の説明の後、委員長から、本件については議会運営委員会及び各派会長会議において了承されたとの報告があって、  
保格博夫委員（社会）から、3定において対処できなかった理由、専決処分の予算の個所づけの基本的考え方、単独事業のみを緊急事業として実施することの適否及び公共予算の執行状況との関係、市町村単独事業の実施手順と景気対策との係わりについて  
質疑及び意見があり、総務部長から答弁があって、本件専決処分について了承。
- ② 警察本部総務部長から、さきの本委員会において保格博夫委員（社会）から質問のあった全道庁労組大会出席者に関する年休調査の

事実関係について報告の後、

保格博夫委員（社会）から、本調査が労働組合運動への介入であることについての見解と今後におけるこの種調査のとり止めについて

質疑及び要望があり、警察本部総務部長から答弁。

- ③ 保格博夫委員（社会）から、スピード違反取締りについての基本的考え方、取締方法と直近の違反件数、オービススリーの使用状況とこの方法に対する苦情の有無について  
質疑及び意見があり、警察本部交通部長から答弁。

## 厚生委員会

○9月25日（金） 午前10時47分、第9委員会室において開議、午前11時8分散会  
委員長 石山 直行（自民）

#### 一般議事

- ① 民生部長及び衛生部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 民生部長から、精神薄弱者更生援護施設における職員の勤務体制等に係る調査の結果について報告。
- ③ 民生部長から、昭和56年サハリン州地域墓参の実施について報告。
- ④ 衛生部長から、道立病院の再編整備についての経過と現状について報告。
- ⑤ 衛生部長から、トキソプラズマ症について報告。

○10月23日（金） 午後2時35分、第9委員会室において開議、午後2時38分散会  
委員長 石山 直行（自民）

#### 請願・陳情の審査

##### 請願

- 第129号 手話通訳の制度化に関する件（採択）
- 第130号 一般テレビ番組への字幕・手話通訳挿入に関する件（採択）
- 第131号 文字多重放送（テレビ）のろう

## あ者向け利用に関する件

(採択)

残余の請願、陳情については、今後付託されるのも含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

### 一 般 議 事

- ① 委員長から、聴覚言語障害者対策の推進に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月24日(土) 午前10時29分、第9委員会室  
において開議、午前11時5分  
散会  
委員長 石山 直行(自民)

### 一 般 議 事

- ① 委員長から、道外調査の実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 民生部長から、サハリン州地域墓参団の墓参実施概要について報告。
- ③ 民生部長から、ベビーホテルへの立入り調査実施概要及び保育所の保育時間の延長について報告の後、  
川崎守委員(共産)から、夜間保育にかかる父兄の意見聴取の有無、時間延長保育に要する費用と措置費加算額の過不足、臨調答申と保育行政、保育所の定員割れと入所待機児童の地域的アンバランスの調整等について  
質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。
- ④ 川崎守委員(共産)から、付添看護料に関し、保険給付額と患者の支払実勢額、生活保護を受けている者に対する特別看護費と函館市における給付状況等について  
質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。

○11月4日(水) 午後零時10分、第9委員会室  
において開議、午後零時37分  
散会  
委員長 石山 直行(自民)

### 一 般 議 事

- ① 委員長から、北霊碑慰霊祭及びウタリ慰霊祭の参列についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については委員長に一任することとした。
- ② 委員長から、医療ソーシャルワーカーの制度化促進、市町村社会福祉協議会の法制化及び聴覚言語障害者対策の推進に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 舟山広治委員(社会)から、(1)増毛町立診療所の運営に関し、診療状況と医師の確保状況、医療水準の低下と地域住民の不安及びこれに対する対策、産婦人科を含めた医師の配置、(2)道立夕張療養所の廃止問題に関し、北炭夕張新鉱災害との関係 地域における総合医療体制の検討について  
質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。

### 商 工 労 働 委 員 会

○9月25日(金) 午前10時51分、第8委員会室  
において開議、午前11時13分  
散会  
委員長 藤井 虎雄(社会)

### 一 般 議 事

- ① 商工観光部長、労働部長及び企業局長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 商工観光部長から、昭和55年度北海道の観光客入込みの概要について説明の後、  
湯田倉治委員(道政)から、観光圏の分類の考え方について  
質疑があり、商工観光部長から答弁。

○10月23日(金) 午後2時32分、第8委員会室  
において開議、午後2時40分  
散会  
委員長 藤井 虎雄(社会)

### 請願・陳情の審査

請 願

第128号 「中小企業の事業活動の機会の確保のための大企業者の事業活

動の調整に関する法律」における調整権限の知事への委任に関する件 (採択)

陳情

第59号 砂利採取法違反に係る処分に関する件 (不採択)

残余の請願、陳情については、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

### 一般議事

- ① 委員長から、「中小企業の事業活動の機会の確保のための大企業者の事業活動の調整に関する法律」における調整権限の知事への委任に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、要望意見案に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月24日(土) 午前10時27分、第8委員会室において開議、午前11時3分散会  
委員長 藤井 虎雄(社会)

### 一般議事

- ① 委員長から、道外における商工労働事情調査の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ② 商工観光部長から、いすゞ自動車の苫小牧工場建設計画について報告の後、  
湯田倉治委員(道政)から、車両生産についての開発計画との相違と修正の考え、操業に対する配慮と苫東開発の計画的推進について  
質疑及び要望があり、商工観光部長から答弁。
- ③ 輪島幸雄委員(社会)から、(1)アルミ精錬業界の不況に関し、日軽金苫小牧工場の将来見通し、道から通産省へ要望した業界助成策

の内容、(2)北海道曹達に対する旭硝子の経営支援に関し、道策会社の是非等について  
(関連して、湯田倉治委員(道政)から、日軽金苫小牧工場の自家発電の石炭への切り替えに伴う所要経費と電力コスト、北海道曹達の道策会社としての健全な発展対策について)

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

○11月2日(月) 午前11時37分、第8委員会室において開議、午後零時55分散会  
委員長 藤井 虎雄(社会)

### 一般議事

- ① 商工観光部長から、苫東コールセンターについて報告。
- ② 労働部長から、積寒給付金制度の運用について説明。
- ③ 輪島幸雄委員(社会)から、原発の安全協定に関し、締結の目途、異常時における連絡体制と運転停止との関連性、運転停止措置の判断者、岩内郡漁協要望の安全確保に対する受けとめ方、安全確保のための道条例制定の考え

小田原要四蔵委員(社会)から、異常時の対応の在り方、運転停止、原因究明に対する基本姿勢、放射能測定の対象と範囲、結果判明までの所要時間、放射能問題に対する道の確な対応

湯田倉治委員(道政)から、異常時に際し、国のチェック後の運転再開について  
質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

- ④ 小田原要四蔵委員(社会)から、(1)原発に係る環境影響評価の手續に関し、評価書受理から縦覧までの取り扱い経過と訂正方指示の有無、道条例による説明会と事業者が行う説明会の相違、説明会の実施状況、縦覧期間の地域住民への周知状況、(2)原発建設に係る国の第1次公開ヒヤリングに関し、道の係わりと発言機会の有無について  
質疑があり、商工観光部長から答弁。

散会

委員長 若狭 靖（自民）

## 農務委員会

○9月25日（金） 午前11時11分、第7委員会室  
において開議、午前11時42分  
散会

委員長 若狭 靖（自民）

### 一般議事

- ① 委員長から、昭和56年産畑作物価格等に関する要望意見案について、配付の案文により発議することをはかり、異議なく決定。
- ② 委員長から、要望意見案に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ③ 農務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ④ 岡本栄太郎委員（社会）から、冷湿害問題に関し、冷湿害の現状と対策及び調査の考え、特定災害とその他災害との区分方法及び被害農家の認定基準について  
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

○10月23日（金） 午後2時34分、第7委員会室  
において開議、午後2時39分  
散会

委員長 若狭 靖（自民）

### 一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和56年産畑作物価格等に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、道内農業事情調査の実施についてははかり、異議なく決定の後、実施時期等について別紙配付のとおり2班編成で実施する旨発言。
- ③ 委員長から、付託の陳情について今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月24日（土） 午前10時59分、第7委員会室  
において開議、午前11時50分

### 一般議事

- ① 農務部長から、昭和56年産畑作物価格等について説明の後、

岡本栄太郎委員（社会）から、てん菜の価格等に関し、パリテイ指数以下の価格設定及び奨励金の据え置きによる農家経営への影響、冷湿害及び生産性向上について価格に反映されないことに対する見解と今後の対応、砂糖政策に対する取り組み方針と異性化糖対策の早期取り組みについて

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

- ② 岡本栄太郎委員（社会）から、(1)着色米の発生原因とその究明、出荷対応策（関連して、渋谷澄夫委員（社会）から、着色米の早期出荷について）、(2)軽種馬対策に関し、本年の道営競馬の実績と軽種馬産地に及ぼす影響、トレーニングセンターの進捗状況、場外馬券の発売に対する考え方について  
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

○11月4日（水） 午後1時10分、第7委員会室  
において開議、午後3時58分  
散会

委員長 若狭 靖（自民）

### 一般議事

- ① 農務部長から、昭和56年低温等による農作物被害状況について報告の後、

岡本栄太郎委員（社会）から、今次災害に関する制度の見直しと冷湿害に係る激甚災の指定要請の経過

吉野之雄委員（社会）から、冷湿害調査の指示状況、実績確定後の数字訂正の考え、品種毎の千粒重把握状況について  
質疑があり、農務部長から答弁。

- ② 神本三也委員（社会）から、酪農再建に関し、酪農経営負債整理対策事業に該当しない農家の把握とその対応策、新規投資に対する考え方と経営改善についての指導の十分性、資金の借入れに伴う人的保証についての見通し及び保証協会の係わり合い、肉牛経営農家

の負債対策の必要性と今後のスケジュール

岡本栄太郎委員(社会)から、現行の負債対策による酪農負債整理の見通し、酪農経営改善計画を立案できない農家の救済策について質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

- ③ 岡本栄太郎委員(社会)から、転作面積の緩和措置に関し、冷災害に伴う国への要請の経過と措置の見通し、56年度目標面積超過分の削減について市町村への指導について質疑及び意見があり、農務部長から答弁。

## 建設委員会

- 9月25日(金) 午前10時57分、第4委員会室において開議、午前11時32分散会  
委員長 笹浪 幸男(自民)

### 一般議事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 住宅都市部長から、小樽臨港線の公有水面埋立免許の出願に係る経過並びに措置についての報告の後、  
星野健三委員(社会)から、都市計画地方審議会における報告内容及びそれに対する審議会委員の見解、実測平面図に誤りが生じた原因、図面作成と実測との関連、図面のチェック体制の強化及び小樽市等関係機関へ慎重な対処方について  
質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁。

- 10月23日(金) 午後2時30分、第4委員会室において開議、午後2時40分散会  
委員長 笹浪 幸男(自民)

### 付託案件の審査

- ① 議案第7号(北海道公営住宅条例の一部を改正する条例案)を議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第13号(街路事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件)、議案第14号(流域下

水道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件)を一括議題とし、住宅都市部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数(社会、公明反対)をもって原案のとおり可決することに決定。

- ③ 議案第18号(北海道道の路線の認定及び廃止に関する件)を議題とし、土木部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。
- ④ 議案第19号ないし第20号(工事請負契約の締結に関する件)を一括議題とし、住宅都市部長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

### 一般議事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

- 10月24日(土) 午前10時32分、第4委員会室において開議、午前10時34分散会  
委員長 笹浪 幸男(自民)

### 一般議事

- 委員長から、道外における建設事情調査の実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- 11月4日(水) 午後零時22分、第4委員会室において開議、午後2時33分散会  
委員長 笹浪 幸男(自民)

### 一般議事

- ① 土木部長から、景気対策関係補正予算及びこれを専決処分にするについて説明の後、  
萩上元春委員(社会)から、道内経済の現況に対する認識、景気対策事業の波及効果、特定地域への事業配分の考え方、中小建設業者の受注確保に対する配慮方等について

(関連して、星野健三委員(社会)から、景気対策に効果のある事業実施について) 質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁。

- ② 土木部長から、昭和56年度除雪事業計画の概要について説明。

### 農地開発委員会

○9月25日(金) 午後1時15分、第3委員会室において開議、午後1時27分散会  
委員長 伊藤 豪(道政)

#### 一般議事

- ① 農地開発部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 農地開発部長から、昭和57年度北海道開発予算に関する農業基盤整備関係予算要求の概要について説明。

○10月23日(金) 午後2時24分、第3委員会室において開議、午後2時27分散会  
委員長 伊藤 豪(道政)

#### 一般議事

- 委員長から、所管事務について、閉会中継統調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月24日(土) 午前10時27分、第3委員会室において開議、午前10時36分散会  
委員長 伊藤 豪(道政)

#### 一般議事

- ① 農地開発部長から、道営工事の第2・四半期における発注状況について説明。
- ② 委員長から、府県における農業基盤整備事業等の事情調査の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

○11月4日(火) 午後1時1分、第3委員会室において開議、午後1時18分散会

委員長 伊藤 豪(道政)

#### 一般議事

- ① 農地開発部長から、昭和56年農地・農業用施設災害の査定状況について報告。
- ② 委員長から、昭和57年度農業基盤整備関係国費予算に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。
- ③ 青木延男委員(社会)から、昭和56年農地・農業用施設災害の査定後の復旧工事の実施方法  
大平秀雄委員(自民)から、北空知頭首工に係る査定の見直しについて  
質疑があり、農地開発部長から答弁。
- ④ 青木延男委員(社会)から、景気浮揚関係補正予算における農業土木事業の有無について  
質疑があり、農地開発部長から答弁。

### 水産委員会

○9月25日(金) 午後2時8分、第6委員会室において開議、午後2時46分散会  
委員長 新沼 浩(自民)

#### 一般議事

- ① 水産部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 長岡寅雄委員(社会)から、(1)日米合同演習による被害補償に関し、その後の経過と見直し、被害の早期補償と再発防止対策の検討、(2)共和・泊原発に係る現地漁協関係者との対応等に関し、道の文書回答に係る安全協定の海洋及び漁業影響評価に係る調査研究の十分性と現下において漁業関係者の判断を求めることの適否、岩宇地区における水産試験研究機関の設置の考え方と原発との係わり及び水試整備計画との関係、事故発生等における運転停止に対する見解と北電への指導のあり方について  
質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。

○10月23日(金) 午後2時32分、第6委員会室において開議、午後2時36分散会

委員長 新沼 浩（自民）

### 付託案件の審査

- 議案第15号（沿岸漁場整備開発事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）、議案第16号（漁港修築事業等に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を一括議題とし、水産部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会反対）をもって原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

### 一般議事

- 委員長から、所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

- 10月24日（土） 午前10時40分、第6委員会室において開議、午前10時41分散会  
委員長 新沼 浩（自民）

### 一般議事

- 委員長から、道外における水産事情調査の実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- 11月24日（火） 午後1時45分、第6委員会室において開議、午後2時20分散会  
委員長 新沼 浩（自民）

### 一般議事

- ① 水産部長から、漁船漁業再編整備対策に関する報告。
- ② 水産部長から、日米合同訓練に伴う漁具被害補償に関する報告の後、  
長岡寅雄委員（社会）から、今回の特別支出金の性格、加害国から補償金が支払われた場合の取扱いと損害賠償請求の解決の見通し、完全補償についての努力方、今後の事故防止体制等について  
砂原清治委員（社会）から、日米合同訓練に係る海上自衛隊の責任の有無等について  
質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。

## 文教林務委員会

- 9月25日（金） 午後1時、第10委員会室において開議、午後3時8分散会  
委員長 中田 繁夫（社会）

### 一般議事

- ① 教育長及び林務部長から、第3回定例会提出予定案件について説明。
- ② 林務部長から、昭和57年度林業関係北海道開発予算について説明。
- ③ 教育長から、胆振第1学区新設高等学校の設置について報告の後、  
小野秀夫委員（道政）から、設置場所の決定時期、候補地についての検討経過、室蘭と伊達の境界地域に設置する考え及び両地区の志願者数と定員との関連、新設校設置に伴う学区再編成の考え  
平野明彦委員（自民）から、西胆振学区を分割しない理由、学区改編の可能性、境界地域における設置の必要性  
本間喜代人委員（共産）から、設置場所未決定の理由、教育的判断による決定方  
熊谷克治委員（社会）から、学区再編成と新設校設置との関連  
工藤万砂美委員（自民）から、伊達市設置の早急な決定方について  
質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。
- ④ 林務部長から、営林署の統廃合について報告の後、  
吉田英治委員（社会）から、統廃合に伴う本道の林業に及ぼす影響、道と地元市町村との連携による国への対処方について  
質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁。
- ⑤ 学事課長から、登別大谷高校における生徒死亡事故について報告の後、  
吉田英治委員（社会）から、事故の受け止め方、偶発的事故とする同校長の談話との係わり、今後の防止対策について  
質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。
- ⑥ 吉田英治委員（社会）から、(1)高等学校における造園科の設置検討の考え、(2)道教育庁特殊教育課の名称に関し、教員、父母からの

「特殊教育」の名称変更の要請に対する認識及び今後の検討について  
質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。

○10月23日（金） 午後2時39分、第10委員会室  
において開議、午後2時48分  
散会  
委員長 中田 繁夫（社会）

#### 付託案件の審査

- ① 議案第8号（北海道立高等学校の授業科等徴収条例の一部を改正する条例案）を議題とし、教育長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、共産反対）をもって原案のとおり可決することに決定。
- ② 議案第17号（林道事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件）を議題とし、林務部長から説明の後、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会、共産反対）をもって原案のとおり可決することに決定。
- ③ 議案第21号ないし第26号（財産の取得に関する件）及び議案第27号（損害賠償の額の決定に関する件）を一括議題とし、教育長から説明の後、異議なく原案のとおり可決することに決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

#### 一般議事

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすること及び所管事務について、閉会中継続調査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月24日（土） 午前10時35分、第10委員会室  
において開議、午後零時16分  
散会  
委員長 中田 繁夫（社会）

#### 一般議事

- ① 委員長から、道外における文教林務事情調査の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。
- ② 教育長から、釧路湖陵高校生徒マラソン大会における死亡事故について説明。
- ③ 道立高校入学選抜実施方法の改定に伴う

推せん入学制度の取り扱いについて報告の後、

熊谷克治委員（社会）から、推せん入学制実施後の追跡調査を行う考え及び推せんする中学校側を指導する必要性について  
質疑及び意見があり、教育長から答弁。

- ④ 吉田英治委員（社会）から、中学・高校生のスポーツ競技力の向上に関し、スポーツ競技力向上推進費補助金の目的と事業の概要、中学・高校生の選手強化合宿への参加実態と教育上の支障の有無、強化合宿の実態調査と指導のあり方

佐々木利昭委員（自民）から、中・高等学校におけるゴルフクラブの実態とゴルフ利用税の軽減及びゴルフ場の開放の考え方について報告方

小野秀夫委員（道政）から、養護学校の整備に関し、今後の整備計画、白鳥学園分校の現状と整備の目途

本間喜代人委員（共産）から、苫小牧工業高校の生徒の登山死亡事故に関し、死亡原因についての認識、登山装備の点検と健康状態の把握の有無、天候状況に対する引率教員の判断と生徒への指導の適否、事実関係の再調査について

質疑、意見及び要望があり、教育長及び学事課長から答弁。

○11月9日（月） 午後2時2分、第10委員会室  
において開議、午後5時19分  
散会  
委員長 中田 繁夫（社会）

#### 一般議事

- ① 教育長及び林務部長から、専決処分済みの景気対策関係補正予算について報告の後、  
吉田英治委員（社会）から、対象事業及び実施箇所選定の基本的な考え方、高等学校校舎の営繕工事に対する取り組み方、小規模治山事業の内容及び地元からの要望と実施状況並びに事業計画見直しの必要性  
本間喜代人委員（共産）から、高等学校柔剣道場整備に国費の導入、校舎全体を考慮した柔剣道場の整備  
佐々木利昭委員（自民）から、柔剣道場整

備に係る地盤調査の実施、整備箇所の選定及び炭鉱災害に関連して、夕張地区における整備の必要性

米村邦敏委員（社会）から、小規模治山事業の森林所有者別内訳及び公共治山事業との関連について

質疑、意見及び要望があり、教育長及び林務部長から答弁。

- ② 教育長から、高等学校のゴルフクラブ及びゴルフ利用税の実態について報告の後、

熊谷克治委員（社会）から、ゴルフを必修クラブとして取り入れることに対する見解について

（関連して、米村邦敏委員（社会）から、高等学校のボーリングクラブの実態について）次回委員会で報告方要望。

- ③ 林務部長から、台風15号による森林被害対策について報告の後、

米村邦敏委員（社会）から、被害の形態別内訳について

質疑があり、林務部長から答弁。

- ④ 米村邦敏委員（社会）から、(1)林産業の不況対策に関し、不況カルテルの現況と今後の見通し、在荷量と出荷量の状況、不況カルテルの従業員に対する影響、(2)上川北部の降雪による森林被害の状況、原因、復旧対策及び被害木処理に対する援助の考え

小野秀夫委員（道政）から、胆振西学区の新設高校に関し、伊達市稀府に設置したいとする根拠、学区の分割及び通学区調整の考え方、胆振西学区中室蘭市以東における間口不足の対応策と室蘭市に高等学校新設の考え（関連して、熊谷克治委員（社会）から、胆振西学区の新設校の設置場所決定に係る道教委の方針を文書での提示、間口増の発表時期と学区編成に関し中学校を個々に指定した考え）

本間喜代人委員（共産）から、(1)夕張炭鉱の災害に関連して、被災児童生徒の状況と援助措置、(2)私学の管理運営費補助金の57年度の見通しと予算獲得の取り組み方、(3)カラマツ材の需要の現況と需要拡大への取り組み方、民間企業も含めたカラマツ材利用状況の調査、研究及び一般市民に対するPRの必要

性について

質疑、意見及び要望があり、教育長、林務部長及び学事課長から答弁。

- 11月27日（金） 午後1時30分、第10委員会室において開議、午後3時38分散会  
委員長 中田 繁夫（社会）

## 一 般 議 事

- ① 教育長及び学事課長から、昭和57年度公立高等学校適正配置計画及び昭和57年度私立高等学校入学募集定員調整について説明の後、

米村邦敏委員（社会）から、教育長期計画の全日制収容率達成の見通し、私学との調整の考え方、間口減に対する関係地域のコンセンサスを得ることの必要性、来年度の教職員の増減と採用の見込み、間口減の単年度措置の必要性の有無、網走地区における間口減による影響及び進学指導の取り組み方

熊谷克治委員（社会）から、上士幌高校の間口減に対する地元の理解度と単年度措置であることの明示方、十勝学区の2私立高等学校の定員と入学者の状況、私学の定員割れの実態、今回の公立高校間口減と私学に対する配慮との係わり、間口増減の基準及び収容率の考え方、間口減と遠距離通学解消との矛盾、定時制高校の間口減に伴う勤労学習への影響と対応策

本間喜代人委員（共産）から、間口減に対する地元了解の状況、定時制高校の募集停止の考え方、適正配置の基本姿勢、学科転換の考え方、単年度間口減による教職員の人事異動の考え方

小笠原孝委員（自民）から、定時制高校のセンターの単置校設置の考え、私学の将来展望に対する見解について

質疑、意見及び要望があり、教育長及び学事課長から答弁。

- ② 教育長から、胆振第1学区新設高等学校の設置について説明の後、

小野秀夫委員（道政）から、設置場所の決定に係る地元市町村の理解の有無及び十分な対応方について

質疑及び要望があり、教育長から答弁。

# 特別委員会

## 総合開発調査特別委員会

○9月25日（金） 午後3時28分、第1委員会室  
において開議、午後3時48分  
散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 開発調整部長から、第3回定例会提出予定  
案件について説明。
- ② 委員長から、さきに実施した道内開発事情  
調査の概要について報告書により報告、異議  
なく了承。
- ③ 開発調整部長から、昭和57年度北海道開発  
関係予算要求について説明の後、  
小野秀夫委員（道政）から、苫小牧東港中  
防波堤関係予算が要求されていない理由につ  
いて  
質疑があり、開発調整部長から答弁。
- ④ 委員長から、道外開発事情調査の実施につ  
いてはかり、異議なく決定。実施時期につ  
いては、委員長に一任することとした。

○10月24日（土） 午後零時9分、第1委員会室  
において開議、午後零時15分  
散会

委員長 吉田 政一（自民）

- 開発調整部長から、石油国家備蓄に係る災  
害及び公害防止協定並びにいすゞ自動車苫小  
牧工場の建設計画について報告。

## 石炭対策特別委員会

○10月17日（土） 午後4時3分、第11委員会室  
において開議、午後4時20分  
散会、委員長事故のため、  
副委員長 長岡寅雄（社会）

- ① 商工観光部長から、北炭夕張新炭鉱の災害  
事故状況について報告の後、  
藤井虎雄委員（社会）から、北炭夕張炭鉱の  
労務管理体制と事故発生後の対応等について  
の疑問点、救急体制の強化に対する道の配慮

湯田倉治委員（道政）から、通産大臣に対  
する北炭の資金対策、北炭分離等の問題への  
取り組みについて要請方

工藤万砂美委員（自民）から、夕張炭鉱災  
害対策、中小企業対策及び各炭鉱からの要望  
に対する配慮について  
意見及び要望があった。

- ② 副委員長から、北炭夕張新炭鉱災害現地調査  
の実施についてはかり、異議なく決定。実施  
時期等については、委員長に一任することと  
した。

○10月23日（金） 午後3時5分、第11委員会室  
において開議、午後3時8分  
散会

委員長 宇川 源吉（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した北炭夕張炭鉱  
の災害に関する現地調査について口頭により  
報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、北炭夕張炭鉱災害等に関する  
要望意見案について、配付の案文により発議  
することをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、要望意見案に関する中央折衝  
の実施についてはかり、異議なく決定。派遣  
委員等については、委員長に一任することと  
した。

○10月24日（土） 午後零時56分、第11委員会室  
において開議、午後2時2分  
散会

委員長 宇川 源吉（自民）

- ① 委員長から、さきに実施した新石炭政策の  
確立に関する中央折衝及び道内の産炭地域事  
情調査の概要について報告書により報告、異  
議なく了承。
- ② 石川十四夫委員（道政）から、北炭夕張新  
炭鉱の災害に関し、中小企業の経営金融対策及  
び借り入れ資金の償還猶予、企業等経営改善  
資金枠拡大に対する国への働きかけ、北炭の  
資金繰り対策と賃金の支払い、事故原因の究  
明と再建に対する配慮、夕張市財政の救済、  
公共事業の特別発注についての配慮  
藤井虎雄委員（社会）から、北炭夕張新炭  
鉱の災害に関し、緊急対策本部の機能の強化、

災害復旧と再建に対する道の資金援助、新聞報道による科学技術庁長官の2000万トン体制に対する疑問と原子力発電の推進に関する発言の真意の確認、下請等企業の労働組合組織化推進の考え、石炭鉱業年金の適用範囲拡大の国への働きかけ

湯田倉治委員（道政）から、北炭夕張新鉱の災害に関し、北炭及び請負関係の資金繰りと資金対策、保証協会の担保の取り扱い、失業保険金の支払いに対する国への働きかけ、西部再開発推進の考え

山家勇委員（社会）から、北炭夕張新鉱の災害に関し、資金対策に対する北炭グループへの協力要請、下請従業員への就労対策

石山直行委員（自民）から、北炭夕張新鉱の災害に伴う地域社会の崩壊の懸念と再建問題等に対する道の対処姿勢、緊急会議での委員会意見の反映と会議内容の報告方について質疑、意見及び要望があり、商工観光部長、労働部長及び民生部長から答弁。

#### 本日聴取した陳情

北炭夕張新炭鉱の災害について 夕張市長

○11月9日（月） 午後1時18分、第11委員会室において開議、午後2時59分散会

委員長 宇川 源吉（自民）

① 委員長からさきの委員会において要望のあった札幌鉱山保安監督局担当官の本委員会出席は、都合によりできない旨回答があったことを報告、異議なく了承。

② 委員長から、さきに実施した北炭夕張新炭鉱の災害等に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

③ 商工観光部長から、北炭夕張新炭鉱の災害に係るその後の状況等に関する報告の後、

石川十四夫委員（道政）から、商工業者に対する道の金融対策及び商工会議所の意見尊重による融資の迅速化、風俗営業者に対する融資

工藤万砂美委員（自民）から、融資手続きにおける商工会議所の審査を道審査と同等の位置づけ化、零細企業に対する融資の考え方、北炭関連グループから道に対し融資要請があ

った場合の対応

藤井虎雄委員（社会）から、北炭夕張新炭鉱に対する道の基本姿勢及び資金援助の考え、特別災害復旧資金の適用を要請する考え

湯田倉治委員（道政）から、特別災害復旧資金制度の活用を国に要望する考え、再建に協力する決意、関連企業の遺族に対する弔慰金支払いの考え方、北炭幌内炭鉱の税の滞納等に伴う三笠市の財政窮状に係わる地方債の取り扱い、老人福祉と障害者対策、閉山した場合における学校の統廃合に対する措置と就労対策及び市街地へ移転する商店に対する援助対策

山家勇委員（社会）から、再建に対する道の姿勢及び具体的な対応策、下請け企業の資金状況と就労対策、各炭鉱の保安対策についての要請状況について

質疑、意見及び要望があり、寺田副知事、商工観光部長及び労働部長から答弁。

④ 商工観光部長から、苫東コールセンターの計画概要について説明。

⑤ 山家勇委員（社会）から、閉山炭鉱に関し、自然発火等の状況把握と対策について要望があった。

#### 北方領土対策特別委員会

○10月24日（土） 午後零時7分、第3委員会室において開議、午後零時16分散会

委員長 小沢 栄吉（自民）

① 委員長から、さきに実施した北方領土隣接地域振興対策の推進等に関する中央折衝の概要について、報告書により報告、異議なく了承。

② 領対本部長から、「北方領土返還要求のつどい」の開催等について説明の後、

小田原要四蔵委員（社会）から、今年のつどいの主催に民間団体を加入させた経緯と今後の方針について

（関連して、湯本芳志委員（社会）から、民間団体の挨拶等の発言に対する配慮方について）

質疑及び要望があり、領对本部長から答弁。

- ③ 委員長から、北方領土返還要求のつどい並びに北方領土展への委員派遣及び他府県議会に対する北方領土返還の再決議要請の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

## 公害対策特別委員会

○9月25日(金) 午後3時40分、第2委員会室において開議、午後5時1分散会

委員長 高木 繁光(自民)

- ① 生活環境部長から、環境影響評価条例の施行状況について報告。
- ② 生活環境部長から、苫小牧東部石油備蓄株式会社の石油備蓄にかかる災害及び公害防止に関する協定の締結について報告。
- ③ 関根建二委員(社会)から、水質汚濁防止に関し、違反事件と措置状況、改善命令の事後検査、10大湖沼の水系と汚濁源及び汚濁防止対策、湖沼サミットにおける中川副知事の発言内容及び湖沼法の制定についての道の見解、阿寒湖の汚濁の実態と除去対策(関連して、岡本栄太郎委員(社会)から、阿寒湖の水質保全対策の策定について)質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁。
- ④ 岡本栄太郎委員(社会)から、空き缶対策に関し、空き缶対策中間報告後の経過、企業責任について業界と話合う考え、業界の北海道における窓口、対策協議会の役割、道の基本的姿勢、支庁における窓口について質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁。

○10月23日(金) 午後2時58分、第2委員会室において開議、午後3時散会  
委員長 高木 繁光(自民)

- 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。

○10月24日(土) 午後零時6分、第2委員会室において開議、午後零時20分散会、委員長事故のため、  
副委員長 輪島幸雄(社会)

- ① 生活環境部長から、苫小牧東部石油備蓄(株)の石油備蓄に係る災害及び公害の防止に関する協定の締結に関し説明。
- ② 生活環境部長から、苫東厚真発電所の公害防止に関する協定の一部を改定する協定の締結について説明。
- ③ 生活環境部長から、共和・泊原発1・2号機設置計画に係る環境影響評価について説明。

○11月2日(月) 午後2時52分、第9委員会室において開議、午後5時1分散会

委員長 高木 繁光(自民)

- ① 委員長から、さきを実施した道内公害事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 関根建二委員(社会)から、共和・泊原発1・2号機設置計画にかかる環境影響評価に関し、北電が提出した評価書に対する審査状況と補正・修正の有無及び条例上の手続きとの関係、国の第1次公開ヒアリングの開催決定過程における道に対する同意・協力要請の有無及び道の対応、環境影響評価が未確定な段階で公開ヒアリングが実施されることの是非、原発関係プロジェクトチームの設置の目的及び成果、生活環境部の役割、放射能問題と環境影響評価、衛生部の参加とその役割、安全協定草案作成過程における衛生部の不参加の理由、補償問題等で完全な同意がない段階で安全協定案を提示する理由、安全協定に風評被害をとり上げる理由、説明会等で放射能問題が提起された場合の対応及び北電の答弁についての指導、放射能問題について意見書が提出された場合の取り扱い、評価書縦覧期間中の時間の延長及び日曜、祝祭日の縦覧についての取り扱い、評価書策定基礎資料の公開に対する見解と北電への提出要求方、評価書の概要書について関係住民への配布の有無、説明会の運営方法とその内容、建設工事

期間中における環境影響の予測評価と対策の必要性及び道の対応、道公報における建設期間を明示することに対する考え方について質疑、意見及び要望があり、商工観光部長、生活環境部長及び衛生部長から答弁。

## 災害対策特別委員会

○10月17日（土） 午前10時23分、第1委員会室において開議、午後3時22分散会  
委員長 東 典俊（自民）

### 付託案件の審査

○ 議案第28号（昭和56年度北海道一般会計補正予算（第4号））を議題とし、

小田原要四蔵委員（社会）から、(1)災害対策措置状況に係る要求資料の提出のあり方、(2)災害対策に係る市町村財政の財源対策に関し、災害対策に伴う財政需要の増高と財政運営への影響及び道の対応策、特別交付税及び起債による措置の範囲とその他の財政措置、(3)災害弔慰金等の制度に関し、単価改定の意思の有無(4)災害対策に係る予算措置に関し、防災関係の基礎資料の収集、整理に係る予算計上の考え方と今後の措置、天災融資法の適用に係る災害資金の融通に伴う利子補給についての予算を計上しなかった理由と債務負担行為との関連、(5)奥尻町の災害に関し、災害の原因究明と改良復旧等の必要性及び具体的工法、野名前川の改修等についての検討の考え、治山被害の実態と今回の復旧治山事業の提案趣旨及び今後の治山対策、災害個所と植生等との関係、水道の被害状況と応急の給水対策、水道施設復旧の恒久対策と復旧事業に対する国の補助内容、給水施設の現状と簡易水道への移行等今後の指導方策、アワビ・コンブ漁場被害の実態と復旧等の対処策、舟揚げ場の土砂の除去対策、奥尻高校の災害の要因と移転、改築の見通し

鈴木誠二委員（社会）から、(1)災害の調査設計費に関し、激甚災害指定による補助の範囲とその他による補助の見通し、(2)被災住宅対策に関し、復旧に対する制度資金の利用状

況、道独自の金融措置の考え、(3)治水対策に関し、開発予算及び道予算編成に係る治水計画策定への対応、恒久対策の取り組みの内容、石狩川水系の過去の災害に係る今後の治水策定計画の考え方、新放水路の実現方、(4)中小河川と内水処理対策に関し、中小河川の改修計画の完成目途、中小河川の環境整備事業の十分性と河川愛護組合等の活動について奨励方、農業用の内水排除機の重要性と設置・管理費用の負担及び施設改善等に対する考え方、内水排除対策の今後のあり方

神本三也委員（社会）から、(1)農業関係制度資金の償還猶予措置に関し、猶予措置の内容と決定の時期、(2)農産物の規格の特例措置に関し、豆類、規格外米及び着色米の規格の特例めぐる動向と措置の見通し、規格外米の販売数量と価格の見通し及び道の対処策、共済金の損害評価の特例に係る修正率の見通し、(3)農地復旧対策に関し、災害査定に当たっての対応、復旧限度額内の復旧の目途、具体的な復旧対策と今後の措置、河川復旧との連携による対策の推進、(4)上富良野町の花園樋管の管理問題に関し、操作の実態についての事実確認の状況及び問題点の有無、被災者に対する対応

伊藤豪委員（道政）から、(1)石狩川水系工事実施基本計画に関し、基本計画改定の見通し、50年被害に基づく基本計画の見直しの重点、計画高水位についての考え方、基本計画における大規模放水路計画の樹立について国への積極的な働きかけ、(2)災害復旧対策に関し、融雪期を迎えての急流河川の災害復旧対策、耕地等への流入土砂に対する土木部の対応、(3)復旧工事に関し、地元業者への優先発注方について

質疑、意見及び要望があり、総務部長、土木部長、林務部長、衛生部長、水産部長、教育庁管理部長、水産部長、住宅都市部長、農地開発部長及び農務部長から答弁があつて、付託案件に対する質疑を終結。付託案件に対する意見調整のため、午後3時20分休憩、午後3時21分再開。

② 委員長から、各派代表者会議における付託案件に対する意見調整の結果を報告の後、議

案第28号を原案可決することについては、異議なく決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

### その他の議事

- ① 委員長から、さきを実施した道内大雨災害状況調査並びに大雨災害対策に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 総務部長、民生部長、住宅都市部長、衛生部長、農務部長、農地開発部長、林務部長、水産部長、商工観光部長、土木部長、労働部長、開発調整部長、生活環境部長、教育庁管理部長及び警察本部総務部長から、災害対策措置状況等について報告の後、総務部長から被害状況の変動について説明。
- ③ 委員長から、付託の請願、陳情について、今後付託されるものも含め、閉会中継続審査の申し出をすることは、異議なく決定。

### 冷害・災害対策特別委員会

○10月23日（金） 午後5時38分、第1委員会室において開議、午後5時47分散会  
委員長 東 典俊（自民）

#### 正副委員長の互選

- ① 東典俊臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法については、臨時委員長の動議により指名推選の方法をもって東典俊委員長（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長の互選方法については、委員長の動議により指名推選の方法をもって岡本栄太郎委員（社会）を副委員長に選出。
- ③ 理事の選出については、旧災害対策特別委員会の理事の青山正男委員（自民）、若狭靖委員（自民）、小田原要四蔵委員（社会）、関根建二委員（社会）、伊藤豪委員（道政）及び柳谷正一委員（公明）をそれぞれ選出。本委員会の今後の運営方法等については、理事会において協議することとした。

○11月4日（水） 午後4時44分、第1委員会室において開議、午後5時26分散会

委員長 東 典俊（自民）

- ① 委員長から、関根建二委員（社会）、柳谷正一委員（公明）及び星野健三委員（社会）の辞任に伴い、吉野之雄委員（社会）、工藤啓二委員（公明）及び渋谷澄夫委員（社会）が補充選任された旨を報告。委員の異動に伴う欠員の理事について、吉野之雄委員（社会）及び工藤啓二委員（公明）を選出。
- ② 議席については、異議なく現在着席のとおりとすることに決定。
- ③ 総務部長から、北海道8月豪雨災害対策本部を北海道豪雨・冷湿災害対策本部に変更した経緯について報告。
- ④ 農務部長から、昭和56年の気象と農作物生育状況及び低温等による農作物被害状況について報告の後、  
渋谷澄夫委員（社会）から、台風第18号から冷湿害までの災害に対する激甚災害の指定及び天災資金等の対策について国の取り組みの見通し、水稲の作況指数を変える考え、米の出荷が限度数量に満たない場合の措置、畑作・酪農被害農家への公共事業による救済措置、上川管内のカラマツ等の風倒木の処理に関し森林組合から要望があった場合の対応  
本間喜代人委員（共産）から、農業共済の損害評価の追加申告について農家を指導する考え、償還猶予に係る農協への事務処理の早期指導と周知徹底について  
質疑、意見及び要望があり、農務部長及び総務部長から答弁。
- ⑤ 委員長から、冷害等災害対策に関する要望案について、配付の案文のとおりとすることをは、異議なく決定。
- ⑥ 委員長から、要望書に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

## 予算特別委員会

○10月16日（金） 午後4時48分、第1委員会室  
において開議、午後4時58分  
散会  
委員長 工藤万砂美（自民）

### 正副委員長の互選

- ① 野村権作臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてはかり、樫林巖委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって工藤万砂美委員（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、土屋良三委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって長岡寅雄委員（社会）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため午後4時53分休憩、午後4時54分再開。休憩中協議の結果、付託案件に対する審査の方法について、2分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、開発調整部、生活環境部、公安委員会、人事委員会、出納局、監査委員、民生部、衛生部及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は商工観光部、労働部、土木部、住宅都市部、農務部、農地開発部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことをはかり、異議なく決定。
- ④ 各分科会の委員の選任についてはかり、異議なく配付の委員名簿のとおり選任することに決定。

### ○第1分科委員（15人）

小田原要四蔵（社会）	伊藤 弘（自民）
高橋 康之（自民）	橋 浪蔵（道政）
久田 恭弘（自民）	長岡 寅雄（社会）
吉野 之雄（社会）	工藤 啓二（公明）
宇川 源吉（自民）	寺崎 政朝（自民）
中崎 昭一（自民）	野村 権作（自民）
鈴木 誠二（社会）	本間喜代人（共産）
佐藤 幹夫（自民）	

### ○第2分科委員（15人）

樫林 巖（社会）	木下 一見（道政）
土屋 良三（自民）	中川 義雄（自民）
山口 真人（自民）	吉川 貴盛（自民）
柳谷 正一（公明）	輪島 幸雄（社会）
渋谷 澄夫（社会）	石崎喜太郎（自民）
石山 直行（自民）	高木 繁光（自民）
伊藤 豪（道政）	小笠原 孝（自民）
山家 勇（社会）	

- ⑤ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長1名を置くこと。分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 質疑の方法について、通告の形式により、一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は、委員長に申し出ること、発言の順位は本会議における一般質問に準ずることをはかり、異議なく決定。
- ⑦ 委員外議員の発言の取り扱いについてはかり、議員から発言の申し出があった場合その都度委員会にはかり決定すること及び発言は委員の通告質疑終了後これを許可することについてはかり、異議なく決定。
- ⑧ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ⑨ 本委員会の運営について、正副委員長及び各分科正副委員長をもって構成する理事会を設置し、その協議により運営することについてはかり、異議なく決定。

○10月17日（土） 午後4時59分、第1委員会室  
において開議、午後5時散会  
委員長 工藤万砂美（自民）

- 委員長から、付託案件の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。

## 第1分科会

○10月16日（金） 午後5時1分、第1委員会室  
において開議、午後5時9分  
散会  
第1分科委員長

野村 權作（自民）

### 正副委員長の互選

- ① 指名推選の方法により、分科委員長に野村權作委員（自民）、分科副委員長に吉野之雄委員（社会）をそれぞれ選出。
- ② 質疑方法等について協議決定した。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、道政及び公明各1名、計4名の理事を選び、その協議により行うこと及び共産についてはオブザーバーの扱いとすることをはかり、異議なく決定。理事には、高橋康之委員（自民）、小田原要四蔵委員（社会）、橋浪蔵委員（道政）及び工藤啓二委員（公明）をそれぞれ選出。
- ④ 委員外議員の発言の取扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。
- ⑤ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

○10月17日（土） 午後5時2分、第1委員会室  
において開議、午後5時3分  
散会  
第1分科委員長  
野村 權作（自民）

- 委員長から、付託案件の審査日程についてはかり、異議なく配付の日程表のとおりとすることに決定。

○10月19日（月） 午前10時14分、第1委員会室  
において開議、午後4時20分  
散会  
第1分科委員長  
野村 權作（自民）

- ① 公安委員会所管に対する質疑に入り、  
小田原 要四蔵委員（社会）から、  
交通規制に関し、交通規制の目的及び根拠法令、交通規制の実態と場所、時間を限定する必要性、交通規制に対する関係者の意見の反映方、速度規制等の規制基準と公表する考え、道道八雲・熊石線の交通規制の妥当性と再検討の考え方について  
渋谷 澄夫委員（社会）から、  
(1) 交通標識等に関し、道路上の看板等による信号機、道路標識による視認性障害の実

態、指導取締の状況

- (2) 札幌駅前交番に関し、現在地に設置された経緯、交番の案内表示の不備、警察官詰所の増設の考え等について

伊藤 豪委員（道政）から、

パチンコ店の営業許可に関し、55年度の営業許可申請及び許可件数、江別市の住宅地域におけるパチンコ店営業許可申請の経過と措置、再申請があった場合の対処方針等について

質疑、意見及び要望があり、警察本部長、交通部長、警ら部長及び防犯部長から答弁があって公安委員会所管に対する質疑を終結。

- ② 民生部所管に対する質疑に入り、

分科副委員長から、柳谷正一委員（公明）から質疑通告の取り下げがあった旨報告の後、

関根 建二委員（社会）から、

- (1) 保育問題に関し、本道の保育施設の概況、待機児童数、ベビーホテルの実態調査の概要、改善指導のあり方、保育時間の延長に対する対策

- (2) 乳幼児対策に関し、中央乳児院の移転についての札幌市との協議内容、アフターケアについての検討状況

- (3) 国の行政改革に関連する施策に関し、老人保健法案に対する見解と道の負担増となる額、老人医療無料化制度の継続の考え、保育料徴収強化に係る臨調答申の受けとめ方等について

星野 健三委員（社会）から、

看護料に係る保険給付に関し、支給対象となる疾病、給付請求手続、支給額、基準看護承認数及び病床数、基準看護承認病院における看護婦定数遵守の状況等について

民生部長及び保険課長から答弁があって民生部所管に対する質疑を終結。

○10月20日（火） 午前10時15分、第1委員会室  
において開議、午後5時18分  
散会  
第1分科委員長  
野村 權作（自民）

- ① 衛生部所管に対する質疑に入り、

鈴木 誠二委員（社会）から、

保健所行政に関し、北炭夕張新鉱の災害に係る保健所の対応状況、保健所長の長期欠員と保健所業務への影響、今後の保健所長の充足対策等について（関連して、長岡寅雄委員（社会）から、保健所長の兼務の妥当性と保健所法の趣旨、所長の資格要件に係る法改正についての所見等について、本間喜代人委員（共産）から、北炭夕張新鉱の災害における民間医療機関からの医師派遣と事務手続の処理に対する指導の妥当性、緊急事態の救護活動に対する見解等について）

柳谷 正一委員（公明）から、

保健所行政に関し、保健所の設備の整備状況、保健婦の活動内容、就業場所別の保健婦数、保健婦の配置のない町村数と保健婦の道からの派遣状況、今後の保健所の機能の強化策等について

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって衛生部及び企業局所管に対する質疑を終結。

② 生活環境部所管に対する質疑に入り、

小田原 要四蔵委員（社会）から、

環境影響評価に関し、特定開発事業に係る環境影響評価書の提出時期、電源立地を道が行う場合と民間事業者が行う場合の法的手続、評価書の提出時期に係る公示内容の適否と再検討の考え等について

岡本 栄太郎委員（社会）から、

(1) 道の公害白書に関し、生活公害に係る具体策の欠如、工場排水に係る水質汚濁防止法違反の具体的内容、今後の自然環境保全対策、産業廃棄物の処理計画

(2) 空き缶対策に関し、デポジット制導入に対する見解、再資源化を検討する必要性、業界との協議と空き缶処理対策協議会設置の必要性

(3) 灯油問題に関し、灯油価格の抑制対策、価格の動向の把握等について

本間 喜代人委員（共産）から、

春採湖の水質保全に関し、春採湖の水質汚濁の現状と釧路地域公害防止推進計画におけるCOD基準の妥当性、湖周辺の団地開発計画と汚水処理、下水道整備の促進等について質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁があって生活環境部所管に対する質疑を終結。

○10月21日（水） 午前10時13分、第1委員会室において開議、午後1時6分散会

第1分科委員長

野村 権作（自民）

○ 開発調整部所管に対する質疑に入り、

小田原 要四蔵委員（社会）から、

都市圏の交通問題に関し、交通問題に係る道の権限と交通対策課の分掌、札幌市及びその周辺の交通体系のあり方、地下鉄延長に伴う既存交通機関との調整、乗継運賃割引制度導入に対する所見等について

岡本 栄太郎委員（社会）から、

(1) 国鉄地方交通線対策に関し、国鉄の赤字と再建対策における地方への影響、不採算路線の廃止提案と存続要請の決意、地方交通線対策協議会に臨む考え、第3セクター方式による路線存続についての所見

(2) エネルギー問題に関し、発展計画における電力伸び率の達成見通し、56年度までの電源立地の実績、62年までの電力需給見通しと本州との送電連けいの位置づけ、過剰設備投資による電力料金への影響、共和・泊原発建設の見直しに対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。

○10月22日（金） 午前10時26分、第1委員会室において開議、午後5時51分閉会

第1分科委員長

野村 権作（自民）

① 開発調整部所管に対する質疑の続行、

柳谷 正一委員（公明）から、

(1) 代行運転に関し、道路運送法上の許可等の要否、代行運転を業とする者の数、営業内容の把握と行政指導等の必要性

(2) 航空運輸問題に関し、千歳及び函館空港の除雪体制の現状と今後の強化策、旭川及び帯広空港の除雪費の財源措置の必要性、千歳空港の代替飛行場として函館空港を整備することに対する見解、新千歳空港建設の進捗状況、先行取得用地の国への引渡時

期と供用開始時期等について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁。分科委員長から、川崎守委員（共産）から質疑通告の取下げの申出があった旨報告し、開発調整部及び各種委員会所管に対する質疑を終結。

② 総務部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、高橋鉦委員（公明）から質疑通告の取下げがあった旨報告の後、

熊谷 克治委員（社会）から、

秘密文書の取扱いに関し、秘密文書取扱い規程の作業状況、規程作成の目的と情報公開制度との関連、「秘密」の概念と定義づけに対する基本的考え方、規程の発効前に説明、提示方等について

吉野 之雄委員（社会）から、

過疎対策に関し、過疎に対する現状認識、現在までの過疎対策の効果と過疎化進行の要因、生活指標に対する認識、広域生活圈構想と中核都市への人口移動に対する対処策、農・漁業の後継者確保、雇用の創出のための地場産業の振興対策等について

小田原 要四蔵委員（社会）から、

環境影響評価条例等の解釈に関し、条例・規則・告示の効力関係、アセスメント条例に基づく評価書の提出時期と電源立地関係法との関連、告示と生活環境部長通達との矛盾の有無等について（関連して、藤井 虎雄委員（社会）から、電源立地についての法手続の手順、知事の意見提出の時期と根拠法令、道が行う電気事業に関する手続と民間が行う場合との手続上の相違の有無について）

本間 喜代人委員（共産）から、

道有地の無償貸与に関し、真駒内地区の道有地の白衛隊への使用許可と使用料免除取消しの理由、使用料を遡及して徴収する考え、公有財産管理に対する基本的な考え方等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があった総務部所管に対する質疑を終結。

③ 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

④ 分科委員長から、分科会における審査終了のあいさつがあった。

## 第 2 分 科 会

○10月16日（金） 午後5時3分、第2委員会室  
において開議、午後5時13分  
散会

第2分科委員長

樫林 巖（社会）

### 正副委員長の互選

① 指名推選の方法により、分科委員長に樫林巖委員（社会）、分科副委員長に土屋良三委員（自民）をそれぞれ選出。

② 質疑方法等について協議決定した。

③ 本分科会の運営について、自民、社会、道政及び公明各1名、計4名の理事を選び、その協議により行うことについてはかり、異議なく決定。理事には、吉川貴盛委員（自民）、輪島幸雄委員（社会）、伊藤豪委員（道政）及び柳谷正一委員（公明）をそれぞれ選出。

④ 分科委員外委員及び委員外議員の発言の取扱いについて、その都度分科会にはかり決定することとした。

⑤ 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。

○10月17日（土） 午後5時5分、第2委員会室  
において開議、午後5時7分  
散会

第2分科委員長

樫林 巖（社会）

○ 分科委員長から、付託案件の審査日程についてはかり、配付の日程表のとおりとすることに決定。

○10月19日（月） 午前10時15分、第2委員会室  
において開議、午後4時10分  
散会

第2分科委員長

樫林 巖（社会）

① 林務部所管に対する質疑に入り、  
波谷 澄夫委員（社会）から、

(1) 営林署の統廃合に関し、営林署の廃止についての道の対応と経過、地元の意向と道

の見解、今後の影響に対する認識

- (2) 大雨及び台風被害に関し、林業被害の概況、民有林に対する救済措置、カラマツ造林の被害が多い理由等について

**神本 三也委員（社会）**から、

- (1) 民有林の風倒被害と木材需給に関し、民有林の風倒被害の復旧対策、激甚災害の指定対象市町村数、風倒に係るカラマツの生産量と需要量の見通し、除間伐計画への影響と貯材対策、災害復旧事業に係る予算措置状況、カラマツパルプ材の出荷状況、下期の木材需給見通しと見直しの必要性、製材業の不況カルテルの効果と過剰設備についての見解、構造改善事業の積極的な取り組み

- (2) 行政改革に関し、国の行革による本道の林産業への影響と今後の対応策等について質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって林務部所管に対する質疑を終結。

② **労働部所管に対する質疑**に入り、

分科委員長から、山口眞人委員（自民）から、質疑通告の取下げの申し出があった旨報告の後、

**輪島 幸雄委員（社会）**から、

シルバー人材センターに関し、設置目的と評価、道内の登録者数、全国的な設置状況と都府県の助成状況、国の設置基準に係る指導の変更と道の方針及び今後助成について検討する考え等について

質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁があって労働部所管に対する質疑を終結。

③ **農地開発部所管に対する質疑**に入り、

**岡本 栄太郎委員（社会）**から、

農業基盤整備事業等に関し、本道農業の現状認識、農業基盤整備の重点施策、事業抑制を内容とする臨調答申の受けとめ方と対処方針、畑地灌漑排水事業と転作との関係、第4次酪農近代化計画達成のための飼料基盤整備の見通し、土地改良事業に伴う地元負担の軽減策、事業費の増高の現状と物価上昇率以上となっている要因、工事発注に当たっての業者への行政指導、共同企業体の取扱い、下請代金の支払状況、団体営土地改良の申請手続の簡素化等について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁があって農地開発部所管に対する質疑を終結。

○10月20日（火） 午前10時19分、第2委員会室において開議、午後5時10分散会

第2分科委員長

櫻林 巖（社会）

① **水産部所管に対する質疑**に入り、

分科委員長から、川崎守第1分科委員（共産）から本分科会への出席及び水産部所管に対する発言の申し出について、委員の通告質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定の後、

**神本 三也委員（社会）**から、

漁業の経営安定対策に関し、漁家の負債の状況、経営悪化の原因、負債整理対策の具体的内容、日本海マス漁業の状況、共同経営の促進、サケ・マス資源増大対策

**渋谷 澄夫委員（社会）**から、

共和・泊原発建設に関し、水産部としての基本的な考え方、漁業補償の算出基準と補償の対象となる漁協、漁業振興資金の使途及び支払時期、原発建設による漁業への影響と安全対策、風評被害に対する見解、取排水被害があった場合に道が原因究明を行う考え等について

**工藤 啓二委員（公明）**から、

- (1) 秋サケ漁業に関し、今年の秋サケの漁獲状況、日本海の漁業者に対する定置漁業権を設定する考え、豊漁が価格に反映されない理由、ブナサケの比率を低くする方途と消流対策

- (2) コンブ養殖に関し、ヒドロゾアによる被害状況、発生原因と調査研究の取組み状況、今後の被害対策等について

**川崎 守委員（共産）**から、

H米合同訓練に伴う漁具被害に関し、訓練計画を了知した段階での道の対応、加害船の把握状況、国際法上の通報義務、補償請求の根拠、補償措置がなされる時期、積丹沖における被害と演習との関連等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があって水産部所管に対する質疑を終結。

② 土木部所管に対する質疑に入り、

湯本 芳志委員（社会）から、

スパイクタイヤの使用に関し、スパイクタイヤの使用による道路の損耗と損害額、外国のスパイクタイヤの使用規制、道及び関係機関における調査、研究の状況と今後の対策等について

舟山 広治委員（社会）から、

(1) 雨竜川の治水対策等に関し、過去の水害の実態と治水対策の現状、ダムの管理体制と予備放水に対する道の対応

(2) 牛朱別川の治水対策に関し、農業ダムと治水対策との関連、水源涵養林の確保等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁があった。土木部及び住宅都市部所管に対する質疑を終結。

○10月21日（水） 午前10時12分、第2委員会室において開議、午後零時47分散会

第2分科委員長

樫林 巖（社会）

○ 商工観光部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、本間喜代人第1分科委員（共産）の本分科会への出席及び商工観光部所管に対する発言の申し出について、委員の通告質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定の後、

鈴木 誠二委員（社会）から、

(1) 灯油の価格等に関し、価格指導、共同購入についての指導の具体的内容、灯油の備蓄状況と今冬の需給見通し

(2) プロパンの価格抑制に関し、プロパンの輸入基地建設構想の内容、道の積極的な取組みの必要性等について

渋谷 澄夫委員（社会）から、

原発立地に関し、電源開発に係る法的手続、稼働中の原発事故に対する受けとめ方、原発の安全対策についての漁協への通産政務次官の説明内容、風評被害の定義、安全性確保に係る国及び道の責任、地層調査のあり方と特定の学者の同行を拒否したことの当否、核廃棄物の輸送中の安全性とフランスへの再処理委嘱の今後の見通し、電力の需給見通し

と原発のコストアップによる電力料金への影響等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

○10月22日（木） 午前10時26分、第2委員会室において開議、午後5時44分閉会

第2分科委員長

樫林 巖（社会）

① 商工観光部所管に対する質疑の続行、

山家 勇委員（社会）から、

北炭夕張新鉱の災害に関し、今次災害に対する道の受けとめ方、保安体制についての道の指導、事故による北炭の再建への影響と資金対策、下請業者・地元の商店等関連中小企業者に対する対策、緊急医療体制、遺族対策等についての道の対応、今後の事故原因の究明と炭鉱の保安体制の確保についての国への要請等について

本間 喜代人委員（共産）から、

北炭夕張新鉱における事故に関し、札幌鉱山保安監督局長名による北炭4山の保安体制に対する警告について承知の有無、事故の未然防止の可能性と会社側の姿勢に対する見解、炭鉱の保安体制に係る道の対処姿勢、災害発生後における医療体制等について道の対応のあり方、石炭産業の公社化に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があった。商工観光部所管に対する質疑を終結。

② 農務部所管に対する質疑に入り、

分科委員長から、本間喜代人第1分科委員（共産）からの本分科会への出席及び農務部所管に対する発言の申し出について、委員の通告質疑終了後これを許可することをはかり、異議なく決定の後、

保格 博夫委員（社会）から、

農薬の被害に関し、農薬による事故の把握状況、農薬の使用状況、EDB剤の発がん性に対する見解と使用状況、道の害虫の防除基準で許容している理由と削除する考え、殺虫剤CYPの毒性に対する把握状況、生産量と道内での使用状況、毒性についての試験結果が判明するまで使用中止する必要性等について

て

**神本 三也委員（社会）**から、

- (1) 災害による農作物被害に関し、被害実態と被害対策、低温等の被害に対する道の対応
- (2) 士別市におけるトヨタ自動車試験場建設構想に関し、建設予定用地の農地転用手続の状況、農業振興計画の見直し
- (3) 肉用牛の経営に関し、経営規模拡大と農家の経営実態、負債整理対策
- (4) 集送乳の合理化に関し、酪農家の運賃負担の増加と軽減策及び道の指導等について

**本間 喜代人委員（共産）**から、

公社営の畜産建設事業に関し、地元業者への優先発注の状況、入札価格、入植農家の経営実態、実効性のある経営指導の必要性、飼料の自給率向上策等について  
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があって農務部所管に対する質疑を終結。

③ **教育委員会所管に対する質疑**に入り、

分科委員長から、本間喜代人第1分科委員（共産）からの本分科会への出席及び教育委員会所管に対する発言の申し出について、委員の通告質疑終了後これを許可することををはかり、異議なく決定の後、

**渋谷 澄夫委員（社会）**から、

- (1) 教職員の健康管理に関し、教職員の精神障害に係る調査結果、長期欠勤者の補充教員の配置状況、潜在的障害者の把握と検診体制、原因究明及び職場環境の改善、休職者の給与等の取扱い
- (2) 放送大学に関し、設立の経緯、本道での開始時期、通信制・夜間学部を有する大学への影響、大学の設置主体と地方公共団体の負担の有無、教育の統制となる懸念等について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。分科委員長から、本間喜代人第1分科委員（共産）から質疑通告の取り下げがあった旨の報告があって教育委員会所管に対する質疑を終結。

④ 分科委員長から、付託案件に対する審査経過報告について、分科委員長に一任されたい旨をはかり、異議なく決定。

⑤ 分科委員長から、分科会における審査終了

のあいさつがあった。

○10月23日（金） 午前10時22分、第1委員会室において開議、午後1時59分閉会

委員長 工藤万砂美（自民）

① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。

② **知事に対する総括質疑**に入り、

**関根 建二委員（社会）**から、

- (1) 内部障害者更生指導所の移転統廃合に関し、通所制度のあり方に対する基本的な考え方、職員の配置等に対する配慮
- (2) 中央乳児院の移転に関し、移転に伴う乳幼児福祉の低下の懸念と札幌市の要望を尊重する必要性等について

**小田原 要四蔵委員（社会）**から、

電源開発に係る環境影響評価に関し、評価書の提出時期に係る告示と通達のごと及び告示を改正する考え、共和・泊原発の評価書の縦覧手続の中止と評価書の撤回を求める必要性、縦覧手続の瑕疵を理由とする関係住民からの提訴があった場合の対応等について

**渋谷 澄夫委員（社会）**から、

共和・泊原発の安全性確保に関し、地質調査において特定の学者の同行を拒否した理由と原子力基本法の公開の原則との関連、道としての安全性確認の方法等について

**本間 喜代人委員（共産）**から、

北炭夕張新鉱における災害に関し、北炭の保安体制のあり方と今回の事故原因との関係、当面の対策及び深部採掘の技術開発、保安体制の点検を国に要請する必要性、石炭復興公社の検討を要求する考え、石炭の標準価格の設定、適正炭価について法的義務づけに対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があって知事に対する総括質疑を終結。付託案件に対する意見調整のため、午前11時54分休憩、午後1時49分再開。

③ 委員長から、各派代表者会議において付託案件に対する意見調整の結果、議案第1号について意見の一致を見るに至らなかった旨及び吉野之雄委員（社会）ほか10人から修正動

議が提出されている旨報告の後、吉野之雄委員（社会）から趣旨説明があり、質疑並びに討論なしと認め直ちに採決に入り、議案第1号の修正案を問題とし、起立少数（自民、道政反対）をもって否決と決定。次に、議案第1号の修正案に係る原案部分を問題とし、起立採決の結果、起立多数（社会、公明、共産反対）をもって原案のとおり可決と決定。次に、議案第1号の修正案に係る部分を除く原案を問題とし、起立採決の結果、起立多数（共産反対）をもって原案のとおり可決と決定。次いで、吉野之雄委員（社会）から、議案第1号に関し少数意見を留保する旨発言、次に、議案第2号ないし第4号及び第9号ないし第11号を一括問題とし、異議なく原案可決と決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

- ④ 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあった。

## 決算特別委員会

○55年12月17日（水） 午後1時1分、第11委員会室において開議、午後1時9分散会  
委員長 笹浪幸男（自民）

### 正副委員長の互選

- ① 野村権作臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法についてはかり、吉野之雄委員（社会）の動議により指名推選の方法をもって笹浪幸男委員（自民）を委員長に選出。
- ② 委員長から、副委員長互選の方法についてはかり、青山章委員（自民）の動議により指名推選の方法をもって保格博夫委員（社会）を副委員長に選出。
- ③ 本委員会の今後の運営等について協議のため、午後1時6分休憩、午後1時7分再開。休憩中協議の結果、本委員会の運営に当たっては、自民及び社会各2名、道政及び公明各1名、計6名の理事を選び、その協議により行うことをはかり、異議なく決定。理事には、宇川源吉委員（自民）、青山章委員（自民）、吉野之雄委員（社会）、輪島幸雄委員（社会）、伊藤豪委員（道政）及び柳谷正一委員（公明）をそれぞれ選出。なお、共産党については、オブザーバーの扱いとすることとした。
- ④ 委員会の申合せ事項（1.質疑の方法は、通告の形式によることとし、一括してこれを行うこと。ただし、一問一答の形式により行う場合は、その旨を委員長に申し出ること。2.発言の順位は、本会議における一般質問に準ずること。3.委員の交代は、原則として認めないこと。4.資料要求については、あらかじめ理事会において検討し、委員会の決定により行うこと）についてはかり、異議なく決定。
- ⑤ 今後の運営方法及び審査日程等については、理事会において協議、決定することとした。

○12月21日（日） 午前3時46分、第11委員会室

において開議、午前3時54分  
散会

委員長 笹浪 幸男（自民）

- ① 議席についてはかり、異議なく配付の議席表のとおりとすることに決定。
- ② **報告第2号（昭和54年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件）**を議題とし、総務部長から決算の概要について、代表監査委員から決算審査意見についてそれぞれ説明。
- ③ 決算審査に必要な資料についてはかり、異議なく次の28項目を要求することに決定。
  - (1) 行政管理庁の指摘（要望等）事項と措置状況
  - (2) 会計検査院の指摘事項と措置状況
  - (3) 道監査委員の指摘事項と措置状況
  - (4) 団体補助金支給調書（交付金、助成金を含む）
  - (5) 企業誘致にかかる道税の課税免除額調
  - (6) 道立社会福祉施設の利用状況と収容区分調
  - (7) 有価証券、出資金、基金内容調
  - (8) 超過負担調
  - (9) 各種審議会、委員会等の諮問と答申の内容調
  - (10) 不納欠損処分調書
  - (11) 信用保証協会保証実績、代位弁済額及び担保、無担保別調書、徴収不納による欠損（3ヶ年）
  - (12) 庁内所在の外郭団体決算状況調
  - (13) 市町村振興基金及び市町村振興補助金の実績調
  - (14) 道職員、教職員及び警察職員の定員（実人員）調
  - (15) 職員の再就職についての調査
  - (16) 補助事業における国、道、市町村その他負担状況調
  - (17) 社会福祉の施設別国庫補助、国庫負担金の受入状況調
  - (18) 第3セクターの決算調
  - (19) 道警補助金交付団体及び関連団体の決算書
  - (20) 北海道指定文化財整備状況調
  - (21) 調査費（委託によるものも含む）内容調
  - (22) 地方振興奨励費の支庁別市町村別内容調

- (23) 食品衛生強化対策費補助金調
  - (24) 料飲税滞納者に関する滞納処理状況調
  - (25) 昭和54年度派遣職員の状況調査（道以外の公社及び助成している団体）
  - (26) 道職員、教職員及び警察職員による不祥事故一覧
  - (27) 地方事務官制度の内容（部門別人員数、人件費、予算経理の実態）
  - (28) 公用車による事故状況と補償の実態
- ④ 審査日程について、別紙配付のとおり取り進めることに決定。
  - ⑤ 委員長から、付託の報告第1号について、閉会中継続審査の申し出をすることををはかり、異議なく決定。

○56年1月12日（月） 午後2時2分、第1委員会室において開議、午後2時5分散会  
委員長 笹浪幸男（自民）

- ① 委員長から、55年12月21日の委員会決定に基づく要求資料について、本日提出があった旨報告。
- ② 決算審査に必要な資料の追加要求についてはかり、異議なく次の7項目を要求することに決定。
  - (29) 第2種普通財産調及び財産貸付調
  - (30) 行政財産の使用許可調
  - (31) 昭和55年3月31日現在の指定物品調
  - (32) 職員に対する弔慰金品贈与基準と昭和54年度の執行状況
  - (33) 職員の職務専念義務免除調
  - (34) 地公法第22条による臨時職員調
  - (35) 昭和54年度部付職員調
- ③ 1月13日、14日、16日、17日及び19日から21日までの7日間、別紙配付の決算書面審査の方法に基づき書面審査会を開催することとした。
- ④ 書面審査会の運営について、1.書面審査室は第11委員会室に設置し、使用時間は午前10時から午後5時まで、ただし、土曜日は午前10時から正午までとする。2.書面審査の方法は従前の例により、決算法定書類、証拠書類及び委員会要求に係る提出資料の閲覧並びに関係部局からの説明聴取により行い、室外の

持ち出しは禁止する。以上により行うこととした。

において開議、午後4時41分  
散会

委員長 笹浪 幸男（自民）

○1月22日（木） 午後1時32分、第1委員会室  
において開議、午後1時34分  
散会

委員長 笹浪 幸男（自民）

- ① 委員会への出席説明員の範囲について、従来、開催時には出納長、代表監査委員及び各部長が出席していたが、今後、特に議事に関係のある場合を除き、総務部長、出納長、監査委員事務局長とすることとした。
- ② 委員長から、1月12日の委員会決定に基づく要求資料の提出状況について報告。
- ③ 今後の日程について、別紙配付の日程のとおり取り進めることに決定。

○2月13日（金） 午後1時26分、第1委員会室  
において開議、午後1時29分  
散会

委員長 笹浪 幸男（自民）

- ① 委員長から、1月12日の委員会決定に基づく要求資料の未提出分について、本日提出があった旨報告。
- ② 今後の審査日程について、委員長から第1回定例会前に質疑を行うことは困難な状況にある旨報告の後、総務部長から発言があり、本件について別紙配付の審査日程のとおり取り進めることをはかり、異議なく決定。
- ③ 明日14日以降における委員会休会中の書面審査室の閉鎖及び関係備えつけ書類の一時返戻について了承。

○3月28日（土） 午前11時6分、第1委員会室  
において開議、午前11時7分  
散会

委員長 笹浪 幸男（自民）

- ① 55年第4回定例会から継続審査中の報告第2号について、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ④ 4月3日から書面審査室を第11委員会室に設置することを了承。

○4月14日（火） 午前10時20分、第1委員会室

○ 報告第2号を議題とし、総体質疑に入り、  
湯本 芳志委員（社会）から、

(1) 道政執行のあり方に関し、道政執行に対する基本的な取り組み姿勢、各種審議会等諮問機関の実情とその評価及び道政への住民参加との関係、52年度決算の付帯意見に係る改善状況、道民の自治意識の向上に対する施策内容

(2) 道行財政の自主性の確立に関し、道財政の現状と自主財政の確立に対する考え及び国への働きかけ方、国の補助金等に係る行財政の効率化との関係、第17次地方制度調査会の答申に対する見解、地場産業の振興に対する予算措置とその効果、市町村への権限移譲と行政事務再配分の基本的考え方

(3) 行政効果の測定に関し、審議室の効果測定機能と具体的手法、効果判定資料の必要性、予算編成等の関連における今後の取り組み方、監査制度の機能の充実強化に対する所見、企業誘致対策の現状と事後対策の十分性、プロパンガスに係る物価安定融資制度の実績と本州との価格差解消等の効果、沿岸漁業振興対策の効果、職業訓練終了生の動向把握状況と評価、行政効果の把握・検討方、減反と造田事業等に係る農業関係予算の矛盾点、北方農業の確立に向けての予算措置とその成果

(4) 決算収支に関し、多額の不用額発生の原因、福祉・医療に係る予算執行状況と問題点及び今後の取り組み方、超過負担額の増加に対する認識、超過負担の現状と要因及び今後の解消策等について

質疑、意見及び要望があり、知事、総務部長、商工観光部長、審議室長、水産部長、農務部長及び民生部長から答弁。

○4月15日（水） 午後1時13分、第1委員会室  
において開議、午後3時56分  
散会

委員長 笹浪 幸男（自民）

① 総体質疑の続行、

川崎 守委員（共産）から、

- (1) 苫小牧市土地開発公社と日本電建との土地交換に係る問題に関し、51年4定後の経過と道の措置、日本電建の訴訟理由と土地交換契約書第3条との関係、市公社の土地買い戻し及び第三者への売却行為に対する見解、公社業務に係る法解釈、取引価格の妥当性と周辺の地価に及ぼす影響、今回の取引行為と市街化区域の線引き見直しとの関係及び法令違反の場合の措置
- (2) 農業生産法人の許可と農地内の砂利採取許可に関し、農業生産法人の監督体制、農業生産法人地興牧場の営農実態と事業計画との整合性、系列会社地興石産に対する農地使用の許可理由、農業振興との関連における砂利採取計画認可の適否、プラント設置等に係る資金計画のチェックの必要性、(株)地興の倒産に係る関係会社に対する北東公庫の措置及び地興牧場と日本電建との係わり合い、地興牧場所有地の現在の利用状況と今後の取り扱い
- (3) 中小企業対策に関し、本道の建設業の倒産原因、道工事の分離・分割発注に対する取り組み状況、下位ランク業者の受注実績と推移及び受注機会の拡大方、元請業者間の契約の適正化等に対する指導・監督のあり方及び取り組みの強化
- (4) 拓銀の企業への貸付と身障者雇用に関し、拓銀の道内企業に対する貸付率及び道外企業への貸付けに対する見解、道内企業への貸付けに対する道の働きかけ、拓銀の身体障害者雇用率、雇用の拡大に対する道の働きかけの強化について

質疑、意見及び要望があり、知事、住宅都市部長及び農務部長から答弁があって、総体質疑を終結。

○4月16日（木） 午前10時6分、第1委員会室において開議、午後4時23分散会

委員長 笹浪 幸男（自民）

① 労働部所管に対する質疑に入り、

輪島 幸雄委員（社会）から、

- (1) 勤労青少年福祉政策に関し、勤労青少年

福祉法の制定の背景、勤労青少年対策事業の概要、「勤労青少年の日」を7月の第3土曜日とした理由、同法第7条に基づく事業計画策定の必要性と発展計画に組み入れた根拠及び今後の取り組み姿勢、勤労青少年福祉推進者の選任対象事業所数と選任状況及び道の取り組み、推進者の講習会等の実態、開催の方法及び場所の検討方向、対象事業所の範囲の拡大、勤労青少年ホームの地域偏在の解消

- (2) 心身障害者雇用促進策に関し、身障者の職業紹介状況、身障者職業相談員の配置状況と主要都市への配置拡充、職業紹介体制の強化
- (3) 雇用促進住宅に関し、設置の目的と基準、設置場所の選定方法、建設戸数と設置の手順、入居の状況と問題点及び今後の対応について

渋谷 澄夫委員（社会）から、

- (1) 身障者の雇用促進に関し、理容技能等の取得に係る職業訓練の考え方
- (2) 労働行政に関し、54年度の最重点事項と成果、労働者の福祉施設の拡充に対する所見、道施設についての認識
- (3) 労使紛争等の対策に関し、労働問題の相談指導実績とその内容、道労働協会の事業に係る労使関係の近代化、不当労働行為等の問題に対する道の指導実態及び協会の事業との関係、協会の講習会等における受講料徴収の適否、建設業の労働組合の低組織率の原因、札幌のハイ・タク業における組合未組織の原因と不当労働行為の有無及び過去における処理の例
- (4) 職業訓練に関し、自衛隊員の定年前の職業訓練の実態と再就職との係わり、自衛隊以外の訓練実施要請に対する対応とPRの状況、自衛隊独自の訓練実施に対する所見、管理能力向上訓練の目的と対象範囲
- (5) 職業病治療対策に関し、道医師会に対する補助金の目的と内容、振動障害に係る研究成果とその活用方策、専門医療施設の設置の動きと助成の考え
- (6) 失業対策事業における知事贈与金に関し、名称変更の考え、不快用語等との係わり

りについて

川崎 守委員（共産）から、

- (1) 特定不況業種離職者問題に関し、離職者の再就職等の対策の措置状況、公共事業への就労状況と把握のあり方、事業転換等出向給付金及び中高年齢者雇用開発給付金の実績、離職者の就職率、就職者と未就職者の実態調査の結果、不況地域の振興計画の基本方針と雇用との係わり、離職者対策の基本的あり方
- (2) 婦人労働者対策に関し、パートタイマーに関する通達の内容と、周知徹底の有無、パートタイマーの労働条件等の実態と調査、指導の考え方、家内労働者の工賃未払い問題の解決策と道の取り組み方について質疑、意見及び要望があり、労働部長から答弁があって、労働部所管に対する質疑を終結。

○4月21日（火） 午前10時32分、第1委員会室  
において開議、午後4時25分  
散会

委員長 笹浪 幸男（自民）

- ① 審査日程の変更について、4月23日の土木部所管を書面審査会、5月22日の書面審査会を公安委員会所管とし、別紙日程のとおり変更することに異議なく決定。

- ② 林務部所管に対する質疑に入り、

渋谷 澄夫委員（社会）から、

- (1) 造林の推進に関し、54年度の造林実績と前年対比及び樹種別状況、カラマツ造林の減少理由と指導の状況、間伐が励行されない理由と指導のあり方、パルプチップへの利用増大見通し
- (2) 振動障害対策に関し、国庫補助事業におけるチェーンソー作業特別教育の視点とその必要性、振動病に対する安全予防の指導状況、道有林の民営請負作業の点検指導の強化
- (3) 間伐事業に関し、間伐材安定流通促進資金の対象樹種、間伐材安定流通パイロット事業指導促進費補助金の十分性、間伐材流通促進対策事業費補助金の内容、3事業の目的と係わり合い及びその成果
- (4) 国有林における事業に関し、苗畑事業の

縮小による苗木の生産及び緑の造成への影響、地元振興上の支障と営林署の統廃合を含めた国への働きかけ方

- (5) 木材協会の活動に関し、林産業の不況倒産の実態、協会の建議等による効果と国政、道政への反映状況
- (6) 林業の振興に関し、発展計画の目指す方向と進捗の状況、富良野周辺の優良林業地域の育成に対する事業着手の有無、天北・日本海沿岸・根釧の無立木地における造林計画、事業の実施状況とその成果
- (7) 造林作業等に関し、作業現場と作業道の実態、環境への影響の有無と点検指導の強化
- (8) 道森連の運営に関し、監査指摘事項に対する見解と改善指導の状況、道費助成額の増額要求の有無、健全運営に対する指導の強化
- (9) 造林、林道事務の打ち合わせ等に関し、打ち合わせの内容と主な実施場所、復命書等の記載状況と業務内容の明確化について

吉野 之雄委員（社会）から、

- (1) 森林組合の振興対策に関し、森林組合に対する行政指導の実態、経営体質の改善状況、各個別組合の経営実態についての認識と指導の重点、経営不振組合に対する行政指導及び措置の内容と具体的効果、喜茂別、湧別組合の負債等の現状、造林事業等に係る地域の林業振興と組合振興との相互関係及びその進め方、森林の育成及び森林所有者の経営に対する援助制度の重要性、行政改革等に係る国の施策方向と道林務行政上の対応
- (2) 造林事業に関し、造林面積の減少理由と今後の計画、国有林の経営と道の林政との係わり、国有林の不成績造林地の実態、国有林のあるべき姿と森林資源育成のための国への働きかけ、カラマツの生産目的と伐期との関係及び施業のあり方、階層別所有森林の傾向と間伐の状況、森林総合整備事業のメリットとその成果
- (3) 振動病対策に関し、振動障害認定患者の減少傾向と道の認識、認定基準及びその運用実態との関連性、道有林に係る労働

者の認定患者の発生状況とその要因、チェーンソー使用時間の規制等の措置状況とその効果、零細企業等の賃金の支払い形態、出来高払い制による弊害及び事業者に対する指導方策

- (4) 林業労働者退職共済制度に関し、制度の内容、加入の状況と低率の要因、国の新制度発足に伴う道の現行制度の取り扱いとPR等の徹底について

川崎 守委員（共産）から、

- (1) 東洋信販に係わる林地開発行為に関し、許可申請の内容と工事の実態、工期変更の理由と実態の調査方  
(2) 倶知安町における造林地の分譲に関し、転用農地の種類と造林に対する補助金額、該当地の分譲の経緯と違法性、行政措置等の必要性と対処策について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁があって、林務部所管に対する質疑を終結。

○4月22日（水） 午前10時25分、第1委員会室において開議、午後4時13分散会

委員長 笹浪 幸男（自民）

○ 水産部所管に対する質疑に入り、

湯本 芳志委員（社会）から、

漁業の省エネルギー対策に関し、54年度における漁業の省エネルギー対策の実績、漁獲高に応じた歩合給賃金体系と燃油等の節減との関連、全漁連の漁業用燃油の節約要領の評価、燃費節約に対する行政指導の必要性等について

輪島 幸雄委員（社会）から、

- (1) 漁業経営の安定対策等に関し、漁業用燃油の高騰に伴う漁業経営への影響と対策、制度資金の借入れ状況と返還見通し、漁港整備計画の進捗状況

- (2) 研究機関の整備に関し、水産試験場の加工部門の強化と研究成果の普及等について

吉野 之雄委員（社会）から、

岩内湾における海域調査に関し、調査の内容と調査方法、プランクトンの分布と海流との関係、スケトウダラの卵、稚仔魚の生息状況等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長及び同部技監から答弁、輪島幸雄委員（社会）から、答弁のあり方について発言があり、午後4時5分休憩、午後4時12分再開し直ちに散会。

○5月7日（木） 午前10時48分、第1委員会室において開議、午後5時13分散会

委員長 笹浪 幸男（自民）

○ 水産部所管に対する質疑の続行、

水産部長から、4月22日の委員会における吉野之雄委員（社会）の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、

吉野 之雄委員（社会）から、

岩内湾における海域調査に関し、スケトウダラの卵の発生、稚仔魚の成長と水温との関係、プランクトンの分布状況と調査方法、スケトウダラの幼稚仔魚と動物プランクトンとの相関関係、泊村での説明会における温排水による影響に関する説明内容の妥当性、郭賀発電所の事故に対する受けとめ方等について

柳谷 正一委員（公明）から、

- (1) サケ・マス資源の増大に関し、54年度及び55年度の事業実績、放流数の増加と河川環境の改善の必要性、水産ふ化場宗谷支場の事業実績とカラフトマスの増大対策、増幌川の河口閉塞に対する対処策、日本海及びえりも以西海域のサケ・マス資源増大対策、上磯地区の民営ふ化放流施設の整備計画

- (2) 海難防止対策に関し、本道周辺での海難事故の発生状況と事故発生の要因、海中転落等人身事故増加の原因と対策、漁船海難防止センターの役割、紋別沖における海難事故の状況、海難防止の強化策等について

川崎 守委員（共産）から、

漁協の漁業権行使のあり方に関し、美瑛町漁協の区画漁業権行使に係る漁業法違反の事実関係、ほたて貝養殖施設による定置漁業への影響と是正の考え方、ウニの中間育成事業と免許手続の欠如及び漁業法に抵触の有無、今後の指導のあり方等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。

○5月8日(金) 午前11時7分、第1委員会室  
において開議、午後3時57分  
散会

委員長 笹浪 幸男(自民)

① 水産部所管に対する質疑の続行、

水産部長から、昨日の委員会における川崎  
守委員(共産)の質疑に対する答弁の後、  
川崎 守委員(共産)から、

美国町漁協のウニの採苗及び中間育成事業  
に関し、区画漁業権の免許手続の必要性、漁  
業法及び海面漁業調整規則の解釈、定置漁業  
者の操業に対する影響と組合員間の漁業調整  
に対する指導の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁があ  
って、水産部所管に対する質疑を終結。

② 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

湯本 芳志委員(社会)から、

道住宅供給公社の業務に関し、札幌市24軒  
団地の建設計画、集会所の所有権の帰属及び  
管理・運営権に対する見解、契約書の解釈と  
集会所の取扱いに係る譲受人への説明等につ  
いて

質疑及び意見があり、住宅都市部長から答弁。

○5月12日(火) 午前11時17分、第1委員会室  
において開議、午後4時49分  
散会

委員長 笹浪 幸男(自民)

① 住宅都市部所管に対する質疑の続行、

住宅都市部長から、5月8日の委員会にお  
ける湯本芳志委員(社会)の質疑に対する答  
弁の後、  
湯本 芳志委員(社会)から、

(1) 札幌市24軒団地に関し、集会所の建設計  
画の変更と公社法28条との関連、集会所の  
建築価格の積算根拠及び住宅分譲価格への  
算入の妥当性、入居時期による負担の不均  
衡、集会所の取り扱いについて公社を指導  
する必要性

(2) 道住宅供給公社の事業発注に関し、随意  
契約の件数と理由、プレハブ住宅の随意契  
約の内容と中小業者への発注に対する配慮  
の必要性

(3) 道住宅供給公社の保有地の処分見通しに  
関し、広島町南の里の用地取得の目的と処  
分方針、南幌団地の用途指定の状況と交通  
機関の確保策、厚真団地の今後の見通し等  
について

池島 信吉委員(社会)から、

54年度の住宅都市部関係予算の執行に関  
し、特定不況地域における公共事業の執行状  
況、公営住宅の建設戸数の減少と予算編成時  
における判断の可否、中小企業への事業の発  
注実績、道営住宅建設の次年度繰り越しが生  
じた理由、道営住宅の家賃の滞納状況及び空  
き家の解消策、湖沼の水質悪化と下水道整備  
事業の推進策等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁。

○5月13日(水) 午前10時37分、第1委員会室  
において開議、午後4時32分  
散会

委員長 笹浪 幸男(自民)

① 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

川崎 守委員(共産)から、

建築工事の監理委託に関し、工事の委託業  
務の内容、北海道設計監理株式会社への委託  
件数、道の監督業務の内容、工事状況報告書  
の保存期間、星置養護学校の配管ピットの浸  
水原因と竣工検査の十分性、竣工時に排水ポ  
ンプを設置しなかった理由等について

質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長から答弁があ  
って住宅都市部所管に対する質疑を終結。

② 土木部所管に対する質疑に入り、

吉野 之雄委員(社会)から、

道路、河川敷地の権利移転等に係る事務処  
理に関し、未処理用地の状況と今後の処理計  
画、54年度の処理実績、調査費の増額及び積  
極的な取り組みの必要性等について

湯本 芳志委員(社会)から、

車両の運行等に関し、スノーローダー・バ  
ス等の供用実績が少ない理由、不用車両の処  
分の必要性、一般職員の公用車運行の状況と  
交通違反歴等の把握の必要性、高齢者の運送  
業務に係る配慮、運転技術員に対する適正検  
査実施の考え等について

輪島 幸雄委員(社会)から、

丸瀬布町における河川敷地払い下げに関し、町への売払い処分の経過、払い下げを受けた土地の使用目的と町が第三者に転売したことに対する見解、町が買い戻した理由と価格の妥当性、近隣の地価上昇への影響等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁。

○5月14日(木) 午前10時47分、第1委員会室において開議、午後3時14分散会

委員長 笹浪 幸男(自民)

① 委員長から、土木部所管に対する質疑について理事会で協議の結果、質疑を終結とする扱いとした旨を述べ、土木部所管に対する質疑を終結。理事者交代のため、午前10時48分休憩、午前10時54分再開。

② 生活環境部所管に対する質疑に入り、  
吉野 之雄委員(社会)から、

北海道新生活運動協会に関し、新生活運動に対する認識、協会の構成及び支庁地区委員会の成り立ち、法人化前後における構成上の変化、社団法人における任意団体の社員資格取得に対する疑問、協会と支庁地区委員会との関係、新生活運動と行政とのかかわり合い、支庁地区委員会の事務執行体制、新生活運動の効果に対する見解、事業の見直しに対する見解、個人構成員の拡大による体質改善の必要性、省資源・省エネルギー運動についての見解について

池島 信吉委員(社会)から、

公害対策に関し、公害の監視についての基本的態度、公害監視委員の仕組み及び活動状況、各市町村と道の公害行政との関係、市町村との連携強化の具体策、水質検査に係る立入検査の仕組み、立入検査に当たっての通告の必要性、排水不適合の実態についての所見、道の立入検査体制の湖沼の水質保全に対する認識、湖沼の水質汚濁に対する抜本等の検討、大沼の水草等の除去についての現地要望に対する道の対応姿勢、水草の繁茂現象解明の必要性、地熱開発と自然環境への影響についての所見、地熱開発についての全庁的取り組みの必要性について

質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁が  
あって、生活環境部所管に対する質疑を終結。

○5月15日(金) 午前10時17分、第1委員会室において開議、午後3時54分散会

委員長 笹浪 幸男(自民)

○ 商工観光部所管に対する質疑に入り、  
輪島 幸雄委員(社会)から、

大型店進出対策に関し、大型店進出の現況と特別資金融資の状況、進出に伴う小売・卸売業者への影響と対処策、商業近代化計画に基づく実施計画の策定状況と実効性、進出に対する規制についての考え、団地造成に伴う支持人口の変化と対応策、再開発ビル等のテナントとして入居する場合の特別資金融資についての考え、第2種大型店調整指針策定の作業経過と時期について

保格 博夫委員(社会)から、

英会話教材の訪問販売に関し、訪問販売における苦情の実態及び未成年者の関与件数、トラブルの特徴的な問題点、販売方法の法的根拠、C&S社系列の会社設立及び営業方法の実態、契約勧誘方法についての考え方について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

○5月19日(火) 午前10時34分、第1委員会室において開議、午後4時50分散会

委員長 笹浪 幸男(自民)

① 商工観光部所管に対する質疑の続行、

商工観光部長から、5月15日の委員会における保格博夫委員(社会)の質疑に対する補足答弁の後、引き続き、  
保格 博夫委員(社会)から、

英会話教材の訪問販売に関し、C&S社の契約勧誘方法の妥当性と不当景品類及び不当表示防止法に抵触する疑い、契約の効力に対する見解、消費者保護の立場にたった苦情処理及び行政指導の必要性等について

湯本 芳志委員(社会)から、

(1) 工鉱業開発促進事業に関し、工鉱業開発促進条例に基づく助成実績と少ない理由、

- 助成制度の期間延長と内容の再検討の考え
- (2) 企業誘致促進事業に関し、企業誘致推進会議の内容、企業誘致専門員及び協力員の報酬を増額する必要性、工業団地の未売却用地の状況と企業誘致の方針、企業誘致に対する本道の下請企業等の対応状況
  - (3) 地場製品開発促進事業に関し、事業の成果、企業に直接職員を派遣して成果を把握する必要性、補助金の交付を単年度に限定する理由と妥当性
  - (4) 工業技術修得事業に関し、本事業を55年度で廃止した理由、技術アドバイザー制度との効果面での比較
  - (5) 工業開発のあり方に関し、工業立地の進め方と重点的な企業誘致の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁があつて商工観光部所管に対する質疑を終結。

② 農務部所管に対する質疑に入り、

渋谷 澄夫委員（社会）から、

農業施策の推進に関し、54年度の農政の主要課題と重点施策、米の輸入外圧に対する対処策、農業後継者の具体的育成策、酪農振興対策費等に不用額が生じた理由、FRPサイロの事故と行政指導、土壌改良等に係る研究成果、畜産基地に係る生産物の流通状況と販路拡大策、食肉センターの統合に伴う生産者の負担増、薬用作物の試験研究と作付指導、農作物の加工に対する試験研究の取り組み、道産米の貯蔵条件と食味試験、農薬の人体影響についての研究の必要性等について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

○ 5月20日（水） 午前10時26分、第1委員会室において開議、午後5時17分散会

委員長 笹浪 幸男（自民）

○ 農務部所管に対する質疑の続行、

渋谷 澄夫委員（社会）から、

農村の工業導入に関し、農村地域工業導入促進法に基づく基本計画策定の目的、本計画に基づく実績、工業導入の利用面積不振の原因及び計画取り消しの手続、3町における計画取り消しの理由、計画に基づき導入が成功

している事例及び最高利用面積、利用土地の農地と非農地の割合、未利用農地の実態と利用についての考え方、導入企業の道内外別及び業種態様、導入企業の実態からみた基本的形態についての所見、地場資源型工業導入の促進の必要性、工業導入に当たっての道の取り組み、誘致事業における雇用の状況、農業者の雇用状況が低い理由と基本計画との整合性、農業者の就労促進についての道の取り組みについて

吉野 之雄委員（社会）から、

農務行政の効果に関し、54年度事業の課別施策の実績と評価、転作の状況についての評価、53年度から55年度の道内で消費された道産米の比率、道産米の品質の推移、果樹共済の加入状況の推移、耕地拡張と填廃の実態に対する考え、54年度の実勢からみた発展計画との関連、水田の基盤整備の状況を転作面積の配分等に配慮することについての考え、発展計画の見直しについての考え、発展計画上の農家戸数と現況についての所見、農業改良普及所の役割及び普及員の責務、現状の普及体制の評価、道内普及所の活動実態と望ましい方式についての考え、広域化への取り組みの経過、教育的意味合いの濃い普及活動の必要性、普及事業における車両の効率化と指導時間の関連性、普及員の専門分野別人数と理想バランス、普及員採用に当たっての考え方、普及員の活動上の制約及び研修時間の実態についての所見について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

○ 5月21日（木） 午前10時12分、第1委員会室において開議、午後4時18分散会

委員長 笹浪 幸男（自民）

① 農務部所管に対する質疑の続行、

吉野 之雄委員（社会）から、

バレイシヨのシスト線虫対策に関し、シスト線虫の本道への進入原因、輸入肥料の防疫検査の有無、発生状況と調査の実態、蔓延防止、防除対策等に対する道の取り組み、現在までの対策による効果、真狩の農林水産省原原種農場の移転等の可能性、道の原種農場

における対策について

**川崎 守委員（共産）**から、

(1) 八雲町における酪農近代化団地育成事業等に関し、哺育牛舎の道単助成モデル事業の目的、利用率低下の理由と事業の評価及び今後の見通し、受益農家の乳牛飼養頭数、酪農近代化団地育成事業による哺育施設等の設置経過とその実態、農協の経費負担増に対する見解と補助の内容、施設を売却する場合の補助金の取り扱い、当初目的と異なる形での施設利用に対する見解及び手続きの要否、肉用牛の貸し付け制度の要件と助成措置の有無及び制度導入の是非、八雲地域の振興についての考え方

(2) 大野町における肉用牛生産振興計画等に関し、当初計画変更時点の情勢、国営草地事業等の地元負担増高に伴う措置、肉用牛の飼養・放牧実績と計画目標及びその達成見通し、計画に対する投書の内容と道の見解、越冬施設の利用計画と預託の見通し、今後の事業の進め方

(3) 共和・泊原発予定跡地問題に関し、後志支庁の北電に対する勧告文書の内容と農地法違反の有無、是正勧告の趣旨と当否 当該農地の地権者数と転出状況、農地転用申請取り下げ後の土地利用状況及び農業振興地域の適用との係わり、北電の責任と道の指導方針について

質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁があって、農務部所管に対する質疑を終結。

② **農地開発部所管に対する質疑**に入り、

**渋谷 澄夫委員（社会）**から、

(1) 農地開発行政のあり方に関し、農業情勢の現況と道農地開発行政上の対応、農業基盤整備事業の事業費増加要因と地元負担の増高に対する見解及び道の対処方針、受益者負担の軽減策、受益者からの事業に対する意見等の有無、事業推進に当たっての配慮方

(2) 農地開発事業に関し、54年度における進捗状況、団体営農地開発事業の全体実施設計の廃止理由、農林地一体開発整備パイロット事業との関係、農地開発面積の賦存量と確保見通し

(3) 国営土地改良事業に関し、温根別地区における経過と現状、ダム等についての地元負担増に対する認識と今後の事業の進め方、受益者負担軽減に対する措置と国への働きかけ方について

**川崎 守委員（共産）**から、

知内町森中地区構造改善事業に係る境界紛争に関し、計画変更の概要、境界紛争の経過と道の見解、土地改良区の測量士補の測量に基づく工事実施設計書作製の可否、測量士補の登録内容等について

質疑があり、農地開発部長から答弁。

○5月22日（金） 午前10時36分、第1委員会室において開議、午後3時54分散会

委員長 笹浪 幸男（自民）

① **農地開発部所管に対する質疑**の続行、

農地開発部長から、昨日の川崎守委員（共産）の質疑に対する答弁の後、  
**川崎 守委員（共産）**から、

知内町森中地区構造改善事業に係る境界紛争に関し、土地改良区職員の測量に係る資格上の問題点、紛争に至る経過、改良区による該当地の分筆登記の経緯とその合法性、紛争解決に対する渡島支庁の指導の十分性と今後の道の対処姿勢について

質疑、意見及び要望があり、農地開発部長から答弁があって、農地開発部所管に対する質疑を終結。

② **民生部所管に対する質疑**に入り、

**輪島 幸雄委員（社会）**から、

(1) 特別生活資金貸付事業に関し、貸付対象と実績、金利と事務費補助額、貸付に対する償還率と当初予定との差異の有無、未償還額・金利・事務費の合計額と対象世帯へ配分した場合の支給額、貸付制度の結果についての受け止め方、福祉灯油制度との比較における見解

(2) 公共施設等における身体障害者用設備に関し、実態の把握及び関係機関に対する設置要請の有無、道施設における実情及び今後の対処策について

**渋谷 澄夫委員（社会）**から、

(1) 老人医療費等の不用額に関し、不用額の

- 内容と発生原因、年度途中の条件緩和措置等による対象拡大の必要性、関係予算の推移と不用額発生との係わり及び今後の措置
- (2) 精神障害者の社会復帰対策に関し、衛生部の取り組み体制と民生部としての考え方
  - (3) 学童・生徒のボランティア育成事業に関し、事業の趣旨と仕組み、対象校が少ないことに対する見解及び今後のあり方
  - (4) 戦跡地での慰霊墓参に関し、サハリン墓参個所の拡大についてソ連への要請の有無と今後の対応、サハリン以外の墓参地域拡大に対する考え、参加人数が少ない理由と希望者に対する配慮方
  - (5) 盲導犬に関し、札幌盲導犬協会に対する道費助成額、協会の決算収支状況と補助金の増額に対する見解、盲導犬の希望者把握の必要性とPRのあり方、盲導犬の飼育・養成費用と今後の補助の考え方について

川崎 守委員（共産）から、

生活保護世帯に係る人工透析に関し、医療扶助適用の有無、通院費・道外病院へ行く場合の旅費・付添看護料等についての取り扱い、市町村に対する指導の徹底方について質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁があって、民生部所管に対する質疑を終結。

- 5月25日（月） 午後1時8分、第1委員会室において開議、午後4時31分散会  
委員長 笹浪 幸男（自民）

○ 衛生部所管に対する質疑に入り、

輪島 幸雄委員（社会）から、

医療問題に関し、本道医療界の特徴的問題点、保健衛生の地域格差が際立っている実態についての所見、無医地区における保健所・地域センター病院の巡回診療の実績、受診率の地域格差の原因、地域差と医師の配置との関連、受診率の目標数値の設定についての考え、医学・歯学修学資金制度の目的と内容、本制度の実績に対する認識、大学別の貸付及び勤務実績、今後における制度定着化に対する考え、保健婦・助産婦の就業の実態と確保についての対応策、保健婦・助産婦の地域格差是正についての考え、道立診療所の運営数

と所長の欠員状況、所長の平均年齢・患者数の現況、主たる医療機器の整備状況、医師・医療器の現況からみた診療所機能への危惧、保健所における身障者用施設の整備に対する考え等について

池島 信吉委員（社会）から、

- (1) 衛生部に係る不用額に関し、54年度決算で不用額を生じた理由、結核患者の動向と予算編成との関連、結核医療費の予算執行計画と不用額との関連、精神衛生対策の重要施策の経過
- (2) 精神障害者対策に関し、精神障害者の実態、非入・通院患者に対する保健所の対応、超過収容の実態に対する見解と具体策、アルコール中毒患者の増加傾向への対応策、精神障害者の社会復帰対策の経過、精神衛生センターの現況及び拡充強化への取り組み、大企業への就労の場確保対策の必要性
- (3) エヒノコックス症対策に関し、エヒノコックス症の汚染地域における飲料水対策、媒介動物対策への取り組み等について質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁があって、衛生部所管に対する質疑を終結。

- 5月26日（火） 午前10時41分、第1委員会室において開議、午後4時19分散会  
委員長 笹浪 幸男（自民）

○ 開発調整部所管に対する質疑に入り、

吉野 之雄委員（社会）から、

- (1) 所管事業の行政効果に関し、54年度の事業実績、行政効果についての評価と認識
- (2) 発展計画に関し、全体の進捗状況と現実との調整についての認識、エネルギー当初見込消費量の変化に伴う原子力の必要性、エネルギー収支面での原子力の代替性、総合調整機能の発揮
- (3) 総合交通体系に関し、基本的な考え方、国鉄の輸送量低下の要因と他の輸送機関等の整備との因果関係、機能分担についての考え方と総合交通体系の将来計画の必要性、地方の交通条件の現状と整備に対する考え方、財政的理由による国鉄ローカル線

の廃止の適否、国鉄の特長と新幹線等に係る完成後の活用に対する見解、鉄道と道路に係る国の財源投資の比較、輸送コスト等への影響と見直しの必要性等について

**池島 信吉委員（社会）**から、

- (1) 北方圏交流に関し、基本的考え方、北方圏センターの事業活動と運営実態及び道の係わり、センターの主体性と道との役割分担、交流基金の実態と今後の運用方策、センターの54年度収支決算と予算執行についての見解、監査の実施状況、第2回環境会議のエドモントン宣言に基づく環境保全の施策の有無と今後の取り組み、第3回会議の実施方向、ソ連との交流の必要性と進め方、都市交流に対する道の対応、航路・空路の設定と定期化についての所見と努力方
- (2) サハリン天然ガス導入計画に関し、パイプラインによる導入に対する考え方、調査委託費の予算計上との関係、発展計画における位置づけ、導入計画の調査・検討の促進について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長から答弁があって、開発調整部所管に対する質疑を終結。

○5月29日（金） 午前10時37分、第1委員会室において開議、午後5時7分散会  
委員長 笹浪 幸男（自民）

○ 公安委員会所管に対する質疑に入り、

**吉野 之雄委員（社会）**から、

- (1) 職員公宅に関し、公宅の戸数と広さの実態、居住条件の改善策、公宅建設及び持ち家政策に対する考え方
- (2) 少年の非行に関し、最近の少年非行の実態、少年非行に係る検挙・補導数と地域的分析、たまり場の解消と環境浄化の推進策、少年の覚せい剤事犯の増加原因等について

**湯本 芳志委員（社会）**から、

- (1) 職員の健康診断に関し、定期健康検診及び成人病検診の対象人員と受診率、第2次検診の未受診者に対する措置
- (2) 重要未解決事件に関し、捜査本部解散後の捜査体制、道警爆破事件の捜査状況

(3) 拾得金の取扱いに関し、拾得金の性格及び保管方法、地方自治法を適用していない理由と妥当性、預託金融機関の再検討の考え

(4) 道警の保有車両に関し、オートマチック車の保有台数、オートマチック車の安全性及び事故率が低いことのデータとパトカーに採用する考え

(5) 札幌運転免許試験場の移転に関し、周辺の食堂等の営業業者に対する説明と今後の対応

(6) 身体障害者用の施設整備に関し、警察庁舎等における身障者用の施設の整備状況と今後の整備の考え方等について

**川崎 守委員（共産）**から、

サラ金問題に関し、サラ金問題についての道民からの相談件数と具体的事例、サラ金の取り立ての実態と犯罪成立の有無、暴力団の介入等と道警の対処状況等について

質疑、意見及び要望があり、警察本部長、総務部長、警務部長、防犯部長、刑事部長、警備部長及び交通部長から答弁があって、公安委員会所管に対する質疑を終結。

○6月4日（木） 午前11時5分、第1委員会室において開議、午後4時44分散会  
委員長 笹浪 幸男（自民）

○ 教育委員会所管に対する質疑に入り、

**輪島 幸雄委員（社会）**から、

(1) 教職員公宅に関し、公宅の構造別現状、木造公宅の耐用年数、昭和20年度前建築公宅の地域別内訳及び共用状況、木造公宅の防寒上の整備の必要性

(2) 教材等の購入に関し、道産品購入についての取り組み、道産品購入の実績、道産品購入についての積極的指導の必要性、購入時にJIS規格への上乗せ仕様の検討方、製品別修繕費の多寡、新設校における購入方法

(3) 学校図書に関し、学校図書館法施行令に基づいた整備実績、図書購入予算措置の根拠、図書更新率の根拠とPTA負担についての考え、新刊本購入の基準等についての

考え

- (4) クラブ活動室に関し、部室の実態把握の必要性等について

**吉野 之雄委員（社会）**から、

- (1) 学校給食に関し、北海道学校給食会の設立からの経過、給食会設立時の資産、設立時における財団法人認可の基準基本財産、給食会の構成、給食会に対する道の融資と寄附行為規定との関連、給食会と道教委との関係、国に対し道産米を給食用に使用拡大することを要望してきた経過、給食対象の道産米の種類・等級、給食用米飯の評価、給食会に対する道教委の指導の十分性、給食用物資の内訳、文部省の物資の産地直接取引等の推進に関する通達と本道の取り組み、給食用米の品質確認の実態と指導監督のあり方
- (2) 市町村立高校の道立移管に関し、37年以降の道立移管高校数、全国対比でみた道内市町村立高校の実態、高校教育を受け持つべき自治体についての考え、道立移管基準以下の高校の現況、道立移管のため学校整備に要する市町村負担についての考え、今後における道立移管のあり方について

質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。

○6月5日（金） 午前10時25分、第1委員会室において開議、午後4時47分散会、委員長事故のため、副委員長 保格 博夫（社会）

○ **教育委員会所管に対する質疑**の続行、

**渋谷 澄夫委員（社会）**から、

- (1) 児童生徒の健康問題に関し、脊柱側弯症及び骨折の状況、原因究明の有無と調査研究予算の拡充及び今後の取り組み姿勢、内臓疾患の実態把握と対処策
- (2) 学校給食に関し、学校給食の形態と現状、未実施市町村等の実態とその原因、地元関係者の考え方に対する見解と対応のあり方、パック食品等の検査の必要性、学校給食の今後の推進方策
- (3) 公立高校入学選抜改善案に関し、改善案の経過と入選協答申との関係、試案発表後の意見を聞く会の開催状況、関係者の意

見の受け止め方と改善に対する基本的考え方

- (4) 道徳教育と非行防止に関し、道徳教育の実態、非行増加との関連における問題点の有無及び今後のあり方
- (5) 教職員の健康問題に関し、健康診断及び第2次検査結果による要軽業の判定を受けた者の実態、軽業についての指導内容、要軽業者の不安解消と病氣治療に専念できる体制の必要性、代替教員の配置等具体的措置の考え
- (6) 学校プールに係わる諸問題に関し、設置及び普及の状況、水泳指導の年間授業時数とその実態、プールの整備とプール以外の希望施設の整備との関係、教員採用試験の水泳実技検査の問題点、学校プール及び教育系大学のプール設置状況との関係、学校プールの整備促進に対する考え方
- (7) 家庭教育相談事業に関し、事業の内容と利用状況、巡回相談の参加者制限の有無、はがき相談の返信の状況と成果の有無、テレビ相談の再放送の状況、相談員の増員、対象の拡大についての見解と今後の事業のあり方
- (8) 旧釧路第一高等学校の取得に関し、同校の廃校から買収、道立高校設立に至る経過と因果関係の有無、釧路市が振興公社から買収した目的、買収価格の算定方法と内訳及び固定資産税等について算入の有無、公社から道の直接買収に至らなかった理由、道が釧路市から買収した価格の妥当性と鑑定価格に対する見解等について

**川崎 守委員（共産）**から、

- (1) へき地児童生徒巡回健康診断事業に関し、事業の目的と内容、巡回実施希望状況と実施の状況、実施回数が少ないことの原因と希望を満たすための方策、事業の成果と巡回診療後の措置、へき地医療問題との関連における事後対策の拡充強化
- (2) 高等学校授業料に関し、減免の状況とPRに対する見解、減免基準の緩和措置等による対象拡大の必要性
- (3) 学校安全会の掛金に関し、特殊学校児童生徒の父兄負担免除の必要性、全額公費負

担に対する見解等について  
質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁があっ  
て、教育委員会所管に対する質疑を終結。

○6月8日(月) 午前11時20分、第1委員会室  
において開議、午後5時41分  
散会

委員長 笹浪 幸男(自民)

○ 総務部所管に対する質疑に入り、

渋谷 澄夫委員(社会)から、

(1) 遭難者の救助活動経費に関し、山菜取り  
に係る遭難者の救助活動等の経費負担の実  
態と市町村への補助の必要性

(2) 有珠山噴火災害対策に関し、有珠山の火  
山活動の現況、執行中の災害対策事業の内  
容と執行体制、今後の十分な防災体制の必  
要性

(3) 道職員の健康管理に関し、職員の病欠の  
状況と疾患別内訳、有給休暇の消化状況と  
年次休暇に対する基本的な考え方

(4) 専修学校等に関し、中央工学院の学科別  
生徒数と就職状況、退学者の状況と入学案  
内における国家試験取得に係る表現との関  
連、学科増設に対する行政指導、釧路第一  
高校廃校と用地買収に係る約束の有無等  
について

湯本 芳志委員(社会)から、

日高支庁職員に係る不祥事件に関し、事実経過  
と道の処分内容、不祥事についての公表の考  
え方と議会への対応のあり方等について  
質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。

○6月9日(火) 午後3時48分、第1委員会室  
において開議、午後3時49分  
散会

委員長 笹浪 幸男(自民)

○ 審査日程の変更について、明6月10日から  
13日まで書面審査会を行うことをはかり、異  
議なく決定。

○6月15日(月) 午前11時40分、第1委員会室  
において開議、午後5時55分  
散会

委員長 笹浪 幸男(自民)

① 総務部所管に対する質疑の続行、

湯本 芳志委員(社会)から、

日高支庁職員に係る不祥事件に関し、先の  
知事記者会見で陳謝した理由、53~55年度に  
おける道職員の不祥事件に係る資料の提出  
方、懲戒処分の公表の基準についての考え、  
今後における公表についての考え及び管理監  
督者の不祥事件の公表の必要性、処分に至る  
までの事実関係、職務関係と指示についての  
見解について

質疑及び意見があり、総務部長から答弁の後、湯本芳  
志委員(社会)から本件に関する資料の確認について  
措置要求があつて、議事進行の都合により、午後4時  
31分休憩、午後5時54分再開。委員長から休憩前の湯  
本委員の措置要求に係わるその後の経過について説明  
並びに事実等の確認に時間を要する旨発言。

② 審査日程の変更について、明6月16日から  
18日まで書面審査会を行うことをはかり、異  
議なく決定。

○6月19日(金) 午前11時2分、第1委員会室  
において開議、午後4時55分  
散会

委員長 笹浪 幸男(自民)

○ 総務部所管に対する質疑の続行、

委員長から、前回の委員会で問題となつて  
いた資料は、弁明書の写しであることが確認  
された旨を報告の後、

湯本 芳志委員(社会)から、

日高支庁職員に係る不祥事件に関し、職員  
の公私混同に対する所見、不十分な事実調査  
に基づく懲戒処分の妥当性、事件を知ってか  
ら処分決定に至るまでの手続とその経過、定  
期の人事異動まで支庁長の職に置いていた理  
由、賞罰委員会の性格、目的、任務とその構  
成、昭和53年から55年までの委員会の開催回  
数、持廻りによる処分決定の理由と前例の有  
無及びその妥当性、進退伺いの取り扱い、人  
事課担当職員と関係職員の本委員会への出席  
方等について

質疑、意見及び措置要求があり、総務部長から答弁の  
後、議事進行の都合により、午後4時48分休憩、午後  
4時54分再開し直ちに散会。

○7月16日(木) 午後6時36分、第1委員会室  
において開議、午後6時38分  
散会

委員長 笹浪 幸男(自民)

- ① 委員長から、さきの委員会における湯本芳志委員(社会)の措置要求の件について、理事会協議の結果、保留の上、議事を進めることに決定した旨報告。
- ② 報告第2号について、閉会中継続審査の申し出をすることをはかり、異議なく決定。
- ③ 今後の審査日程について、別紙配付日程のとおり取り進めることに決定の後、書面審査室を第11委員会に設置することを了承。

○7月27日(月) 午前10時55分、第1委員会室  
において開議、午後2時29分  
散会

委員長 笹浪 幸男(自民)

- 総務部所管に対する質疑の続行、  
湯本 芳志委員(社会)から、
- (1) 道の所有する不動産の登記に関し、道有財産が未登記となっている理由、今後登記する考え方
  - (2) 広報誌「ほっかいどう」に関し、道議会の活動について掲載を検討する考え、千歳空港国際化に関する記事内容の妥当性等について

川崎 守委員(共産)から、

- (1) 市町村に対する行政指導に関し、瀬棚町における歳入歳出外現金の取扱いの妥当性と道の指導内容、国道の拡幅に係る移転補償費支出後に建物が移転していないことに対する見解
- (2) 道職員の不祥事件に関し、不祥事の増加傾向と再発防止のための措置、通達の実効性と内部告発体制の導入に対する見解等について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁があって、総務部所管に対する質疑を終結。

○7月28日(火) 午前10時35分、第1委員会室  
において開議、午前11時8分  
散会

委員長 笹浪 幸男(自民)

○ 知事に対する総括質疑に入り、

湯本 芳志委員(社会)から、

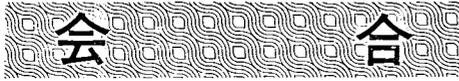
工業費に関し、本道の工業の高度化に対する行政の役割、工業開発振興費の増額の必要性と地場製品開発促進事業の単年度補助を再検討する考え、企業誘致に係わる予算の増額についての検討方等について

質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があって、知事に対する総括質疑を終結。

○7月31日(水) 午前10時41分、第1委員会室  
において開議、午前10時43分  
散会

委員長 笹浪 幸男(自民)

- ① 委員長から、各派代表者会議における付託案件に対する意見調整の結果、意見の一致をみるに至らなかった旨報告。
- ② 報告第2号(昭和54年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件)を議題とし、討論なしと認め、直ちに採決に入り、起立採決の結果、起立多数(共産反対)をもって意見を付し認定議決と決定。付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。
- ③ 委員長から、付託案件に対する審査終了のあいさつがあった。



## 全国都道府県議会議長会

○10月22日(木) 都道府県会館において役員会を開催。会長(広島県議長)のあいさつ及び第78回定例総会開催地(栃木県)副議長のあいさつに引き続き、協議に入り、まず、欠員中の副会長の選任方法について決定の後、第78回定例総会の提出議案について、各委員長報告のとおり決定し、行政改革の推進に関する決議案ほか1件を役員会提出議案として決定。次に、第78回定例総会の日程及び議事運営について、決定又は了承の後、定例総会議決事項の要望運動方法を決定し、第80回定例総会の開催地については、九州ブロック(佐賀県)とすることとした。次に、昭和57年度本会予算の大綱案及び明年度海外視察について、原案のとおりそれぞれ決定の後、閉会した。

○11月5日(木) 栃木県藤原町において役員会を開催。会長(広島県議長)及び地元議長のあいさつの後、協議に入り、定例総会の議事順序、日程及び議決事項の処理等について、それぞれ了承して、閉会した。

○11月5日(木) 栃木県藤原町において第78回定例総会を開催。地元栃木県議長、会長(広島県議長)、栃木県知事及び藤原町長のあいさつに引き続き、内閣総理大臣のメッセージ、自治大臣代理の祝辞及び衆参両院議長の祝電披露の後、自治功労者の表彰を行い、次に、国民体育大会開催県議長及び60年国際科学技術博覧会開催県議長のあいさつ、ついで、正副議長選挙の後、議事に入り、副会長の補欠選任について、茨城県議長及び香川県議長を選任決定した。次に、昭和55年度会務及び会計報告、会計監査報告を承認し、ついで、役員会提出の「行政改革の推進に関する決議」、「地方財政の確立に関する決議」を原案のとおり決定の後、各委員長から委員会における提出議案の審議経過と結果について報告の後、いずれも原案のとおり決定し、第80回定例総会開催地を九州ブロックに決

定して、閉会した。

### 地方制度委員会関係

- 1 行政改革の推進について
- 2 地方財政の充実強化について
- 3 青少年の健全育成対策について
- 4 同和対策の充実強化について
- 5 通り魔的犯罪の防止について
- 6 旧軍人・軍属等に対する恩給等の改善について
- 7 北方領土の早期返還について

### 社会文教委員会関係

- 1 高齢化社会に対応する諸施策の推進について
- 2 障害者施策の拡充強化について
- 3 自治体病院の経営健全化対策について
- 4 保育行政の充実強化について
- 5 富栄養化対策の推進について
- 6 高等学校の新增設に対する国庫補助制度の拡充強化について

### 商工労働委員会関係

- 1 中小企業対策の強化について
- 2 エネルギー対策の推進について
- 3 休廃止鉱山の鉱害防止対策について
- 4 国民生活の安定対策について
- 5 雇用対策の推進について

### 建設運輸委員会関係

- 1 住宅対策の推進について
- 2 道路整備の促進について
- 3 下水道整備の促進について
- 4 都市公園等の整備促進について
- 5 治水事業等の推進について
- 6 地域振興対策の推進について
- 7 震災対策の推進について
- 8 鉄道輸送網の整備と輸送力の強化について
- 9 国鉄地方交通線対策について
- 10 地方空港の整備促進について
- 11 港湾整備事業の促進について

### 農林水産委員会関係

- 1 食糧自給力の強化並びに農業基本政策の確立について
- 2 水田利用再編第2期対策について
- 3 果樹、野菜等の振興対策について
- 4 畜産振興対策について

- 5 林業振興対策について
- 6 松くい虫防除対策の拡充強化について
- 7 漁業振興対策について

### 都道府県議会議員共済会

○10月22日（木） 全議会議室において理事会を開催。会長（広島県議長）のあいさつに引き続き、協議に入り、全議事務総長から、昭和57年度事業計画及び予算案について説明の後、異議なく原案のとおり承認し、閉会した。

○11月5日（木） 栃木県藤原町において理事会を開催。会長（広島県議長）のあいさつの後、副会長の互選について協議を行い、閉会した。

### 10都道府県議会議長会（第125回）

○11月19日（木） 静岡県熱海市において開催。地元静岡県議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選出し、議事に入り、福岡県議長から、前回議決事項の処理報告の後、次の事項について協議、決定した。ついで、次回開催地を東京都に決定の後、全議事務総長から、国民健康保険給付費、児童扶養手当等の負担のあり方等について説明があって、閉会した。

- 1 聴覚言語障害者対策の推進について
- 2 南関東及び東海地域における地震対策の拡充強化について
- 3 行政改革について
- 4 中小企業振興対策について
- 5 市街化区域内農地に係る宅地並み課税について
- 6 農地の固定資産税について
- 7 農地に対する固定資産税の据え置きと都市農業の確立について
- 8 私学助成の拡充について





昭和56年10月21日 北海道議会開設80年記念式

永年勤続議員表彰記念

〔知事、正・副議長及び各派会長を囲んで〕於「札幌フリンズホテル」

### 永年勤続受彰者名 (在職10年以上、敬称略)

村 上 肇	明 (自 民)	山 家 勇	(社 会)
小 沢 栄	吉 (自 民)	石 川 十四夫	(道 政)
池 島 信	吉 (社 会)	工 藤 万砂美	(自 民)
星 野 健	三 (社 会)	吉 田 政 一	(自 民)
大 平 秀	雄 (自 民)	小 笠 原 孝	(自 民)
川 崎 守	(共 産)	小 野 秀 夫	(道 政)
藤 井 猛	(自 民)	武 部 勤	(自 民)
藤 井 虎	雄 (社 会)	若 狭 靖	(自 民)
本 間 喜代夫	(共 産)	故 伊 藤 知 則	(自 民)
中 田 繁	夫 (社 会)		

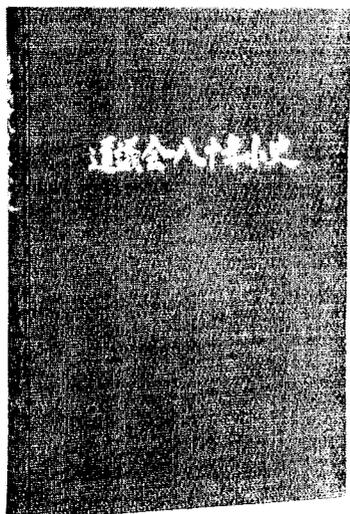
北海道議会開設80年記念式典



式辞を述べる松浦議長



祝賀会風景



記念行事の一環として発刊した「道議会80年小史」

# 北海道議会開設80年記念式典

北海道議会は、開設にむけてほぼ10年間にわたる関係者の献身的な努力が実り、明治34年「北海道会法」発布とともに、北海道自治の公的な民意主張の場として発足し、同年10月21日に第1回臨時会が開会され、本年で80周年を迎えた。

本道の開発は、明治初頭開拓使によって本格的に着手されて以来、開拓者精神に根ざした道民一人ひとりの汗と英知の結晶により発展を遂げ、殊に戦後は、わが国に残された開発の可能性に富む地域として、国と道が一体となり開発を進めた結果、産業経済の飛躍的向上と道民福祉の充実、民生の安定に多大な成果を収めてきた。道議会もまた、本道開発に対する先輩議員各位の卓越した識見と行動力によって、議会の機能を遺憾なく発揮し、民主政治の発展と地方自治の進展に寄与してきた。

この記念すべき年に当たり、80年の足跡を回顧するとともに、地方自治発展のため決意を新たにし、560万道民の負託にこたえようと、さる10月21日、札幌プリンスホテルで記念式典が挙行された。

式典には、現職道議、元道議、各界代表者及び報道関係者等約330人が参列、午後3時すぎ、拓銀合唱団「銀声会」のコーラス「時計台の鐘」が流れる中で笠島副議長が開式宣言。まず、松浦議長が式辞を述べ、「先人の築いた業績を踏まえ、現在の諸問題の解決と、住みよい北海道の建設を目指して一層努力を重ねて行きたい」と決意を表明。引き続き、現職議員の勤続10年表彰が行われ、19人の議員が議長から表彰状と記念品を受けとり、被表彰者を代表して村上彝明議員（自民）が「身に余る光栄であり、これを機に決意を新たに、本道を真の理想郷とするため努力したい」と謝辞を述べた。

このあと、自治大臣代理の小林悦夫自治省審議官と堂垣内知事がそれぞれ「地方自治発展のため一層の精進を」「効率的に機能を発揮し、真に民意を反映する殿堂として道民の負託にこたえてほしい」と祝辞が述べられた。

式典の後、同ホテルで祝賀会が催され、和やかな雰囲気につつまれる中、先輩議員と思い出話に花を咲かせていた。

また、記念行事の一環として、道議会80年の系譜をまとめた「道議会80年小史」が発刊されたほか、「北海道議会史」の続編を刊行することとした。

## 松浦議長式辞

本日ここに、自治大臣、国会議員の諸先生をはじめ来賓多数のご臨席をいただき、北海道議会開設80年記念式典を挙行するにあたり北海道議회를代表して式辞を申し述べます。

まず最初に、去る10月16日北炭夕張新鉱において発生した災害により犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族に対し心からお悔み申し上げます。

顧みますれば、北海道は明治2年開拓使が設置されて以来、国策として殖民政策による開発が進められてきたのでありますが、明治22年に憲法が発布され、翌23年には衆議院議員選挙が実施され

る一方、各府県においては府県制、郡制が公布されるなど、地方自治制度が確立されたのであります。

しかし北海道は、その適用が受けられないため道民の間から、衆議院議員の選挙権の獲得と地方自治制度の施行についての要望が盛り上がり10年余にわたる活発な運動が展開されたのであります。この結果、明治34年に北海道会法並びに北海道会議員選挙令が発布され、さらに同年8月第1回道会議員選挙が行なわれて35名の選良の晴れの議席を得られるなど、漸く北海道にも地方自治制度が認められたのであります。

その後、幾多の変遷を経ながら道会は住民の意志を行政に反映するなど、その機能を果たしてまいったのであります。

昭和22年新憲法施行とともに地方自治制度も抜本的に改革され、地方議会の権能は大きく拡大しその活動も広範多岐にわたるなど名実ともに、道民の議会として誕生し、戦後の混乱期の多くの困難を克服しながら今日まで北海道の発展に大きく貢献してきたところであります。

北海道は、開拓以来わずか110余年という短い歴史の間に今日の発展を見るに至りました。これは世界的に類をみないことと言われております。

今や、北海道は我が国の食糧供給基地として、その将来に大きな役割を担うとともに北方圏諸国との交流の拠点として、北国らしい香り高い文化と豊かな生活を目ざして新時代にふさわしい発展計画のもと躍進を続けているのであります。

このことは、雪と寒さの厳しい自然と闘い、たくましい開拓者魂を発揮して本道の開発にご尽力された先人の並々ならぬご努力と、道会以来の先輩議員のご功績並びにこれを支えた道民各位の理解と協力のたまものでありまして、ここに衷心より敬意と感謝の意を表する次第であります。

近年、本道を取りまく産業経済の環境は、まことに厳しく、農業、水産業、商工業等をはじめローカル線問題に加え国の行財政改革による地方行財政への影響の問題、さらには本年8月初旬以来の数次にわたる風水害による未曾有の災害、並びに10月16日発生した北炭夕張新鉱の災害など、道民生活に大きな影響を与える重要な課題が山積しているのでありまして、道議会といたしましては国・道など関係機関と密接な連携を図りながらこれら諸問題の解決に全力を挙げて取り組んでいるところであります。

私どもは、本日の式典を契機として先輩各位の残された業績をふまえて現下の諸問題解決にあたり、560万道民の負託に応えて、さらに住み良い北海道建設をめざし、今後とも一層の努力を払ってまいります所存であります。

また、本日は多年北海道議会議員として地方自治進展のため活躍された19名の方々のご功績を贅え表彰を行ないます。

受彰される皆様におかれましては、今後とも北海道を真の理想郷たらしめるため、さらに一層ご尽力を賜われますようお願い申し上げますとともに、ご出席の皆様のご健勝を心から祈念して式辞といたします。

## 自治大臣祝辞

明治34年、北海道議会が開設されて以来、80年を経て今日ここに記念式典を挙行されますことに対し、心よりお喜びを申し上げる次第であります。

このことは、ひとえに歴代並びに現議員各位の卓越した識見と英知により議会の機能を遺憾なく発揮され、地方自治の進展に大きく寄与されたたまものと考え、敬意を表するものであります。

北海道の開発は、明治初頭開拓使によって本格的に着手されて以来多くの人々のたゆまぬ努力によって、我が国唯一のフロンティアとして、輝かしい発展を遂げて参っていることは申し上げるまでもありません。

ことに戦後の北海道は、新生日本への大きな期待を担って強力に推進されてきた結果、産業、経済の飛躍的向上、民生安定に多大な成果をおさめて参ったものであります。

ここに改めて地方自治発展のためご理解とご協力を寄せられた道民各位に対し、心から謝意を表する次第であります。

今日、我が国が21世紀に向って活力ある安定した経済社会の実現を期して行くためには、均衡ある国土利用を積極的に展開し、人口、産業の適切な配置を行って行くことが基本的に重要な課題となっております。

このような課題に対して、全国土の5分の1を占め、極めて豊かな開発の可能性を有する北海道には大きな国民的期待が寄せられております。

現在実施中であります「新北海道総合開発計画」は、このような観点から策定され、昭和53年から推進されてきていることは、必ずや北海道の輝かしい未来を築くものと考えます。

こうした中で、本日の意義ある式典を契機に議員各位には地方自治発展のためいっそう精進され、北海道民の負託にこたえるようご期待申し上げます。

最後に、輝かしい80年の歴史を歩まれた北海道議会の発展を心より念願をいたしまして、お祝いのごことばといたします。

(自治大臣代理 小林悦夫自治省審議官)

## 堂 垣 内 知 事 祝 辞

北海道議会開設80年記念式典が行われるにあたり、一言お祝いを申し上げます。

最初に、永年勤続された功勞により、晴れて受彰の榮に浴されました村上彞明氏はほか18人の議員各位に対しまして、衷心より敬意を表し、お喜び申し上げます。

顧みますと、北海道議会の前身である北海道会は、本州における府県会に遅れること20有年の明治34年10月21日に開設されました。

当時、わが国においては、明治新政府のもと、自由民権思想が台頭しつつあり、特に、本道においては、明治22年、明治憲法の発布や同23年の帝国議会の開設が道内有志を刺激し、その後、10有年にわたって北海道議会開設の建議が続けられたのであります。

私は、これら先人有志が本道に参政権と自治の確立をめざし、営々と努力を続けられたことを思いますとき、その高邁な識見と不撓不屈の開拓魂に心から敬意を表するものであります。

爾来80年、わが国経済社会は、冷・災害や経済恐慌、世界大戦などの荒波に幾度かおそわれ、大きな変遷をたどりながら発展をしてきましたが、昭和22年5月には、新憲法の制定と、日と同じくして地方自治法が制定され、ここに新しい北海道議会の誕生をみるに至ったのであります。

私は、北海道議会が、これまで様々な事態に対処して、常に適切な判断をもって、数々の難局を乗り切り、民生の安定はもとより、本道の開発と地方自治の振興に多大の貢献をしてこられたことを思い、多くの先輩議員のご功績を心から讃えますとともに、これまで道議会が果たしてこられた業績と伝統が未永く引き継がれていくことを願ってやみません。

開拓当初、僅か5万人程度であった本道の人口も今や560万人を擁し、社会経済も一世紀前には到底予想し得なかったほどの発展を遂げたのであります。今日なお本道は、稲作の減反、牛乳の余剰、200カイリ問題、当面する冷害や集中豪雨被害など農林漁業の不振に加えて、製造工業の立

ち遅れ、さらには戦後最大の炭鉱災害、国鉄地方交通線の廃止、開発公共事業費の特例削減、北方領土をめぐる諸問題など本道の将来の命運にかかわる多くの困難な問題が山積し、誠に厳しい情勢にある多くの困難な問題が山積し、誠に厳しい情勢にあります。

しかしながら一方では、北海道発展計画の折り返し点を迎えた今、議員各位のご支援の下に推進してまいりました青函トンネルの建設、千歳空港の国際化、縦貫自動車道の整備、苫東及び石狩湾新港地域への有力企業の進出、農漁業の基盤整備事業、北方圏交流の促進など21世紀「北海道の時代」の到来に向けて、その根幹となる事業が着実に実を結び、力強い歩みを続けております。

また、北方領土問題については、先般、歴代総理としては初めて鈴木総理大臣の現地視察が実現し、北方領土返還についての世論が大きな盛り上がりを見せておりますことは、本道にとって誠に心強い限りであります。

私は限りない発展の可能性を秘めた私たちの郷土北海道が、今後のわが国の発展にとって、極めて重要な役割を担うであろうことを確信し、道民の皆さんや北海道議会のご支援、ご協力をいたしながら、山積する当面の課題の解決と将来に向けての基盤づくりのために、全道民から選ばれた知事として、大所高所からその職責を果たしてまいる決意であります。

本日の北海道議会開設80年を契機に、道議会におかれましては、いよいよ効率的にその機能を発揮され真に民意を反映するための殿堂として、道民の負託に添えていただくことを心からご期待申し上げます。

おわりに、議員各位のますますのご健勝とご活躍を心から祈念申し上げますとともに、今後一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 受 彰 者 謝 辞

一言あいさつを申し上げます。

本日、ここに北海道議会開設80年記念式典にあたり、私共が永年勤続者として表彰の榮譽を受けましたことは、まことに身に余る光栄であり感激に堪えません。

私共が、道政にいささかなりとも貢献し得たとすれば、それは先輩諸賢、同僚議員の方々、並びに私共にご支援して下さった道民の皆様の御指導のたまものであり、本日の栄ある受彰に際し、改めて関係各位のご指導、ご支援に対しまして、心から感謝を申し上げる次第でございます。

私共は、これを契機として更に決意を新たに、道政の進展と住民福祉の向上を図り、北海道を真の理想郷とするため、今後とも渾身の努力を傾けてまいる所存でございます。

きわめて簡単粗辞ではございますが、受彰者を代表してお礼のことばといたします。

まことにありがとうございました。

(受彰者代表 村上彝明議員)

# 資 料

## 第3回定例会において議決を経た条例の公布調

件 名	議決月日	公布月日	公 布 番 号
札幌医科大学条例の一部を改正する条例	10. 23	10. 29	北海道条例第44号
北海道税条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第45号
北海道公営住宅条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第46号
北海道立高等学校の授業料等徴収条例の一部を改正する条例	同	同	北海道条例第47号

## 10 月 の メ モ

- 1日 ○石勝線が道内36番目の鉄路として開業。
- 3日 ○民社党初代委員長の西尾末広氏がジン不全のため死去。90歳。
- 6日 ○サダト・エジプト大統領は、カイロ郊外での軍事パレード中、国軍反乱兵士に狙撃され死亡。後継大統領には、ホスニ・ムバラク副大統領が就任（14日）。
- 12日 ○パレスチナ解放機構（PLO）のアラファット議長が来日。4日間の滞在中に、鈴木首相ら政界、財界人と会談した。
- 16日 ○北炭夕張新鉱の北第5盤下坑道で、大規模なガス突出が発生、死者、行方不明93人の道内では戦後最大の惨事となった。続いて坑内火災発生、消火のため注水を開始した（23日）。
- 18日 ○ポーランド統一労働者党の中央委総会は、カニヤ第1書記の就任を承認、後任にはヤルゼルスキ首相兼国防相を選任。
- 19日 ○1981年度のノーベル化学賞は、福井謙一京都大学教授とホフマン米コーネル大学教授の2人に授与されることが決まった。日本人のノーベル賞受賞は6人目、化学賞は初めて。
- 22日 ○先進国と発展途上国の経済協力の在り方を協議する初の南北サミット（協力と開発に関する国際会議）は、鈴木首相ら22か国首脳が参加、2日間の日程でメキシコ・カンクンで開催。
- 23日 ○第3回定例道議会閉会。
- 28日 ○農水省は56年産米の最終作況指数を発表。本道は87の「著しい不良」で、2年連続の不作が確定した。
- 29日 ○石油輸出国機構はジュネーブで開いた臨時総会で、①OPEC基準原油を1バーレル34ドルとする、②この基準価格は82年末まで凍結する一で合意、約2年8か月ぶりに分裂価格に終止符が打たれた。

## 11 月 の メ モ

- 10日 ○札幌と留萌を結ぶ国道231号線が着工以来24年目で全面開通。
- 13日 ○第6回アジアの平和と安全に関する日ソ・シンポジウムが札幌で開催。最大の論点となった、北方領土問題は平行線のまま閉幕した。（～15日）
- 20日 ○政府は5月に日本海で行われた日米合同訓練に伴う「マスはえなわ切断事故」の見舞金として、被害額の80%を特別支出金として支給することを決めた。
- 秋サケの漁獲量が1,900万匹を突破、史上最高を記録した。
- 26日 ○昭和44年に着工した札幌バイパスと道央自動車道を結ぶ札幌新道が完成。
- 27日 ○第95臨時国会は、行革関連特例法案を可決。
- 道教委は、ひのえうま年生まれの生徒減に伴う57年度公立高校学級削減を決めた。削減数は38校83学級。
- 30日 ○鈴木改造内閣がスタート。

北海道議会時報 第33巻第7号 編集 北海道議会事務局調査課  
昭和57年2月25日発行 発行 北海道議会事務局

北海道議会時報第巻33第7号(昭和56年第3回定例会)